学校コード F139310110537
注３

設置年度　　平成　　31年度
計画の区分：　専門職大学の設置
注１

認可

注2
高知リハビリテーション専門職大学　リハビリテーション学部　リハビリテーション学科　　言語聴覚学専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人高知学園
令和４年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　　庶務課
職名・氏名　　課長　　中平　憲一
電話番号　　０８８-８５０-２３１１
（夜間）　　０８８-８５０-２３１１
ｅ－mail　　syomuka@kochireha.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

リハビリテーション学部　リハビリテーション学科

＜言語聴覚学専攻＞

ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４４

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７１

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７８

補足説明資料（専門職大学等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８９

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　高知学園

（2）大　学　名

高知リハビリテーション専門職大学

（3）調査対象大学等の位置

〒781-1102
高知県土佐市高岡町乙1139－3　　（〒780-0956 高知県高知市北端町100番地）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（キ ラ　　マサヒト） 吉　良　　正　人 （平成26年8月）	（タカセ　　ヒサシ） 髙　瀬　　久　志 （令和2年8月）	前任者の任期満了に伴い選任 （令和2年8月31日）（３）
学　　長	（オジマ　　ユタカ） 小　嶋　　裕 （平成31年4月）	（ミヤガワ　　テツオ） 宮　川　　哲　夫 （令和4年4月）	前任者の任期満了に伴い選任 （令和4年4月1日）（４）
学 部 長	（オオクラ　ミツヒロ） 大　倉　　三　洋 （平成31年4月）		
学科長等	（タガシラ　カツユキ） 田　頭　　勝　之 （平成31年4月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和３年度に報告済の内容　→（３）
令和４年度に報告する内容　→（４）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和４年度の履行状況報告書の提出について（依頼）を確認してください）。
・　様式は、平成３０年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和４年度までの５年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
		年	人	人	人		
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	4	150	－	600	新規入学者を募集中	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科		4	150	－	600		
理学療法学専攻（理学療法学士（専門職））		4	70	－	280		
作業療法学専攻（作業療法学士（専門職））		4	40	－	160		
言語聴覚学専攻（言語聴覚学士（専門職））		4	40	－	160		

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

リハビリテーション学部　リハビリテーション学科

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 （　） [　]	人	人 150 （－） [－]	人	人 150 （－） [－]	人	人 150 （－） [－]	人	人 150 （－） [－]	人			
志願者数	（　） [　]	（　） [　]	152 （－） [－]	－ （－） [－]	131 （－） [－]	－ （－） [－]	109 （－） [－]	－ （－） [－]	135 （－） [－]	－ （－） [－]			
受験者数	（　） [　]	（　） [　]	147 （－） [－]	－ （－） [－]	130 （－） [－]	－ （－） [－]	108 （－） [－]	－ （－） [－]	134 （－） [－]	－ （－） [－]	0.77倍	－倍	
合格者数	（　） [　]	（　） [　]	139 （－） [－]	－ （－） [－]	127 （－） [－]	－ （－） [－]	108 （－） [－]	－ （－） [－]	128 （－） [－]	－ （－） [－]			
Ｂ　入学者数	（　） [　]	（　） [　]	132 （－） [－]	－ （－） [－]	119 （－） [－]	－ （－） [－]	95 （－） [－]	－ （－） [－]	122 （－） [－]	－ （－） [－]			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ			0.88		0.79		0.63		0.81				

リハビリテーション学部　リハビリテーション学科　言語聴覚学専攻

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 （　） [　]	人	人 40 （－） [－]	人	人 40 （－） [－]	人	人 40 （－） [－]	人	人 40 （－） [－]	人			
志願者数	（　） [　]	（　） [　]	33 （－） [－]	－ （－） [－]	31 （－） [－]	－ （－） [－]	26 （－） [－]	－ （－） [－]	22 （－） [－]	－ （－） [－]			
受験者数	（　） [　]	（　） [　]	31 （－） [－]	－ （－） [－]	31 （－） [－]	－ （－） [－]	26 （－） [－]	－ （－） [－]	22 （－） [－]	－ （－） [－]	0.63倍	－倍	
合格者数	（　） [　]	（　） [　]	34 （－） [－]	－ （－） [－]	30 （－） [－]	－ （－） [－]	26 （－） [－]	－ （－） [－]	21 （－） [－]	－ （－） [－]			
Ｂ　入学者数	（　） [　]	（　） [　]	31 （－） [－]	－ （－） [－]	29 （－） [－]	－ （－） [－]	23 （－） [－]	－ （－） [－]	19 （－） [－]	－ （－） [－]			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ			0.77		0.72		0.57		0.47				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。

・　転入学生は記入しないでください。

・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。

・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

リハビリテーション学部　リハビリテーション学科

対象年度 / 学年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次			132 [－] (－)	－ [－] (－)	119 [－] (－)	－ [－] (－)	95 [－] (－)	－ [－] (－)	122 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次					124 [－] (－)	－ [－] (－)	125 [－] (6)	－ [－] (－)	95 [－] (3)	－ [－] (－)	
３年次							112 [－] (－)	－ [－] (－)	129 [－] (14)	－ [－] (－)	
４年次									97 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		132 [－] (－)		243 [－] (－)		332 [－] (6)		443 [－] (17)		

リハビリテーション学部　リハビリテーション学科　言語聴覚学専攻

対象年度 / 学年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次			31 [－] (－)	－ [－] (－)	29 [－] (－)	－ [－] (－)	23 [－] (－)	－ [－] (－)	19 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次					29 [－] (－)	－ [－] (－)	32 [－] (3)	－ [－] (－)	24 [－] (2)	－ [－] (－)	
３年次							26 [－] (－)	－ [－] (－)	30 [－] (2)	－ [－] (－)	
４年次									23 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		31 [－] (－)		58 [－] (－)		81 [－] (3)		96 [－] (4)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

リハビリテーション学部　リハビリテーション学科

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	－ 人	－ 人	
令和元年度	132 人	8 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	8 人	0 人	就学意欲の低下(6人)、経済的理由(2人)
令和2年度	243 人	6 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、経済的理由(1人) 学力不振(2人)、進路変更(2人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	332 人	11 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	1 人	0 人	学力不振(1人)
			令和2年度	7 人	0 人	経済的理由(1人)、学力不振(2人)、進路変更(3人) 学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和3年度	3 人	0 人	学力不振(1人)、進路変更(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人)
令和4年度	443 人	0 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		25 人		25 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

リハビリテーション学部　リハビリテーション学科

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 0 = 0 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 8 / 132 = 6.06 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 6 / 243 = 2.46 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 11 / 332 = 3.31 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 443 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

リハビリテーション学部　リハビリテーション学科　言語聴覚学専攻

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	－ 人	－ 人	
令和元年度	31 人	2 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)
令和2年度	58 人	0 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	81 人	4 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	1 人	0 人	学力不振(1人)
			令和2年度	2 人	0 人	経済的理由(1人)、進路変更(1人)
			令和3年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和4年度	96 人	0 人	平成30年度	－ 人	－ 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合　計		6 人		6 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学

・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

リハビリテーション学部　リハビリテーション学科　言語聴覚学専攻

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 0 = 0 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 2 / 31 = 6.45 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 58 = 0 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 4 / 81 = 4.93 %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 96 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜リハビリテーション学部　リハビリテーション学科＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	人間の探求	心理学	1前	2								2
		教育学	1前・後		2							1
		生命倫理	3前		2							2
	社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		社会学	1前		2							1
		リーダーシップ論	4後	1								1
		国際関係論	4後		2							1
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1				2				
		地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
	自然の探求	生物学	1前		2							1
		数学	1後		1							1
		物理学	1後		1							1
		統計学	1後		2							1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1			1		1			
		情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	健康の探求	健康科学	1前	1			2					
		健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
	外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			1					
		英語Ⅱ	1前・後		1		1					
		英会話	1前・後		1							1
		中国語	1前・後		1							1
		小計（21科目）	－	13	17	0	9	9	8	3	0	16
職業専門科目	専門支持科目	医学英語	2前	1								1
		解剖学Ⅰ（総論・神経系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅲ（骨格系）	1後		1		1					1
		解剖学Ⅳ（筋系）	1後		1		1					1
		生理学Ⅰ（動物性機能）	1前	1								3
		生理学Ⅱ（植物性機能）	1後	1								3
		運動生理学	1後		1		2					
		運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		
		基礎運動学	1後		2			1				
		運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
		理学療法運動学演習	2前		1		1			1		
		作業療法運動学演習	2前		1		1			2		
		人間発達学	1後		1							1
		小計（14科目）	－	5	10	0	6	2	0	3	0	8
		医学概論	1後		1							1
		病理学	1後	1								1
		内科学	2後	2								4
		整形外科学	2後		2		1					
		臨床神経学	2前・後	2								2
		精神医学	2前	2								3
		小児科学	2後	1								4
		リハビリテーション医学	2前・後	1								1
		臨床心理学	2前	2								3
		耳鼻咽喉科学	2前		2							1
		形成外科学	3前		1							1
		臨床歯科医学	3前		1							1
		画像診断学	3前		1							1
		臨床栄養学	3前		1							1
		臨床薬理学	3前		1							1
		救急管理実習【※】	3前・後		1							1
		小計（16科目）	－	11	11	0	1	0	0	0	0	24

【令和４年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	人間の探求	心理学	1前	2								1
		教育学	1前・後		2							1
		生命倫理	3前		2							2
	社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		社会学	1前		2							1
		リーダーシップ論	4後	1								1
		国際関係論	4後		2							1
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1				2				
		地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
	自然の探求	生物学	1前		2							1
		数学	1後		1							1
		物理学	1後		1							1
		統計学	1後		2							1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1			1		1			
		情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	健康の探求	健康科学	1前	1			1					
		健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
	外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			1					
		英語Ⅱ	1前・後		1		1					
		英会話	1前・後		1							1
		中国語	1前・後		1							1
		小計（21科目）	－	13	17	0	9	9	8	3	0	15
職業専門科目	専門支持科目	医学英語	2前・後	1								1
		解剖学Ⅰ（総論・神経系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅲ（骨格系）	1後		1		1					1
		解剖学Ⅳ（筋系）	1後		1		1					1
		生理学Ⅰ（動物性機能）	1前	1								3
		生理学Ⅱ（植物性機能）	1後	1								3
		運動生理学	1後		1		2					
		運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		
		基礎運動学	1後		2			1				
		運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
		理学療法運動学演習	2前		1		1			1		
		作業療法運動学演習	2前		1		1			2		
		人間発達学	1後		1							1
		小計（14科目）	－	5	10	0	6	2	0	3	0	8
		医学概論	1後		1							1
		病理学	1後	1								1
		内科学	2後	2								4
		整形外科学	2後		2		1					
		臨床神経学	2前・後	2								2
		精神医学	2前	2								7
		小児科学	2後	1								4
		リハビリテーション医学	2前・後	1								1
		臨床心理学	2前・後	2								3
		耳鼻咽喉科学	2前		2							1
		形成外科学	3前		1							1
		臨床歯科医学	3前		1							1
		画像診断学	3前		1							1
		臨床栄養学	3前		1							1
		臨床薬理学	3前		1							1
		救急管理実習【※】	3前・後		1							1
		小計（16科目）	－	11	11	0	1	0	0	0	0	28

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門支持科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			2					
			社会福祉概論	1前・後	2								1
			地域包括ケア論	3後	2								2
			チーム連携論	4前	1								1
			小計(4科目)	－	6	0	0	2	0	0	0	0	4
	専門基幹科目（理学療法学専攻）	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			2					
			理学療法概論演習	1前	1				1	1			
			理学療法セミナーⅠ（PBL）	1後	1					1	1		
			理学療法セミナーⅡ（PBL）	2前	1				2				
			臨床運動学	2後	1			1					
			理学療法管理学	3後	1			1					
			小計(6科目)	－	6	0	0	4	3	2	1	0	0
		理学療法評価学	理学療法評価学	1後	1				1				
			理学療法測定実習Ⅰ【※】	2前	1				2				
			理学療法測定実習Ⅱ【※】	2後	1				2				
			理学療法検査実習Ⅰ【※】	2前	1				1		1		
			理学療法検査実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1		
			電気診断学	3前	1			1					
			小計(6科目)	－	6	0	0	1	4	0	1	0	0
		理学療法治療学	運動療法学	2前	2			2					
			運動療法学実習【※】	2後	1			2					
			物理療法学	2前	2								1
			物理療法学実習【※】	2後	1				1				1
			理学療法日常生活活動学	2前	2			1					
			理学療法日常生活活動学実習【※】	2後	1			1		1			
			内部障害理学療法実習【※】	3前	2			2	1				
			中枢神経障害理学療法実習【※】	3前	1								1
			脊髄障害理学療法実習【※】	3前	1								1
			運動器障害理学療法実習【※】	3前	1					1			1
			発達障害理学療法実習【※】	3後	1				1				
			老年期障害理学療法実習【※】	3後	1			1		1			
			義肢装具学演習	3後	1				1				
			理学療法技術実習Ⅰ（運動関節学的手技）【※】	3前		1							1
			理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）【※】	3後		1		1					1
			理学療法技術実習Ⅲ（生体観察手技）【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅰ（脳障害）【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅱ（ICU）【※】	3後		1							1
			理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）【※】	3前		1							2
			理学療法治療学実習Ⅳ（障害者スポーツ）【※】	3後		1							1
			臨床理学療法技法演習（PBL）	3前	1				1	1	1		
			小計(21科目)	－	18	7	0	5	4	2	1	0	11

【令和４年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門支持科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			2					
			社会福祉概論	1前・後	2								1
			地域包括ケア論	3後	2								2
			チーム連携論	4前	1								1
			小計(4科目)	－	6	0	0	2	0	0	0	0	4
	専門基幹科目（理学療法学専攻）	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			1					
			理学療法概論演習	1前	1				1	1			
			理学療法セミナーⅠ（PBL）	1後	1					1	1		
			理学療法セミナーⅡ（PBL）	2前	1				2				
			臨床運動学	2後	1			1					
			小計(5科目)	－	5	0	0	2	3	2	1	0	0
		理学療法管理学	理学療法管理学	3前	1			1					
			理学療法管理実務	3後	1								1
			小計(2科目)	－	2	0	0	1	0	0	0	0	1
		理学療法評価学	理学療法評価学	1後	1				1				
			理学療法測定実習Ⅰ【※】	2前	1				2				
			理学療法測定実習Ⅱ【※】	2後	1				2				
			理学療法検査実習Ⅰ【※】	2前	1				1		1		
			理学療法検査実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1		
			電気診断学	3前	1			1					
			小計(6科目)	－	6	0	0	1	4	0	1	0	0
		理学療法治療学	運動療法学	2前	2			1					
			運動療法学実習【※】	2後	1			1					
			物理療法学	2前	2								1
			物理療法学実習【※】	2後	1				1				1
			理学療法日常生活活動学	2前	2			1					
			理学療法日常生活活動学実習【※】	2後	1			1		1			
			内部障害理学療法実習【※】	3前	2			2	1				
			中枢神経障害理学療法実習【※】	3前	1								1
			脊髄障害理学療法実習【※】	3前	1				1				
			運動器障害理学療法実習【※】	3前	1			1		1			1
			発達障害理学療法実習【※】	3後	1				1				
			老年期障害理学療法実習【※】	3後	1			1		1			
			義肢装具学演習	3後	1				2				
			理学療法技術実習Ⅰ（運動関節学的手技）【※】	3前		1							1
			理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）【※】	3後		1		1					1
			理学療法技術実習Ⅲ（生体観察手技）【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅰ（脳障害）【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅱ（ICU）【※】	3後		1							1
			理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）【※】	3前		1							2
			理学療法治療学実習Ⅳ（障害者スポーツ）【※】	3後		1							1
			臨床理学療法技法演習（PBL）	3前	1				1	1	1		
			小計(21科目)	－	18	7	0	4	5	2	1	0	10

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（理学療法学専攻）	理学療法学 地域	地域理学療法学	2後	2			1					
			地域理学療法学演習	3前	1								1
			生活環境支援理学療法実習【※】	3前	1			1					
			機能代償支援理学療法実習【※】	3後	1				1		1		
			ヘルスプロモーション演習	3後	1			1					
			小計（5科目）	－	6	0	0	2	1	0	1	0	1
		理学療法臨床実習	理学療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			5	5	2	1		
			理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	5	2	1		
			理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	5	2	1		
			小計（3科目）	－	23	0	0	5	5	2	1	0	0
	専門基幹科目（作業療法学専攻）	作業療法学 基礎	作業療法概論	1前	1			1					
			生活活動と障害【※】	1前	1					3			
			基礎作業学実習【※】	1前	1					2			
			応用作業学実習【※】	1後	1					2			
			作業療法セミナー	1後	1				2	3	3		
			作業療法管理学	4前	1					1			1
			小計（6科目）	－	6	0	0	1	2	3	3	0	1
		作業療法評価学	基礎作業療法評価学	2前	2			1					
			作業療法評価実習Ⅰ（身体系）【※】	2前	1					1	2		
			作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系）【※】	2前	1				2				
			作業療法評価実習Ⅲ（発達系）【※】	2後	1					1			1
			小計（4科目）	－	5	0	0	1	2	2	2	0	1
		作業療法治療学	作業分析学	2前	1			1					
			作業分析演習	2後	1			1		1	1		
			基礎作業療法治療学Ⅰ（身体系）	2後	2			1					
			基礎作業療法治療学Ⅱ（精神・認知系）	2後	2				1				
			作業療法日常生活活動学	2前	1					1			
			日常生活支援作業療法実習【※】	2後	1					1			
			義肢・装具作業療法実習【※】	2後	1				1				1
			身体障害作業療法実習Ⅰ（中枢神経系）【※】	3前	1			1			2		
			身体障害作業療法実習Ⅱ（脊髄・運動器系）【※】	3前	1					1	1		1
			身体障害作業療法実習Ⅲ（内部系）【※】	3前	1								1
			精神障害作業療法実習Ⅰ【※】	3前	1				2				
			精神障害作業療法実習Ⅱ【※】	3後	1				2				
			老年期障害作業療法実習Ⅰ【※】	3前	1					1			
			老年期障害作業療法実習Ⅱ【※】	3後	1				1	1			
			発達障害作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			高次脳機能障害作業療法実習【※】	3後	1				1		1		1
			臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL）【※】	2前	1				1	1	2		
			臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL）【※】	3後	1				1	1	2		
			小計（18科目）	－	20	0	0	1	3	3	3	0	5

【令和４年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（理学療法学専攻）	理学療法学 地域	地域理学療法学	2後	2			1					
			地域理学療法学演習	3前	1								1
			生活環境支援理学療法実習【※】	3前	1			1					
			機能代償支援理学療法実習【※】	3後	1				1		1		
			ヘルスプロモーション演習	3後	1			1					
			小計（5科目）	－	6	0	0	2	1	0	1	0	1
		理学療法臨床実習	理学療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			5	**6**	2	1		
			理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	**6**	2	1		
			理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	**6**	2	1		
			小計（3科目）	－	23	0	0	5	**6**	2	1	0	0
	専門基幹科目（作業療法学専攻）	作業療法学 基礎	作業療法概論	1前	1			1					
			生活活動と障害【※】	1前	1					3			
			基礎作業学実習【※】	1前	1					2			
			応用作業学実習【※】	1後	1					2			
			作業療法セミナー	1後	1				2	3	3		
			小計（**5**科目）	－	5	0	0	1	2	3	3	0	0
		作業療法管理学	**作業療法管理学**	**3後**	1					1			1
			作業療法管理実務	**4前**	**1**								**1**
			小計（2科目）	－	2	0	0	0	0	1	0	0	**2**
		作業療法評価学	基礎作業療法評価学	2前	2			1					
			作業療法評価実習Ⅰ（身体系）【※】	2前	1					1	2		
			作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系）【※】	2前	1				2				
			作業療法評価実習Ⅲ（発達系）【※】	2後	1					1			1
			小計（4科目）	－	5	0	0	1	2	2	2	0	1
		作業療法治療学	作業分析学	2前	1			1					
			作業分析演習	2後	1			1		1	1		
			基礎作業療法治療学Ⅰ（身体系）	2後	2			1					
			基礎作業療法治療学Ⅱ（精神・認知系）	2後	2				1				
			作業療法日常生活活動学	2前	1					1			
			日常生活支援作業療法実習【※】	2後	1					1			
			義肢・装具作業療法実習【※】	2後	1				**2**				1
			身体障害作業療法実習Ⅰ（中枢神経系）【※】	3前	1			1			2		
			身体障害作業療法実習Ⅱ（脊髄・運動器系）【※】	3前	1					1	1		1
			身体障害作業療法実習Ⅲ（内部系）【※】	3前	1								1
			精神障害作業療法実習Ⅰ【※】	3前	1				2				
			精神障害作業療法実習Ⅱ【※】	3後	1				2				
			老年期障害作業療法実習Ⅰ【※】	3前	1					1			
			老年期障害作業療法実習Ⅱ【※】	3後	1				1	1			
			発達障害作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			高次脳機能障害作業療法実習【※】	3後	1				1		1		1
			臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL）【※】	2前	1				1	1	2		
			臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL）【※】	3後	1				1	1	2		
			小計（18科目）	－	20	0	0	1	**4**	3	3	0	5

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（作業療法学専攻）	地域作業療法学	地域作業療法学	2後	2					1			
			地域作業療法学演習	3前	1					1			
			生活環境支援作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			機能代償支援作業療法実習【※】	3後	1						1		2
			就労支援作業療法演習	3後	1				1		1		
			生活活動マネジメント	3後		1				1			
			地域支援Ⅰ（余暇活動）	3後		1				2			
			地域支援Ⅱ（認知症）	3後		1			1	1			
			小計（8科目）	－	6	3	0	0	2	3	2	0	3
		作業療法臨床実習	作業療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	2				2	3	4		
			作業療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	6				2	3	4		
			作業療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16				2	3	4		
			小計（3科目）	－	24	0	0	0	2	3	4	0	0
	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学	2前	2								2
			音声・言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学（聴覚心理学を含む）	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1
			音声障害学実習【※】	2後	1					1			
			学習・認知心理学	3前	1								1
			言語発達学	3前	1					1			
			高次脳機能障害学	3前	1					1		1	1
			言語発達障害学	3前	1								1
			重複障害学	3後	1					1			1
			学習障害・広汎性発達障害学	3前	1					1			1
			機能性構音障害学実習【※】	3前	1				1				
			器質性構音障害学実習【※】	3前	1								1
			運動障害性構音障害学実習【※】	3後	1								1
			吃音学	3前	1								1
			嚥下障害学実習【※】	3前	1								2
			補聴器・人工内耳学	3前	2								1
			言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					2			
			言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
			小計（25科目）	－	35	0	0	1	2	2	1	0	20
		言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1
			聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
			失語・高次脳機能障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			失語・高次脳機能障害評価実習【※】	3後	1				1				
			発声発語・嚥下障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語・嚥下障害評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計（9科目）	－	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【令和４年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（作業療法学専攻）	地域作業療法学	地域作業療法学	2後	2					1			
			地域作業療法学演習	3前	1					1			
			生活環境支援作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			機能代償支援作業療法実習【※】	3後	1						1		2
			就労支援作業療法演習	3後	1				1		1		
			生活活動マネジメント	3後		1				1			
			地域支援Ⅰ（余暇活動）（未開講）	3後		1				2			
			地域支援Ⅱ（認知症）（未開講）	3後		1			1	1			
			小計（8科目）	－	6	3	0	0	2	3	2	0	3
		作業療法臨床実習	作業療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	2				2	3	4		
			作業療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	6				2	3	4		
			作業療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16				2	3	4		
			小計（3科目）	－	24	0	0	0	2	3	4	0	0
	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学	2後	2								3
			音声・言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学（聴覚心理学を含む）	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1
			音声障害学実習【※】	2後	1					1			
			学習・認知心理学	3前	1								1
			言語発達学	3前	1					1			
			高次脳機能障害学	3前	1					1		1	1
			言語発達障害学	3前	1								1
			重複障害学	3後	1					1			1
			学習障害・広汎性発達障害学	3前	1					1			1
			機能性構音障害学実習【※】	3前	1				1				
			器質性構音障害学実習【※】	3前	1								1
			運動障害性構音障害学実習【※】	3後	1								1
			吃音学	3前	1								2
			嚥下障害学実習【※】	3後	1								2
			補聴器・人工内耳学	3後	2								1
			言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					2			
			言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
			小計（25科目）	－	35	0	0	1	2	2	1	0	20
		言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1
			聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
			失語・高次脳機能障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			失語・高次脳機能障害評価実習【※】	3後	1				1				
			発声発語・嚥下障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語・嚥下障害評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計（9科目）	－	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
職業専門科目	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	言語聴覚療法治療学	言語聴覚療法技術実習Ⅰ（言語発達障害）【※】	3後	1				1				
			言語聴覚療法技術実習Ⅱ（高次脳機能障害）【※】	3後	1					1			1
			言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）【※】	4前	1				1				1
			言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）【※】	4前	1				1				1
			小計（4科目）	－	4	0	0	0	2	1	0	0	3
		言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計（3科目）	－	20	0	0	1	2	2	1	0	0
展開科目		理学療法展開科目群	生涯スポーツ論	1後	2			1					
			スポーツ心理学	1後	2								1
			学校保健論	2前	1								1
			産業保健論	2前	1								1
			企業論	2前	2								1
			データ分析論	2後	2			1					
			経営組織論	3前	2								1
			マーケティング論	3前	2								1
			会計学総論	3前	2								1
			経営管理論	3後	2								1
			起業論	3後	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	2	0	0	0	0	9
		作業療法展開科目群	土佐地域資源論	1前	2								1
			社会的企業論	1後	2								2
			福祉工学基礎論	2前	2								1
			地域福祉論	2前	2								1
			精神障害福祉論	2後	2								1
			障害者福祉論	3前	2								1
			地域防災論	3前	2								1
			更生保護制度論	3前	2								1
			特別支援教育論	3前	2								1
			対人援助技術論	3前	2								2
			小計（10科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	12
		言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1								1
			マンガ概論	1前	2								1
			マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
			活字デザイン論	1後	2								1
			視覚デザイン概論	2前	2								1
			カラーコミュニケーション概論	2前	2								1
			視覚伝達デザイン論	2後	2								1
			情報メディア学入門	2後	2								1
			広告論	3前	2								1
			企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	9

【令和４年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
職業専門科目	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	言語聴覚療法治療学	言語聴覚療法技術実習Ⅰ（言語発達障害）【※】	3後	1				1				
			言語聴覚療法技術実習Ⅱ（高次脳機能障害）【※】	3後	1					1			1
			言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）【※】	4前	1				1				1
			言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）【※】	4前	1				1				1
			小計（4科目）	－	4	0	0	0	2	1	0	0	3
		言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計（3科目）	－	20	0	0	1	2	2	1	0	0
展開科目		理学療法展開科目群	生涯スポーツ論	1後	2			1					
			スポーツ心理学	1**前**	2								1
			学校保健論	2前	1								1
			産業保健論	2前	1								1
			企業論	2前	2								1
			データ分析論	2後	2			1					
			経営組織論	3前	2								1
			マーケティング論	3前	2								1
			会計学総論	3前	2								1
			経営管理論	3後	2								1
			起業論	3後	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	2	0	0	0	0	9
		作業療法展開科目群	土佐地域資源論	1前	2								1
			社会的企業論	1後	2								2
			ロボット技術活用論	2前	2								**2**
			地域生活とサービス	2前	2								1
			精神障害者の援助とネットワーク	2後	2								1
			障害者の社会環境と制度	3前	2								1
			地域防災論	3前	2								1
			更生保護制度論	3前	2								1
			特別支援教育論	3前	2								1
			対人援助技術論	3前	2								2
			小計（10科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	13
		言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1								1
			マンガ概論	1前	2								1
			マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
			活字デザイン論	1後	2								1
			視覚デザイン概論	2前	2								1
			カラーコミュニケーション概論	2前	2								1
			視覚伝達デザイン論	2後	2								1
			情報メディア学入門	2後	2								1
			広告論	3前	2								1
			企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	**8**

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	応用理学療法学	理学療法地域支援実習【※】	4後	1			5	5	2	1		
		応用理学療法学演習	4後	2			3	5	2	1		
		理学療法総合演習Ⅰ	4後		1		1	1	1			
		理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2				
		理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
		小計(5科目)	－	3	3	0	5	5	2	1	0	0
	応用作業療法学	作業療法地域支援実習【※】	4後	1				2	3	4		
		応用作業療法学演習	4後	2				1	3	3		
		作業療法総合演習Ⅰ	4後		1				1			
		作業療法総合演習Ⅱ	4後		1			1		1		
		作業療法総合演習Ⅲ	4後		1			1	1	1		
		小計(5科目)	－	3	3	0	0	2	3	4	0	0
	応用言語聴覚学	言語聴覚療法地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
		応用言語聴覚学演習	4後	2			1	2	2			
		言語聴覚療法総合演習Ⅰ	4後		1			1				
		言語聴覚療法総合演習Ⅱ	4後		1							1
		言語聴覚療法総合演習Ⅲ	4後		1				1			
		小計(5科目)	－	3	3	0	1	2	2	1	0	1
合計(223科目)			－	293	57	0	13	9	8	6	0	118

卒業要件及び履修方法

《理学療法学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位／年間)

《作業療法学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

② 職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎作業療法学」の6科目6単位から必修6単位、「作業療法評価学」の4科目5単位から必修5単位、「作業療法治療学」の18科目20単位から必修20単位、「地域作業療法学」の8科目9単位から必修6単位を含め7単位以上、「作業療法臨床実習」の3科目24単位から必修24単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計141単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位／年間)

【令和４年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	応用理学療法学	理学療法地域支援実習【※】	4後	1			5	**6**	2	1		
		応用理学療法学演習	4後	2			3	**6**	2	1		
		理学療法総合演習Ⅰ	4後		1		1	1	1			
		理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2				
		理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
		小計(5科目)	－	3	3	0	5	**6**	2	1	0	0
	応用作業療法学	作業療法地域支援実習【※】	4後	1				2	3	4		
		応用作業療法学演習	4後	2				1	3	3		
		作業療法総合演習Ⅰ	4後		1				1			
		作業療法総合演習Ⅱ	4後		1			1		1		
		作業療法総合演習Ⅲ	4後		1			1	1	1		
		小計(5科目)	－	3	3	0	0	2	3	4	0	0
	応用言語聴覚学	言語聴覚療法地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
		応用言語聴覚学演習	4後	2			1	2	2			
		言語聴覚療法総合演習Ⅰ	4後		1			1				
		言語聴覚療法総合演習Ⅱ	4後		1							1
		言語聴覚療法総合演習Ⅲ	4後		1				1			
		小計(5科目)	－	3	3	0	1	2	2	1	0	1
合計(**225**科目)			－	**295**	57	0	13	**10**	8	6	0	**122**

卒業要件及び履修方法

《理学療法学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から**必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上**、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の**5科目5単位から必修5単位、「理学療法管理学」の2科目2単位から必修2単位**、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計**143**単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位／年間)

《作業療法学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

② 職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から**必修11単位及び選択必修6単位を含め17単位以上**、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎作業療法学」の5科目**5単位から必修5単位、「作業療法管理学の2科目2単位から必修2単位**、「作業療法評価学」の4科目5単位から必修5単位、「作業療法治療学」の18科目20単位から必修20単位、「地域作業療法学」の8科目9単位から必修6単位を含め7単位以上、「作業療法臨床実習」の3科目24単位から必修24単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計**144**単位以上を修得する。

(履修科目の登録上の上限:48単位／年間)

《言語聴覚学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限：48単位／年間）

《言語聴覚学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限：48単位／年間）

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	人間の探求	心理学	1前	2								2
		教育学	1前・後		2							1
		生命倫理	3前		2							2
	社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		社会学	1前		2							1
		リーダーシップ論	4後	1								1
		国際関係論	4後		2							1
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1				2				
		地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
	自然の探求	生物学	1前		2							1
		数学	1後		1							1
		物理学	1後		1							1
		統計学	1後		2							1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1			1		1			
		情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	健康の探求	健康科学	1前	1			2					
		健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
	外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			1					
		英語Ⅱ	1前・後		1		1					
		英会話	1前・後		1							1
		中国語	1前・後		1							1
		小計（21科目）	－	13	17	0	9	9	8	3	0	16
職業専門科目	専門支持科目 基礎医学	医学英語	2前	1								1
		解剖学Ⅰ（総論・神経系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅲ（骨格系）	1後		1		1					1
		解剖学Ⅳ（筋系）	1後		1		1					1
		生理学Ⅰ（動物性機能）	1前	1								3
		生理学Ⅱ（植物性機能）	1後	1								3
		運動生理学	1後		1		2					
		運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		
		基礎運動学	1後		2			1				
		運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
		理学療法運動学演習	2前		1		1			1		
		作業療法運動学演習	2前		1		1			2		
		人間発達学	1後		1							1
		小計（14科目）	－	5	10	0	6	2	0	3	0	8
	専門支持科目 臨床医学	医学概論	1後		1							1
		病理学	1後	1								1
		内科学	2後	2								4
		整形外科学	2後		2		1					
		臨床神経学	2前・後	2								2
		精神医学	2前	2								3
		小児科学	2後	1								4
		リハビリテーション医学	2前・後	1								1
		臨床心理学	2前	2								3
		耳鼻咽喉科学	2前		2							1
		形成外科学	3前		1							1
		臨床歯科医学	3前		1							1
		画像診断学	3前		1							1
		臨床栄養学	3前		1							1
		臨床薬理学	3前		1							1
		救急管理実習【※】	3前・後		1							1
		小計（16科目）	－	11	11	0	1	0	0	0	0	24

【令和２年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	人間の探求	心理学	1前	2								2
		教育学	1前・後		2							1
		生命倫理	3前		2							2
	社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		社会学	1前		2							1
		リーダーシップ論	4後	1								1
		国際関係論	4後		2							1
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1				2				
		地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
	自然の探求	生物学	1前		2							1
		数学	1後		1							1
		物理学	1後		1							1
		統計学	1後		2							1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1			1		1			
		情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	健康の探求	健康科学	1前	1			1					
		健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
	外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			1					
		英語Ⅱ	1前・後		1		1					
		英会話	1前・後		1							1
		中国語	1前・後		1							1
		小計（21科目）	－	13	17	0	9	9	8	3	0	16
職業専門科目	専門支持科目 基礎医学	医学英語	2前	1								1
		解剖学Ⅰ（総論・神経系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅲ（骨格系）	1後		1		1					1
		解剖学Ⅳ（筋系）	1後		1		1					1
		生理学Ⅰ（動物性機能）	1前	1								3
		生理学Ⅱ（植物性機能）	1後	1								3
		運動生理学	1後		1		2					
		運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		
		基礎運動学	1後		2			1				
		運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
		理学療法運動学演習	2前		1		1			1		
		作業療法運動学演習	2前		1		1			2		
		人間発達学	1後		1							1
		小計（14科目）	－	5	10	0	6	2	0	3	0	8
	専門支持科目 臨床医学	医学概論	1後		1							1
		病理学	1後	1								1
		内科学	2後	2								4
		整形外科学	2後		2		1					
		臨床神経学	2前・後	2								3
		精神医学	2前	2								3
		小児科学	2後	1								4
		リハビリテーション医学	2前・後	1								1
		臨床心理学	2前・後	2								3
		耳鼻咽喉科学	2前		2							1
		形成外科学	3前		1							1
		臨床歯科医学	3前		1							1
		画像診断学	3前		1							1
		臨床栄養学	3前		1							1
		臨床薬理学	3前		1							1
		救急管理実習【※】	3前・後		1							1
		小計（16科目）	－	11	11	0	1	0	0	0	0	25

【令和元年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門支持科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			2					
			社会福祉概論	1前・後	2								1
			地域包括ケア論	3後	2								2
			チーム連携論	4前	1								1
			小計(4科目)	－	6	0	0	2	0	0	0	0	4
		基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			2					
			理学療法概論演習	1後	1				1	1			
			理学療法セミナーⅠ(PBL)	1後	1					1	1		
			理学療法セミナーⅡ(PBL)	2前	1				2				
			臨床運動学	2後	1			1					
			理学療法管理学	3後	1			1					
			小計(6科目)	－	6	0	0	4	3	2	1	0	0
		理学療法評価学	理学療法評価学	1後	1				1				
			理学療法測定実習Ⅰ【※】	2前	1				2				
			理学療法測定実習Ⅱ【※】	2後	1				2				
			理学療法検査実習Ⅰ【※】	2前	1				1		1		
			理学療法検査実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1		
			電気診断学	3前	1			1					
			小計(6科目)	－	6	0	0	1	4	0	1	0	0
	専門基幹科目(理学療法学専攻)	理学療法治療学	運動療法学	2前	2			2					
			運動療法学実習【※】	2後	1			2					
			物理療法学	2前	2								1
			物理療法学実習【※】	2後	1				1				1
			理学療法日常生活活動学	2前	2			1					
			理学療法日常生活活動学実習【※】	2後	1			1		1			
			内部障害理学療法実習【※】	3前	2			2	1				
			中枢神経障害理学療法実習【※】	3前	1								1
			脊髄障害理学療法実習【※】	3前	1								1
			運動器障害理学療法実習【※】	3前	1					1			1
			発達障害理学療法実習【※】	3後	1				1				
			老年期障害理学療法実習【※】	3後	1			1		1			
			義肢装具学演習	3後	1				1				
			理学療法技術実習Ⅰ(運動関節学的手技)【※】	3前		1							1
			理学療法技術実習Ⅱ(神経筋促通手技)【※】	3後		1		1					1
			理学療法技術実習Ⅲ(生体観察手技)【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅰ(脳障害)【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅱ(ICU)【※】	3後		1							1
			理学療法治療学実習Ⅲ(スポーツ障害)【※】	3前		1							2
			理学療法治療学実習Ⅳ(障害者スポーツ)【※】	3後		1							1
			臨床理学療法技法演習(PBL)	3前	1				1	1	1		
			小計(21科目)	－	18	7	0	5	4	2	1	0	11

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門支持科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			2					
			社会福祉概論	1前・後	2								1
			地域包括ケア論	3後	2								2
			チーム連携論	4前	1								1
			小計(4科目)	－	6	0	0	2	0	0	0	0	4
		基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			1					
			理学療法概論演習	1前	1				1	1			
			理学療法セミナーⅠ(PBL)	1後	1					1	1		
			理学療法セミナーⅡ(PBL)	2前	1				2				
			臨床運動学	2後	1			1					
			小計(5科目)	－	5	0	0	2	3	2	1	0	0
		理学療法管理学	理学療法管理学	3前	1			1					
			理学療法管理実務	3後	1								1
			小計(2科目)	－	2	0	0	1	0	0	0	0	1
		理学療法評価学	理学療法評価学	1後	1				1				
			理学療法測定実習Ⅰ【※】	2前	1				2				
			理学療法測定実習Ⅱ【※】	2後	1				2				
			理学療法検査実習Ⅰ【※】	2前	1				1		1		
			理学療法検査実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1		
			電気診断学	3前	1			1					
			小計(6科目)	－	6	0	0	1	4	0	1	0	0
	専門基幹科目(理学療法学専攻)	理学療法治療学	運動療法学	2前	2			1					
			運動療法学実習【※】	2後	1			1					
			物理療法学	2前	2								1
			物理療法学実習【※】	2後	1				1				1
			理学療法日常生活活動学	2前	2			1					
			理学療法日常生活活動学実習【※】	2後	1			1		1			
			内部障害理学療法実習【※】	3前	2			2	1				
			中枢神経障害理学療法実習【※】	3前	1								1
			脊髄障害理学療法実習【※】	3前	1								1
			運動器障害理学療法実習【※】	3前	1					1			1
			発達障害理学療法実習【※】	3後	1				1				
			老年期障害理学療法実習【※】	3後	1			1		1			
			義肢装具学演習	3後	1				1				
			理学療法技術実習Ⅰ(運動関節学的手技)【※】	3前		1							1
			理学療法技術実習Ⅱ(神経筋促通手技)【※】	3後		1		1					1
			理学療法技術実習Ⅲ(生体観察手技)【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅰ(脳障害)【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅱ(ICU)【※】	3後		1							1
			理学療法治療学実習Ⅲ(スポーツ障害)【※】	3前		1							2
			理学療法治療学実習Ⅳ(障害者スポーツ)【※】	3後		1							1
			臨床理学療法技法演習(PBL)	3前	1				1	1	1		
			小計(21科目)	－	18	7	0	4	4	2	1	0	11

【令和元年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（理学療法学専攻）	理学療法学 地域	地域理学療法学	2後	2			1					
			地域理学療法学演習	3前	1								1
			生活環境支援理学療法実習【※】	3前	1			1					
			機能代償支援理学療法実習【※】	3後	1				1		1		
			ヘルスプロモーション演習	3後	1			1					
			小計（5科目）	－	6	0	0	2	1	0	1	0	1
		理学療法臨床実習	理学療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			5	5	2	1		
			理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	5	2	1		
			理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	5	2	1		
			小計（3科目）	－	23	0	0	5	5	2	1	0	0
	専門基幹科目（作業療法学専攻）	作業療法学 基礎	作業療法概論	1前	1			1					
			生活活動と障害【※】	1前	1					3			
			基礎作業学実習【※】	1前	1					2			
			応用作業学実習【※】	1後	1					2			
			作業療法セミナー	1後	1				2	3	3		
			作業療法管理学	4前	1					1			1
			小計（6科目）	－	6	0	0	1	2	3	3	0	1
		作業療法評価学	基礎作業療法評価学	2前	2			1					
			作業療法評価実習Ⅰ（身体系）【※】	2前	1					1	2		
			作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系）【※】	2前	1				2				
			作業療法評価実習Ⅲ（発達系）【※】	2後	1					1			1
			小計（4科目）	－	5	0	0	1	2	2	2	0	1
		作業療法治療学	作業分析学	2前	1			1					
			作業分析演習	2後	1			1		1	1		
			基礎作業療法治療学Ⅰ（身体系）	2後	2			1					
			基礎作業療法治療学Ⅱ（精神・認知系）	2後	2				1				
			作業療法日常生活活動学	2前	1					1			
			日常生活支援作業療法実習【※】	2後	1					1			
			義肢・装具作業療法実習【※】	2後	1				1				1
			身体障害作業療法実習Ⅰ（中枢神経系）【※】	3前	1			1			2		
			身体障害作業療法実習Ⅱ（脊髄・運動器系）【※】	3前	1					1	1		1
			身体障害作業療法実習Ⅲ（内部系）【※】	3前	1								1
			精神障害作業療法実習Ⅰ【※】	3前	1				2				
			精神障害作業療法実習Ⅱ【※】	3後	1				2				
			老年期障害作業療法実習Ⅰ【※】	3前	1					1			
			老年期障害作業療法実習Ⅱ【※】	3後	1				1	1			
			発達障害作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			高次脳機能障害作業療法実習【※】	3後	1				1		1		1
			臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL）【※】	2前	1				1	1	2		
			臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL）【※】	3後	1				1	1	2		
			小計（18科目）	－	20	0	0	1	3	3	3	0	5

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（理学療法学専攻）	理学療法学 地域	地域理学療法学	2後	2			1					
			地域理学療法学演習	3前	1								1
			生活環境支援理学療法実習【※】	3前	1			1					
			機能代償支援理学療法実習【※】	3後	1				1		1		
			ヘルスプロモーション演習	3後	1			1					
			小計（5科目）	－	6	0	0	2	1	0	1	0	1
		理学療法臨床実習	理学療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			5	5	2	1		
			理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	5	2	1		
			理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	5	2	1		
			小計（3科目）	－	23	0	0	5	5	2	1	0	0
	専門基幹科目（作業療法学専攻）	作業療法学 基礎	作業療法概論	1前	1			1					
			生活活動と障害【※】	1前	1					3			
			基礎作業学実習【※】	1前	1					2			
			応用作業学実習【※】	1後	1					2			
			作業療法セミナー	1後	1				2	3	3		
			小計（**5**科目）	－	5	0	0	1	2	3	3	0	0
		作業療法管理学	**作業療法管理学**	**3前**	1					1			1
			作業療法管理実務	**3後**	**1**								**1**
			小計（2科目）	－	2	0	0	1	0	1	0	0	**2**
		作業療法評価学	基礎作業療法評価学	2前	2			1					
			作業療法評価実習Ⅰ（身体系）【※】	2前	1					1	2		
			作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系）【※】	**2後**	1				2				
			作業療法評価実習Ⅲ（発達系）【※】	2後	1					1			1
			小計（4科目）	－	5	0	0	1	2	2	2	0	**1**
		作業療法治療学	作業分析学	2前	1			1					
			作業分析演習	2後	1			1		1	1		
			基礎作業療法治療学Ⅰ（身体系）	2後	2			1					
			基礎作業療法治療学Ⅱ（精神・認知系）	2後	2				1				
			作業療法日常生活動学	2前	1					1			
			日常生活支援作業療法実習【※】	2後	1					1			
			義肢・装具作業療法実習【※】	2後	1				1				1
			身体障害作業療法実習Ⅰ（中枢神経系）【※】	3前	1			1			2		
			身体障害作業療法実習Ⅱ（脊髄・運動器系）【※】	3前	1					1	1		1
			身体障害作業療法実習Ⅲ（内部系）【※】	3前	1								1
			精神障害作業療法実習Ⅰ【※】	3前	1				2				
			精神障害作業療法実習Ⅱ【※】	3後	1				2				
			老年期障害作業療法実習Ⅰ【※】	3前	1					1			
			老年期障害作業療法実習Ⅱ【※】	3後	1				1	1			
			発達障害作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			高次脳機能障害作業療法実習【※】	3後	1				1		1		1
			臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL）【※】	2前	1				1	1	2		
			臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL）【※】	3後	1				1	1	2		
			小計（18科目）	－	20	0	0	1	3	3	3	0	5

【令和元年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（作業療法学専攻）	地域作業療法学	地域作業療法学	2後	2					1			
			地域作業療法学演習	3前	1					1			
			生活環境支援作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			機能代償支援作業療法実習【※】	3後	1						1		2
			就労支援作業療法演習	3後	1				1		1		
			生活活動マネジメント	3後		1				1			
			地域支援Ⅰ（余暇活動）	3後		1				2			
			地域支援Ⅱ（認知症）	3後		1			1	1			
			小計（8科目）	－	6	3	0	0	2	7	2	0	3
		作業療法臨床実習	作業療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	2				1	3	3		
			作業療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	6				2	3	4	1	
			作業療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16				2	3	4	1	
			小計（3科目）	－	24	0	0	0	2	3	4	1	0
	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学	2前	2								2
			音声・言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学（聴覚心理学を含む）	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1
			音声障害学実習【※】	2後	1				1				
			学習・認知心理学	3前	1								1
			言語発達学	3前	1				1				
			高次脳機能障害学	3前	1				1		1		1
			言語発達障害学	3前	1								1
			重複障害学	3後	1				1				1
			学習障害・広汎性発達障害学	3前	1				1				1
			機能性構音障害学実習【※】	3前	1			1					
			器質性構音障害学実習【※】	3前	1								1
			運動障害性構音障害学実習【※】	3後	1								1
			吃音学	3前	1								1
			嚥下障害学実習【※】	3前	1								2
			補聴器・人工内耳学	3前	2								1
			言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					2			
			言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
			小計（25科目）	－	35	0	0	1	2	2	1	0	20
		言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1
			聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
			失語・高次脳機能障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			失語・高次脳機能障害評価実習【※】	3後	1				1				
			発声発語・嚥下障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語・嚥下障害評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計（9科目）	－	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（作業療法学専攻）	地域作業療法学	地域作業療法学	2前	2					1			
			地域作業療法学演習	3前	1					1			
			生活環境支援作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			機能代償支援作業療法実習【※】	3後	1						1		2
			就労支援作業療法演習	3後	1				1		1		
			生活活動マネジメント	3後		1				1			
			地域支援Ⅰ（余暇活動）	3後		1				2			
			地域支援Ⅱ（認知症）	3後		1			1	1			
			小計（8科目）	－	6	3	0	0	2	3	2	0	3
		作業療法臨床実習	作業療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	2				1	3	3		
			作業療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	6				2	3	4	1	
			作業療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16				2	3	4	1	
			小計（3科目）	－	24	0	0	0	2	3	4	1	0
	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学	2後	2								3
			音声・言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学（聴覚心理学を含む）	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1
			音声障害学実習【※】	2後	1				1				
			学習・認知心理学	3前	1								1
			言語発達学	3前	1				1				
			高次脳機能障害学	3前	1				1		1		1
			言語発達障害学	3前	1								1
			重複障害学	3後	1				1				1
			学習障害・広汎性発達障害学	3前	1				1				1
			機能性構音障害学実習【※】	3前	1			1					
			器質性構音障害学実習【※】	3前	1								1
			運動障害性構音障害学実習【※】	3後	1								1
			吃音学	3前	1								1
			嚥下障害学実習【※】	3前	1								2
			補聴器・人工内耳学	3前	2								1
			言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					2			
			言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
			小計（25科目）	－	35	0	0	1	2	2	1	0	21
		言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1
			聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
			失語・高次脳機能障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			失語・高次脳機能障害評価実習【※】	3後	1				1				
			発声発語・嚥下障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語・嚥下障害評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計（9科目）	－	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【令和元年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	言語聴覚療法学	言語聴覚療法技術実習Ⅰ（言語発達障害）【※】	3後	1				1				
			言語聴覚療法技術実習Ⅱ（高次脳機能障害）【※】	3後	1					1			1
			言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）【※】	4前	1				1				1
			言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）【※】	4前	1				1				1
			小計（4科目）	－	4	0	0	0	2	1	0	0	3
		言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計（3科目）	－	20	0	0	1	2	2	1	0	0
展開科目		理学療法展開科目群	生涯スポーツ論	1後	2			1					
			スポーツ心理学	1前	2								1
			学校保健論	2前	1								1
			産業保健論	2前	1								1
			企業論	2前	2								1
			データ分析論	2後	2			1					
			経営組織論	3前	2								1
			マーケティング論	3前	2								1
			会計学総論	3前	2								1
			経営管理論	3後	2								1
			起業論	3後	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	2	0	0	0	0	9
		作業療法展開科目群	土佐地域資源論	1前	2								1
			社会的企業論	1後	2								2
			ロボット技術活用論	2前	2								1
			地域生活とサービス	2前	2								1
			精神障害者の援助とネットワーク	2後	2								1
			障害者の社会環境と制度	3前	2								1
			地域防災論	3前	2								1
			更生保護制度論	3前	2								1
			特別支援教育論	3前	2								1
			対人援助技術論	3前	2								2
			小計（10科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	12
		言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1								1
			マンガ概論	1前	2								1
			マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
			活字デザイン論	1後	2								1
			視覚デザイン概論	2前	2								1
			カラーコミュニケーション概論	2前	2								1
			視覚伝達デザイン論	2後	2								1
			情報メディア学入門	2後	2								1
			広告論	3前	2								1
			企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	9
総合科目		応用理学療法学	理学療法地域支援実習【※】	4後	1			5	5	2	1		
			応用理学療法学演習	4後	2			3	5	2	1		
			理学療法総合演習Ⅰ	4後		1		1	1	1			
			理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2				
			理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
			小計（5科目）	－	3	3	0	5	5	2	1	0	0
		応用作業療法学	作業療法地域支援実習【※】	4後	1				2	3	4		
			応用作業療法学演習	4後	2				1	3	3		
			作業療法総合演習Ⅰ	4後		1				1			
			作業療法総合演習Ⅱ	4後		1			1		1		
			作業療法総合演習Ⅲ	4後		1			1	1	1		
			小計（5科目）	－	3	3	0	0	2	3	4	0	0

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	言語聴覚療法学	言語聴覚療法技術実習Ⅰ（言語発達障害）【※】	3後	1				1				
			言語聴覚療法技術実習Ⅱ（高次脳機能障害）【※】	3後	1					1			1
			言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）【※】	4前	1				1				1
			言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）【※】	4前	1				1				1
			小計（4科目）	－	4	0	0	0	2	1	0	0	3
		言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			1	2	2			
			言語聴覚療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計（3科目）	－	20	0	0	1	2	2	1	0	0
展開科目		理学療法展開科目群	生涯スポーツ論	1後	2			1					
			スポーツ心理学	1前	2								1
			学校保健論	2前	1								1
			産業保健論	2後	1								1
			企業論	2前	2								1
			データ分析論	2後	2			1					
			経営組織論	3前	2								1
			マーケティング論	3前	2								1
			会計学総論	3前	2								1
			経営管理論	3後	2								1
			起業論	3後	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	2	0	0	0	0	9
		作業療法展開科目群	土佐地域資源論	1後	2								1
			社会的企業論	1後	2								2
			ロボット技術活用論	2前	2								1
			地域生活とサービス	2前	2								1
			精神障害者の援助とネットワーク	2後	2								1
			障害者の社会環境と制度	3前	2								1
			地域防災論	3前	2								1
			更生保護制度論	3前	2								1
			特別支援教育論	3前	2								1
			対人援助技術論	3前	2								2
			小計（10科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	12
		言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1								1
			マンガ概論	1前	2								1
			マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
			活字デザイン論	1後	2								1
			視覚デザイン概論	2前	2								1
			カラーコミュニケーション概論	2前	2								1
			視覚伝達デザイン論	2後	2								1
			情報メディア学入門	2後	2								1
			広告論	3前	2								1
			企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	9
総合科目		応用理学療法学	理学療法地域支援実習【※】	4後	1			5	5	2	1		
			応用理学療法学演習	4後	2			3	5	2	1		
			理学療法総合演習Ⅰ	4後		1		1	1	1			
			理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2				
			理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
			小計（5科目）	－	3	3	0	5	5	2	1	0	0
		応用作業療法学	作業療法地域支援実習【※】	4後	1				2	3	4		
			応用作業療法学演習	4後	2				1	3	3		
			作業療法総合演習Ⅰ	4後		1				1			
			作業療法総合演習Ⅱ	4後		1					1		
			作業療法総合演習Ⅲ	4後		1			1	1	1		
			小計（5科目）	－	3	3	0	0	2	3	4	0	0

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合科目	応用言語聴覚学	言語聴覚療法 地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
		応用言語聴覚学 演習	4後	2			1	2	2			
		言語聴覚療法 総合演習Ⅰ	4後		1			1				
		言語聴覚療法 総合演習Ⅱ	4後		1							1
		言語聴覚療法 総合演習Ⅲ	4後		1				1			
		小計(5科目)	－	3	3	0	1	2	2	0	0	1
合計(223科目)			－	293	57	0	13	9	8	6	0	118

卒業要件及び履修方法

《理学療法学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限:48単位／年間）

《作業療法学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

② 職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位を含め15単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎作業療法学」の6科目6単位から必修6単位、「作業療法評価学」の4科目5単位から必修5単位、「作業療法治療学」の18科目20単位から必修20単位、「地域作業療法学」の8科目9単位から必修6単位を含め7単位以上、「作業療法臨床実習」の3科目24単位から必修24単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計141単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限:48単位／年間）

《言語聴覚学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限:48単位／年間）

【令和２年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合科目	応用言語聴覚学	言語聴覚療法 地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
		応用言語聴覚学 演習	4後	2			1	2	2			
		言語聴覚療法 総合演習Ⅰ	4後		1			1				
		言語聴覚療法 総合演習Ⅱ	4後		1							1
		言語聴覚療法 総合演習Ⅲ	4後		1				1			
		小計(5科目)	－	3	3	0	1	2	2	1	0	1
合計(**225**科目)			－	295	57	0	13	9	8	6	0	**122**

卒業要件及び履修方法

《理学療法学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から**必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上**、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の**5科目5単位から必修5単位、「理学療法管理学」の2科目2単位から必修2単位**、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計**143**単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限:48単位／年間）

《作業療法学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

② 職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から**必修11単位及び選択必修6単位を含め17単位以上**、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎作業療法学」の5科目**5単位から必修5単位、「作業療法管理学の2科目2単位から必修2単位**、「作業療法評価学」の4科目5単位から必修5単位、「作業療法治療学」の18科目20単位から必修20単位、「地域作業療法学」の8科目9単位から必修6単位を含め7単位以上、「作業療法臨床実習」の3科目24単位から必修24単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計**144**単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限:48単位／年間）

《言語聴覚学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限:48単位／年間）

【令和３年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	人間の探求	心理学	1前	2								2
		教育学	1前・後		2							1
		生命倫理	3前		2							2
	社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		社会学	1前		2							1
		リーダーシップ論	4後	1								1
		国際関係論	4後		2							1
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1				2				
		地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
	自然の探求	生物学	1前		2							1
		数学	1後		1							1
		物理学	1後		1							1
		統計学	1後		2							1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1			1		1			
		情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	健康の探求	健康科学	1前	1			1					
		健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
	外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			1					
		英語Ⅱ	1前・後		1		1					
		英会話	1前・後		1							1
		中国語	1前・後		1							1
		小計（21科目）	－	13	17	0	9	9	8	3	0	16
職業専門科目	専門支持科目	医学英語	2前	1								1
		解剖学Ⅰ（総論・神経系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅲ（骨格系）	1後		1		1					1
		解剖学Ⅳ（筋系）	1後		1		1					1
		生理学Ⅰ（動物性機能）	1前	1								3
		生理学Ⅱ（植物性機能）	1後	1								3
		運動生理学	1後		1		2					
		運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		
		基礎運動学	1後		2			1				
		運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
		理学療法運動学演習	2前		1		1			1		
		作業療法運動学演習	2前		1		1			2		
		人間発達学	1後		1							1
		小計（14科目）	－	5	10	0	6	2	0	3	0	8
		医学概論	1後		1							1
		病理学	1後	1								1
		内科学	2後	2								4
		整形外科学	2後		2		1					
		臨床神経学	2前・後	2								2
		精神医学	2前	2								7
		小児科学	2後	1								4
		リハビリテーション医学	2前・後	1								1
		臨床心理学	2前・後	2								3
		耳鼻咽喉科学	2前		2							1
		形成外科学	3前		1							1
		臨床歯科医学	3前		1							1
		画像診断学	3前		1							1
		臨床栄養学	3前		1							1
		臨床薬理学	3前		1							1
		救急管理実習【※】	3前・後		1							1
		小計（16科目）	－	11	11	0	1	0	0	0	0	28

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門支持科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			2					
			社会福祉概論	1前・後	2								1
			地域包括ケア論	3後	2								2
			チーム連携論	4前	1								1
			小計（4科目）	－	6	0	0	2	0	0	0	0	4
	専門基幹科目（理学療法学専攻）	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			1					
			理学療法概論演習	1前	1				1	1			
			理学療法セミナーⅠ（PBL）	1後	1					1	1		
			理学療法セミナーⅡ（PBL）	2前	1				2				
			臨床運動学	2後	1			1					
			小計（5科目）	－	5	0	0	2	3	2	1	0	0
		理学療法管理学	理学療法管理学	3前	1			1					
			理学療法管理実務	3後	1								1
			小計（2科目）	－	2	0	0	1	0	0	0	0	1
		理学療法評価学	理学療法評価学	1後	1				1				
			理学療法測定実習Ⅰ【※】	2前	1				2				
			理学療法測定実習Ⅱ【※】	2後	1				2				
			理学療法検査実習Ⅰ【※】	2前	1				1		1		
			理学療法検査実習Ⅱ【※】	2後	1				1		1		
			電気診断学	3前	1			1					
			小計（6科目）	－	6	0	0	1	4	0	1	0	0
		理学療法治療学	運動療法学	2前	2			1					
			運動療法学実習【※】	2後	1			1					
			物理療法学	2前	2								1
			物理療法学実習【※】	2後	1				1				1
			理学療法日常生活活動学	2前	2			1					
			理学療法日常生活活動学実習【※】	2後	1			1		1			
			内部障害理学療法実習【※】	3前	2			2	1				
			中枢神経障害理学療法実習【※】	3前	1								1
			脊髄障害理学療法実習【※】	3前	1								1
			運動器障害理学療法実習【※】	3前	1			1		1			1
			発達障害理学療法実習【※】	3後	1				1				
			老年期障害理学療法実習【※】	3後	1			1		1			
			義肢装具学演習	3後	1				2				
			理学療法技術実習Ⅰ（運動関節学的手技）【※】	3前		1							1
			理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）【※】	3後		1		1					1
			理学療法技術実習Ⅲ（生体観察手技）【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅰ（脳障害）【※】	3前		1							1
			理学療法治療学実習Ⅱ（ICU）【※】	3後		1							1
			理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）【※】	3前		1							2
			理学療法治療学実習Ⅳ（障害者スポーツ）【※】	3後		1							1
			臨床理学療法技法演習（PBL）	3前	1				1	1	1		
			小計（21科目）	－	18	7	0	4	5	2	1	0	11

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（理学療法学専攻）	理学療法学 地域	地域理学療法学	2後	2			1					
			地域理学療法学演習	3前	1								1
			生活環境支援理学療法実習【※】	3前	1			1					
			機能代償支援理学療法実習【※】	3後	1				1		1		
			ヘルスプロモーション演習	3後	1			1					
			小計（5科目）	－	6	0	0	2	1	0	1	0	1
		理学療法臨床実習	理学療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			5	6	2	1		
			理学療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	4			5	6	2	1		
			理学療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	18			5	6	2	1		
			小計（3科目）	－	23	0	0	5	6	2	1	0	0
	専門基幹科目（作業療法学専攻）	作業療法学 基礎	作業療法概論	1前	1			1					
			生活活動と障害【※】	1前	1					3			
			基礎作業学実習【※】	1前	1					2			
			応用作業学実習【※】	1後	1					2			
			作業療法セミナー	1後	1				2	3	3		
			小計（5科目）	－	5	0	0	1	2	3	3	0	0
		作業療法管理学 作業療法	作業療法管理学	3後	1					1			1
			作業療法管理実務	4前	1								1
			小計（2科目）	－	2	0	0	0	0	1	0	0	2
		作業療法評価学	基礎作業療法評価学	2前	2			1					
			作業療法評価実習Ⅰ（身体系）【※】	2前	1					1	2		
			作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系）【※】	2前	1				2				
			作業療法評価実習Ⅲ（発達系）【※】	2後	1					1			1
			小計（4科目）	－	5	0	0	1	2	2	2	0	1
		作業療法治療学	作業分析学	2前	1			1					
			作業分析演習	2後	1			1		1	1		
			基礎作業療法治療学Ⅰ（身体系）	2後	2			1					
			基礎作業療法治療学Ⅱ（精神・認知系）	2後	2				1				
			作業療法日常生活活動学	2前	1					1			
			日常生活支援作業療法実習【※】	2後	1					1			
			義肢・装具作業療法実習【※】	2後	1				2				1
			身体障害作業療法実習Ⅰ（中枢神経系）【※】	3前	1			1			2		
			身体障害作業療法実習Ⅱ（脊髄・運動器系）【※】	3前	1					1	1		1
			身体障害作業療法実習Ⅲ（内部系）【※】	3前	1								1
			精神障害作業療法実習Ⅰ【※】	3前	1				2				
			精神障害作業療法実習Ⅱ【※】	3後	1				2				
			老年期障害作業療法実習Ⅰ【※】	3前	1					1			
			老年期障害作業療法実習Ⅱ【※】	3後	1				1	1			
			発達障害作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			高次脳機能障害作業療法実習【※】	3後	1				1		1		1
			臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL）【※】	2前	1				1	1	2		
			臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL）【※】	3後	1				1	1	2		
			小計（18科目）	－	20	0	0	1	4	3	3	0	5

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（作業療法学専攻）	地域作業療法学	地域作業療法学	2後	2					1			
			地域作業療法学演習	3前	1					1			
			生活環境支援作業療法実習【※】	3前	1					1			1
			機能代償支援作業療法実習【※】	3後	1						1		2
			就労支援作業療法演習	3後	1				1		1		
			生活活動マネジメント	3後		1				1			
			地域支援Ⅰ（余暇活動）（未開講）	3後		1				2			
			地域支援Ⅱ（認知症）（未開講）	3後		1			1	1			
			小計（8科目）	－	6	3	0	0	2	3	2	0	3
		臨床実習 作業療法	作業療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	2				2	3	4		
			作業療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	6				2	3	4		
			作業療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16				2	3	4		
			小計（3科目）	－	24	0	0	0	2	3	4	0	0
	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学	2後	2								3
			音声・言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学（聴覚心理学を含む）	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1
			音声障害学実習【※】	2後	1				1				
			学習・認知心理学	3前	1								1
			言語発達学	3前	1				1				
			高次脳機能障害学	3前	1				1		1		1
			言語発達障害学	3前	1								1
			重複障害学	3後	1				1				1
			学習障害・広汎性発達障害学	3前	1				1				1
			機能性構音障害学実習【※】	3前	1			1					
			器質性構音障害学実習【※】	3前	1								1
			運動障害性構音障害学実習【※】	3後	1								1
			吃音学	3前	1								2
			嚥下障害学実習【※】	3後	1								2
			補聴器・人工内耳学	3前	2								1
			言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					2			
			言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
			小計（25科目）	－	35	0	0	1	2	2	1	0	20
		言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1
			聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
			失語・高次脳機能障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			失語・高次脳機能障害評価実習【※】	3後	1				1				
			発声発語・嚥下障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語・嚥下障害評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計（9科目）	－	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
職業専門科目	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	言語聴覚療法治療学	言語聴覚療法技術実習Ⅰ（言語発達障害）【※】	3後	1				1				
			言語聴覚療法技術実習Ⅱ（高次脳機能障害）【※】	3後	1					1			1
			言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）【※】	4前	1				1				1
			言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）【※】	4前	1				1				1
			小計（4科目）	－	4	0	0	0	2	1	0	0	3
		言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計（3科目）	－	20	0	0	1	2	2	1	0	0
展開科目		理学療法展開科目群	生涯スポーツ論	1後	2			1					
			スポーツ心理学	1前	2								1
			学校保健論	2前	1								1
			産業保健論	2前	1								1
			企業論	2前	2								1
			データ分析論	2後	2			1					
			経営組織論	3前	2								1
			マーケティング論	3前	2								1
			会計学総論	3前	2								1
			経営管理論	3後	2								1
			起業論	3後	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	2	0	0	0	0	9
		作業療法展開科目群	土佐地域資源論	1後	2								1
			社会的企業論	1後	2								2
			ロボット技術活用論	2前	2								1
			地域生活とサービス	2前	2								1
			精神障害者の援助とネットワーク	2後	2								1
			障害者の社会環境と制度	3前	2								1
			地域防災論	3前	2								1
			更生保護制度論	3前	2								1
			特別支援教育論	3前	2								1
			対人援助技術論	3前	2								2
			小計（10科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	12
		言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1								1
			マンガ概論	1前	2								1
			マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
			活字デザイン論	1後	2								1
			視覚デザイン概論	2前	2								1
			カラーコミュニケーション概論	2前	2								1
			視覚伝達デザイン論	2後	2								1
			情報メディア学入門	2後	2								1
			広告論	3前	2								1
			企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	8

【令和３年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合科目	応用理学療法学	理学療法地域支援実習【※】	4後	1			5	6	2	1		
		応用理学療法学演習	4後	2			3	6	2	1		
		理学療法総合演習Ⅰ	4後		1		1	1	1			
		理学療法総合演習Ⅱ	4後		1		2	2				
		理学療法総合演習Ⅲ	4後		1		1	1				
		小計（5科目）	－	3	3	0	5	6	2	1	0	0
	応用作業療法学	作業療法地域支援実習【※】	4後	1				2	3	4		
		応用作業療法学演習	4後	2				1	3	3		
		作業療法総合演習Ⅰ	4後		1				1			
		作業療法総合演習Ⅱ	4後		1			1		1		
		作業療法総合演習Ⅲ	4後		1			1	1	1		
		小計（5科目）	－	3	3	0	0	2	3	4	0	0
	応用言語聴覚学	言語聴覚療法地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
		応用言語聴覚学演習	4後	2			1	2	2			
		言語聴覚療法総合演習Ⅰ	4後		1			1				
		言語聴覚療法総合演習Ⅱ	4後		1							1
		言語聴覚療法総合演習Ⅲ	4後		1				1			
		小計（5科目）	－	3	3	0	1	2	2	1	0	1
合計（225科目）			－	295	57	0	13	10	8	6	0	123

卒業要件及び履修方法

《理学療法学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から**必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上**、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位をそれぞれ修得する。「基礎理学療法学」の**5科目5単位から必修5単位**、**「理学療法管理学」の2科目2単位から必修2単位**、「理学療法評価学」の6科目6単位から必修6単位、「理学療法治療学」の21科目25単位から必修18単位を含め20単位以上、「地域理学療法学」の5科目6単位から必修6単位、「理学療法臨床実習」の3科目23単位から必修23単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「理学療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用理学療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計**143**単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限：48単位／年間）

《作業療法学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

② 職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位を含め14単位以上、「臨床医学」の16科目22単位から**必修11単位及び選択必修6単位を含め17単位以上**、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎作業療法学」の5科目**5単位から必修5単位**、**「作業療法管理学の2科目2単位から必修2単位**、「作業療法評価学」の4科目5単位から必修5単位、「作業療法治療学」の18科目20単位から必修20単位、「地域作業療法学」の8科目9単位から必修6単位を含め7単位以上、「作業療法臨床実習」の3科目24単位から必修24単位をそれぞれ修得する。

③展開科目では、「作業療法展開科目群」の10科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用作業療法学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上を修得する。

⑤卒業要件単位数は合計**144**単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限：48単位／年間）

《言語聴覚学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限：48単位／年間）

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入して

（1）－②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・兼任教員の本務の予定が合わない理由により、「スポーツ心理学」の開講時期を「１後」から「１前」に変更した。
・専任教員の体調不良の理由により、今年度に限り「理学療法概論演習」の開講時期を「１前」から「１後」に変更した。
・附帯事項２の作業療法学専攻における「福祉」を冠する展開科目については、科目の概要及び科目区分を踏まえた科目名称に改めることにより教育課程の概要の作業療法展開科目群の科目名を適切な名称に変更した。

【令和２年度】

・「健康科学」「理学療法概論」「運動療法学」「運動療法学実習」の科目については、専任教員　（教授）2名を配置していたが、その内の1名が病気治療中にて、主治医より勤務負担の軽減を指示されており、負担軽減が必要な状況の為それぞれの科目に対してもう1名の教員で対応するため教授の数を1名に変更した。
・「臨床神経学」の兼任講師1名の開講回数が3回であるので、負担の軽減とより質の高い教育効果 を得るため兼任講師を2名 から3名に変更した。
・指定規則の改正により、「理学療法管理学」及び「作業療法管理学」の区分が新設されたのに伴い、「理学療法管理学」「理学療法管理実務」「作業療法管理学」「作業療法管理実務」を新設区分に配置した。また、「理学療法管理実務」及び「作業療法管理実務」は新設科目の為、それぞれ兼任講師を1名づつ配置した。
・「聴覚系医学」の基礎的な知識である聴器の構造と機能（生理）について、専門の医師による講義が望ましいとの担当教員2名からの意見もあり、兼任講師を2名から3名に変更をした。
「聴覚系医学」兼任講師1名が講義を行えるのが後期ということであり、学年が変わらない範囲 であれば、実施時期が前期後期による大きな影響はないので開講時期を前期から後期に変更した。
・「臨床心理学」について3名の兼任講師の内1名が講義を行えるのが後期ということであり、実施時期が前期後期による大きな影響はないので開講時期を前期から前期・後期に変更した。
・理学療法士・作業療法士指定規則の改正に伴い理学療法学専攻卒業要件の「臨床医学」を必修11単位を含め15単位以上から必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上へ、「基礎理学療法学」の6科目6単位から必修6単位を5科目5単位から必修5単位へ変更し、「理学療法管理学」の2科目2単位を新たに追加し、卒業単位を140単位から143単位へ変更した。同じく作業療法学専攻卒業要件の「臨床医学」を必修11単位を含め15単位以上から必修11単位及び選択必修6単位含め17単位以上へ、「基礎作業療法学」の6科目6単位から必修6単位を5科目5単位から必修5単位へ変更し、「作業療法管理学」の2科目2単位から必修2単位を新たに追加し、卒業単位を141単位から144単位へ変更した。
・理学療法学専攻2年次科目「産業保健論」について、兼任講師が大阪在住であり、新型コロナウイルス感染拡大に伴い勤務先が、大阪府外への移動自粛を求めていたこともあり開講時期を「2前」から「2後」に変更して実施した。同一学年内での変更であり、教育課程の体系性への影響はなし。
・作業療法学専攻1年次科目「土佐地域資源論」について、新型コロナウイルスの影響で、勤務先より学外派遣の自粛にともない開講時期を「1前」から「1後」へ変更して実施した。同一学年内での変更であり、教育課程の体系性への影響はない。
・作業療法学専攻2年次科目「作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系）」の科目について、令和２年度の授業については准教授1名で実施する予定であったが、より教育効果を上げるため、令和3年度就任予定の准教授を兼任講師として配置し教員2名の共同で授業を行った。同科目は共同授業の為科目担当の兼任講師が大阪に在住しており、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い外出自粛要請が出されていることもあり、来高することが難しいので、開講時期を「2前」から「2後」へ変更して実施した。それに伴い、後期配置科目数の学生への負担が増えないよう、「地域作業療法学」の開講時期を「2後」から「2前」に変更して実施した。両科目とも同一学年内での変更であり、教育課程の体系性への影響はない。
・理学療法士・作業療法士指定規則の変更に伴い選択科目であった「臨床栄養学」「臨床薬理学」「画像診断学」「救急管理実習」が選択必修となり、開講回数が「臨床栄養学」「臨床薬理学」が1回→3回、「画像診断学」が2回→3回に変更となった。
・「企業論」について、理学療法学専攻単独で同時に40名を超える授業科目として1クラスで行う授業としていたが、兼任講師より2クラスの授業が可能ということもあり、教育効果を考えて2クラスに分けて授業を実施した。

【令和３年度】

・作業療法学専攻「精神医学」の兼任講師について、より専門性の高い授業内容とするため、実習施設に勤務している医師並びに他大学にて精神医学を担当している医師5名を兼任講師として、各講師の専門性を踏まえより教育効果の高い授業を実施する。
・附帯事項における教員補充科目「運動器障害理学療法実習」について、令和2年度ＡＣ教員審査にて科目判定「可」受けた教授1名を新たに配置した。
・臨床神経学の兼任講師1名が辞退の為兼任講師の配置を3名から2名に変更した。
・「吃音学」について、当初兼任講師1名での開講であったが本務の都合によりすべての授業を実施することができないため、新たに兼任講師を1名配置し2名のオムニバス方式で実施する。
・「嚥下障害学実習」について、兼任講師の本務の都合により「3前」から「3後」変更して実施する。同一学年内での変更であり、教育課程の体系性への影響はなし。
・「英会話」「統計学」については、受講者数の関係で開講回数を「英会話」4回→3回、「統計学」2回→1回にそれぞれ変更した。
・「義肢装具学演習」について、開学以来専任教員1名にで授業を行ってきたが健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている。その為令和3年度ＡＣ教員審査にて科目判定「可」受けた准教授1名を新たに配置し共同方式で実施した。
・「義肢・装具作業療法実習」について、専任教員1名・兼任講師1名にて授業を行ってきたが、専任教員の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている。その為、令和3年度ＡＣ教員審査にて科目判定「可」受けた准教授1名を新たに配置し、専任教員実施分を共同方式で行った。
・「理学療法臨床実習Ⅰ」「理学療法臨床実習Ⅱ」「理学療法臨床実習Ⅲ」「理学療法地域支援実習」「応用理学療法学演習」について令和3年度ＡＣ教員審査にて科目判定「可」受けた准教授1名を新たに配置した。
・「土佐地域資源論」について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開講時期を「1前」から「1後」へ変更した。同一学年内での変更であり、教育課程への影響はない。
・「音声・言語系医学」について、15回中4回の授業を担当予定であった兼任講師が、本務の都合により担当回数を2回に変更した。残り2回分については、同科目を担当する他の兼任講師が担当した。同じ領域での講師に変更したため、教育効果に支障はない。
・「地域支援Ⅰ（余暇活動）」「地域支援Ⅱ（認知症）」については、受講者がいないため開講しない。

【令和４年度】

・「心理学」について兼任講師2名で授業を行っていたが、1名辞退により1名で授業を実施する。
・「医学英語」について2年次前期実施の授業科目ですが、講師の決定が遅くなり、4月当初に開講するのに十分な体制が整わず、開講時期を前期から一部のクラスを後期に移動し前期・後期の開講として授業を実施する。開講時期の変更により開講回数を4回→3回に変更した。なお、前期・後期に変更したことによるカリキュラム上の影響はない。
・「脊髄障害理学療法実習」について兼任講師から脊髄損傷の分野における臨床経験豊富で知識・技術を身に着けており、令和3年度 ＡＣ教員審査にて科目判定「可」を受けた准教授に変更しより質の高い授業を実施する。
・「理学療法地域支援実習」「応用理学療法実習」について、専任教員の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている為准教授を1名配置し共同授業で実施する。
・「補聴器・人工内耳学」について前期の科目ではあるが、本務の関係で前期中に開講することが困難な状況となっている。学生への質の高い十分な教育を行うために、後期の開講に変更する。なお、後期に変更したことによるカリキュラム上の影響はなく、学生の負担に対して十分な配慮を行う。
・「ロボット技術活用論」について、兼任講師1名での開講であったが、本務の都合により全ての授業を実施することができないため、新たに兼任講師を1名配置し計2名のオムニバス方式で実施する。
・「英会話」については、受講者数の関係により開講回数を4回→3回へ変更した。
・「地域支援Ⅰ（余暇活動）」「地域支援Ⅱ（認知症）」については、受講者がいないため開講しない。

（注）・　２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
175 科目	48 科目	0 科目	223 科目	177 科目 [2]	48 科目 [0]	0 科目 [0]	225 科目 [2]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

2　授業科目の概要

＜リハビリテーション学部　リハビリテーション学科　言語聴覚学専攻＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	人間の探求	心理学	1前	2								2
		教育学	1前・後		2							1
		生命倫理	3前		2							2
	社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		社会学	1前		2							1
		リーダーシップ論	4後	1								1
		国際関係論	4後		2							1
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1				2				
		地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
	自然の探求	生物学	1前		2							1
		数学	1後		1							1
		物理学	1後		1							1
		統計学	1後		2							1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1			1		1			
		情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	健康の探求	健康科学	1前	1			2					
		健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
	外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			1					
		英語Ⅱ	1前・後		1		1					
		英会話	1前・後		1							1
		中国語	1前・後		1							1
		小計（21科目）	－	13	17	0	9	9	8	3	0	16
職業専門科目	専門支持科目	医学英語	2前	1								1
	基礎医学	解剖学Ⅰ（総論・神経系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅲ（骨格系）	1後		1		1					1
		解剖学Ⅳ（筋系）	1後		1		1					1
		生理学Ⅰ（動物性機能）	1前	1								3
		生理学Ⅱ（植物性機能）	1後	1								3
		運動生理学	1後		1		2					
		運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		
		基礎運動学	1後		2			1				
		運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
		理学療法運動学演習	2前		1		1			1		
		作業療法運動学演習	2前		1		1			2		
		人間発達学	1後		1							1
		小計（14科目）	－	5	10	0	6	2	0	3	0	8
	臨床医学	医学概論	1後		1							1
		病理学	1後	1								1
		内科学	2後	2								4
		整形外科学	2後		2		1					
		臨床神経学	2前・後	2								2
		精神医学	2前	2								1
		小児科学	2後	1								4
		リハビリテーション医学	2前・後	1								1
		臨床心理学	2前	2								1
		耳鼻咽喉科学	2前		2							1
		形成外科学	3前		1							1
		臨床歯科医学	3前		1							1
		画像診断学	3前		1							1
		臨床栄養学	3前		1							1
		臨床薬理学	3前		1							1
		救急管理実習【※】	3前・後		1							1
		小計（16科目）	－	11	11	0	1	0	0	0	0	20

【令和４年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	人間の探求	心理学	1前	2								1
		教育学	1前・後		2							1
		生命倫理	3前		2							2
	社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		社会学	1前		2							1
		リーダーシップ論	4後	1								1
		国際関係論	4後		2							1
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1				2				
		地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
	自然の探求	生物学	1前		2							1
		数学	1後		1							1
		物理学	1後		1							1
		統計学	1後		2							1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1			1		1			
		情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	健康の探求	健康科学	1前	1			1					
		健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
	外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			1					
		英語Ⅱ	1前・後		1		1					
		英会話	1前・後		1							1
		中国語	1前・後		1							1
		小計（21科目）	－	13	17	0	9	9	8	3	0	15
職業専門科目	専門支持科目	医学英語	2前・後	1								1
	基礎医学	解剖学Ⅰ（総論・神経系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）	1前	1			1					1
		解剖学Ⅲ（骨格系）	1後		1		1					1
		解剖学Ⅳ（筋系）	1後		1		1					1
		生理学Ⅰ（動物性機能）	1前	1								3
		生理学Ⅱ（植物性機能）	1後	1								3
		運動生理学	1後		1		2					
		運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		
		基礎運動学	1後		2			1				
		運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
		理学療法運動学演習	2前		1		1			1		
		作業療法運動学演習	2前		1		1			2		
		人間発達学	1後		1							1
		小計（14科目）	－	5	10	0	6	2	0	3	0	8
	臨床医学	医学概論	1後		1							1
		病理学	1後	1								1
		内科学	2後	2								4
		整形外科学	2後		2		1					
		臨床神経学	2前・後	2								2
		精神医学	2前	2								1
		小児科学	2後	1								4
		リハビリテーション医学	2前・後	1								1
		臨床心理学	2前・後	2								1
		耳鼻咽喉科学	2前		2							1
		形成外科学	3前		1							1
		臨床歯科医学	3前		1							1
		画像診断学	3前		1							1
		臨床栄養学	3前		1							1
		臨床薬理学	3前		1							1
		救急管理実習【※】	3前・後		1							1
		小計（16科目）	－	11	11	0	1	0	0	0	0	20

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
職業専門科目	専門支持科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			2					
			社会福祉概論	1前・後	2								1
			地域包括ケア論	3後	2								2
			チーム連携論	4前	1								1
			小計(4科目)	－	6	0	0	2	0	0	0	0	4
	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学	2前	2								2
			音声・言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学（聴覚心理学を含む）	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1
			音声障害学実習【※】	2後	1				1				
			学習・認知心理学	3前	1								1
			言語発達学	3前	1				1				
			高次脳機能障害学	3前	1				1		1		1
			言語発達障害学	3前	1								1
			重複障害学	3後	1				1				1
			学習障害・広汎性発達障害学	3前	1				1				1
			機能性構音障害学実習【※】	3前	1			1					
			器質性構音障害学実習【※】	3前	1								1
			運動障害性構音障害学実習【※】	3後	1								1
			吃音学	3前	1								1
			嚥下障害学実習【※】	3前	1								2
			補聴器・人工内耳学	3前	2								1
			言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					2			
			言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
			小計(25科目)	－	35	0	0	1	2	2	1	0	20
		言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1
			聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
			失語・高次脳機能障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			失語・高次脳機能障害評価実習【※】	3後	1				1				
			発声発語・嚥下障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語・嚥下障害評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計(9科目)	－	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【令和４年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
職業専門科目	専門支持科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			2					
			社会福祉概論	1前・後	2								1
			地域包括ケア論	3後	2								2
			チーム連携論	4前	1								1
			小計(4科目)	－	6	0	0	2	0	0	0	0	4
	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学	2後	2								3
			音声・言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学（聴覚心理学を含む）	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1
			音声障害学実習【※】	2後	1				1				
			学習・認知心理学	3前	1								1
			言語発達学	3前	1				1				
			高次脳機能障害学	3前	1				1		1		1
			言語発達障害学	3前	1								1
			重複障害学	3後	1				1				1
			学習障害・広汎性発達障害学	3前	1				1				1
			機能性構音障害学実習【※】	3前	1			1					
			器質性構音障害学実習【※】	3前	1								1
			運動障害性構音障害学実習【※】	3後	1								1
			吃音学	3前	1								2
			嚥下障害学実習【※】	3後	1								2
			補聴器・人工内耳学	3後	2								1
			言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					2			
			言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
			小計(25科目)	－	35	0	0	1	2	2	1	0	20
		言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1
			聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
			失語・高次脳機能障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			失語・高次脳機能障害評価実習【※】	3後	1				1				
			発声発語・嚥下障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語・嚥下障害評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計(9科目)	－	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	言語聴覚療法治療学	言語聴覚療法技術実習Ⅰ（言語発達障害）【※】	3後	1				1				
			言語聴覚療法技術実習Ⅱ（高次脳機能障害）【※】	3後	1					1			1
			言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）【※】	4前	1				1				1
			言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）【※】	4前	1				1				1
			小計（4科目）	－	4	0	0	0	2	1	0	0	3
		言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計（3科目）	－	20	0	0	1	2	2	1	0	0
展開科目		言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1								1
			マンガ概論	1前	2								1
			マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
			活字デザイン論	1後	2								1
			視覚デザイン概論	2前	2								1
			カラーコミュニケーション概論	2前	2								1
			視覚伝達デザイン論	2後	2								1
			情報メディア学入門	2後	2								1
			広告論	3前	2								1
			企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	9
総合科目		応用言語聴覚学	言語聴覚療法地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
			応用言語聴覚学演習	4後	2			1	2	2			
			言語聴覚療法総合演習Ⅰ	4後		1			1				
			言語聴覚療法総合演習Ⅱ	4後		1							1
			言語聴覚療法総合演習Ⅲ	4後		1				1			
			小計（5科目）	－	3	3	0	1	2	2	1	0	1
合計（112科目）				－	127	41	0	13	9	8	6	0	75

卒業要件及び履修方法

《言語聴覚学専攻》

①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限：48単位／年間）

【令和４年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	言語聴覚療法治療学	言語聴覚療法技術実習Ⅰ（言語発達障害）【※】	3後	1				1				
			言語聴覚療法技術実習Ⅱ（高次脳機能障害）【※】	3後	1					1			1
			言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）【※】	4前	1				1				1
			言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）【※】	4前	1				1				1
			小計（4科目）	－	4	0	0	0	2	1	0	0	3
		言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計（3科目）	－	20	0	0	1	2	2	1	0	0
展開科目		言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1								1
			マンガ概論	1前	2								1
			マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
			活字デザイン論	1後	2								1
			視覚デザイン概論	2前	2								1
			カラーコミュニケーション概論	2前	2								1
			視覚伝達デザイン論	2後	2								1
			情報メディア学入門	2後	2								1
			広告論	3前	2								1
			企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	**8**
総合科目		応用言語聴覚学	言語聴覚療法地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
			応用言語聴覚学演習	4後	2			1	2	2			
			言語聴覚療法総合演習Ⅰ	4後		1			1				
			言語聴覚療法総合演習Ⅱ	4後		1							1
			言語聴覚療法総合演習Ⅲ	4後		1				1			
			小計（5科目）	－	3	3	0	1	2	2	1	0	1
合計（112科目）				－	127	41	0	13	**10**	8	6	0	**73**

卒業要件及び履修方法

《言語聴覚学専攻》

①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限：48単位／年間）

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	人間の探求	心理学	1前	2								2
		教育学	1前・後		2							1
		生命倫理	3前		2							2
	社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		社会学	1前		2							1
		リーダーシップ論	4後	1								1
		国際関係論	4後		2							1
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1				2				
		地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
	自然の探求	生物学	1前		2							1
		数学	1後		1							1
		物理学	1後		1							1
		統計学	1後		2							1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1			1		1			
		情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	健康の探求	健康科学	1前	1			2					
		健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
	外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			1					
		英語Ⅱ	1前・後		1		1					
		英会話	1前・後		1							1
		中国語	1前・後		1							1
		小計(21科目)	－	13	17	0	9	9	8	3	0	16
職業専門科目	専門支持科目	医学英語	2前	1								1
		解剖学Ⅰ(総論・神経系)	1前	1			1					1
		解剖学Ⅱ(内臓・脈管系)	1前	1			1					1
		解剖学Ⅲ(骨格系)	1後		1		1					1
		解剖学Ⅳ(筋系)	1後		1		1					1
		生理学Ⅰ(動物性機能)	1前	1								3
		生理学Ⅱ(植物性機能)	1後	1								3
		運動生理学	1後		1		2					
		運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		
		基礎運動学	1後		2			1				
		運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
		理学療法運動学演習	2前		1		1			1		
		作業療法運動学演習	2前		1		1			2		
		人間発達学	1後		1							1
		小計(14科目)	－	5	10	0	6	2	0	3	0	8
		医学概論	1後		1							1
		病理学	1後	1								1
		内科学	2後	2								4
		整形外科学	2後		2		1					
		臨床神経学	2前・後	2								2
		精神医学	2前	2								1
		小児科学	2後	1								4
		リハビリテーション医学	2前・後	1								1
		臨床心理学	2前	2								1
		耳鼻咽喉科学	2前		2							1
		形成外科学	3前		1							1
		臨床歯科医学	3前		1							1
		画像診断学	3前		1							1
		臨床栄養学	3前		1							1
		臨床薬理学	3前		1							1
		救急管理実習【※】	3前・後		1							1
		小計(16科目)	－	11	11	0	1	0	0	0	0	20

【令和２年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	人間の探求	心理学	1前	2								2
		教育学	1前・後		2							1
		生命倫理	3前		2							2
	社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
		社会学	1前		2							1
		リーダーシップ論	4後	1								1
		国際関係論	4後		2							1
	地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1				2				
		地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
	自然の探求	生物学	1前		2							1
		数学	1後		1							1
		物理学	1後		1							1
		統計学	1後		2							1
		情報処理演習Ⅰ	1前	1			1		1			
		情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	健康の探求	健康科学	1前	1			1					
		健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
	外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			1					
		英語Ⅱ	1前・後		1		1					
		英会話	1前・後		1							1
		中国語	1前・後		1							1
		小計(21科目)	－	13	17	0	9	9	8	3	0	16
職業専門科目	専門支持科目	医学英語	2前	1								1
		解剖学Ⅰ(総論・神経系)	1前	1			1					1
		解剖学Ⅱ(内臓・脈管系)	1前	1			1					1
		解剖学Ⅲ(骨格系)	1後		1		1					1
		解剖学Ⅳ(筋系)	1後		1		1					1
		生理学Ⅰ(動物性機能)	1前	1								3
		生理学Ⅱ(植物性機能)	1後	1								3
		運動生理学	1後		1		2					
		運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		
		基礎運動学	1後		2			1				
		運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
		理学療法運動学演習	2前		1		1			1		
		作業療法運動学演習	2前		1		1			2		
		人間発達学	1後		1							1
		小計(14科目)	－	5	10	0	6	2	0	3	0	8
		医学概論	1後		1							1
		病理学	1後	1								1
		内科学	2後	2								4
		整形外科学	2後		2		1					
		臨床神経学	2前・後	2								3
		精神医学	2前	2								1
		小児科学	2後	1								4
		リハビリテーション医学	2前・後	1								1
		臨床心理学	2前・後	2								1
		耳鼻咽喉科学	2前		2							1
		形成外科学	3前		1							1
		臨床歯科医学	3前		1							1
		画像診断学	3前		1							1
		臨床栄養学	3前		1							1
		臨床薬理学	3前		1							1
		救急管理実習【※】	3前・後		1							1
		小計(16科目)	－	11	11	0	1	0	0	0	0	20

【令和元年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門支持科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			2					
			社会福祉概論	1前・後	2								1
			地域包括ケア論	3後	2								2
			チーム連携論	4前	1								1
			小計(4科目)	－	6	0	0	2	0	0	0	0	4
	専門基幹科目(言語聴覚学専攻)	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学	2前	2								2
			音声・言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学(聴覚心理学を含む)	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1
			音声障害学実習【※】	2後	1				1				
			学習・認知心理学	3前	1								1
			言語発達学	3前	1				1				
			高次脳機能障害学	3前	1				1		1		1
			言語発達障害学	3前	1								1
			重複障害学	3後	1				1				1
			学習障害・広汎性発達障害学	3前	1				1				1
			機能性構音障害学実習【※】	3前	1			1					
			器質性構音障害学実習【※】	3前	1								1
			運動障害性構音障害学実習【※】	3後	1								1
			吃音学	3前	1								1
			嚥下障害学実習【※】	3前	1								2
			補聴器・人工内耳学	3前	2								1
			言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					2			
			言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
			小計(25科目)	－	35	0	0	1	2	2	1	0	20
		言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1
			聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
			失語・高次脳機能障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			失語・高次脳機能障害評価実習【※】	3後	1				1				
			発声発語・嚥下障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語・嚥下障害評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計(9科目)	－	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門支持科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			2					
			社会福祉概論	1前・後	2								1
			地域包括ケア論	3後	2								2
			チーム連携論	4前	1								1
			小計(4科目)	－	6	0	0	2	0	0	0	0	4
	専門基幹科目(言語聴覚学専攻)	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学	2後	2								3
			音声・言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学(聴覚心理学を含む)	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1
			音声障害学実習【※】	2後	1				1				
			学習・認知心理学	3前	1								1
			言語発達学	3前	1				1				
			高次脳機能障害学	3前	1				1		1		1
			言語発達障害学	3前	1								1
			重複障害学	3後	1				1				1
			学習障害・広汎性発達障害学	3前	1				1				1
			機能性構音障害学実習【※】	3前	1			1					
			器質性構音障害学実習【※】	3前	1								1
			運動障害性構音障害学実習【※】	3後	1								1
			吃音学	3前	1								1
			嚥下障害学実習【※】	3前	1								2
			補聴器・人工内耳学	3前	2								1
			言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					2			
			言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
			小計(25科目)	－	35	0	0	1	2	2	1	0	21
		言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1
			聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
			失語・高次脳機能障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			失語・高次脳機能障害評価実習【※】	3後	1				1				
			発声発語・嚥下障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語・嚥下障害評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計(9科目)	－	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【令和元年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	言語聴覚療法学	言語聴覚療法技術実習Ⅰ（言語発達障害）【※】	3後	1				1				
			言語聴覚療法技術実習Ⅱ（高次脳機能障害）【※】	3後	1					1			1
			言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）【※】	4前	1				1				1
			言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）【※】	4前	1				1				1
			小計（4科目）	－	4	0	0	0	2	1	0	0	3
		言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計（3科目）	－	20	0	0	1	2	2	1	0	0
展開科目		言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1								1
			マンガ概論	1前	2								1
			マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
			活字デザイン論	1後	2								1
			視覚デザイン概論	2前	2								1
			カラーコミュニケーション概論	2前	2								1
			視覚伝達デザイン論	2後	2								1
			情報メディア学入門	2後	2								1
			広告論	3前	2								1
			企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	9
総合科目		応用言語聴覚学	言語聴覚療法地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
			応用言語聴覚学演習	4後	2			1	2	2			
			言語聴覚療法総合演習Ⅰ	4後		1			1				
			言語聴覚療法総合演習Ⅱ	4後		1							1
			言語聴覚療法総合演習Ⅲ	4後		1				1			
			小計（5科目）	－	3	3	0	1	2	2	0	0	1
合計（112科目）				－	127	41	0	13	9	8	6	0	75

卒業要件及び履修方法

《言語聴覚学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限：48単位／年間）

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	言語聴覚療法学	言語聴覚療法技術実習Ⅰ（言語発達障害）【※】	3後	1				1				
			言語聴覚療法技術実習Ⅱ（高次脳機能障害）【※】	3後	1					1			1
			言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）【※】	4前	1				1				1
			言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）【※】	4前	1				1				1
			小計（4科目）	－	4	0	0	0	2	1	0	0	3
		言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			1	2	2			
			言語聴覚療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計（3科目）	－	20	0	0	1	2	2	1	0	0
展開科目		言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1								1
			マンガ概論	1前	2								1
			マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
			活字デザイン論	1後	2								1
			視覚デザイン概論	2前	2								1
			カラーコミュニケーション概論	2前	2								1
			視覚伝達デザイン論	2後	2								1
			情報メディア学入門	2後	2								1
			広告論	3前	2								1
			企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	9
総合科目		応用言語聴覚学	言語聴覚療法地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
			応用言語聴覚学演習	4後	2			1	2	2			
			言語聴覚療法総合演習Ⅰ	4後		1			1				
			言語聴覚療法総合演習Ⅱ	4後		1							1
			言語聴覚療法総合演習Ⅲ	4後		1				1			
			小計（5科目）	－	3	3	0	1	2	2	1	0	1
合計（112科目）				－	127	41	0	13	9	8	6	0	77

卒業要件及び履修方法

《言語聴覚学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限：48単位／年間）

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目		人間の探求	心理学	1前	2								2
			教育学	1前・後		2							1
			生命倫理	3前		2							2
		社会の探求	コミュニケーション論	1前・後	2				1				
			社会学	1前		2							1
			リーダーシップ論	4後	1								1
			国際関係論	4後		2							1
		地域の探求	地域課題研究Ⅰ	2後	1				2				
			地域課題研究Ⅱ	3通	1			7	9	7	3		
		自然の探求	生物学	1前		2							1
			数学	1後		1							1
			物理学	1後		1							1
			統計学	1後		2							1
			情報処理演習Ⅰ	1前	1			1		1			
			情報処理演習Ⅱ	1後	1			1		1			
		健康の探求	健康科学	1前	1			1					
			健康とスポーツ【※】	1前・後	1								3
		外国語の探求	英語Ⅰ	1前・後	2			1					
			英語Ⅱ	1前・後		1		1					
			英会話	1前・後		1							1
			中国語	1前・後		1							1
			小計（21科目）	－	13	17	0	9	9	8	3	0	16
職業専門科目	専門支持科目	基礎医学	医学英語	2前	1								1
			解剖学Ⅰ（総論・神経系）	1前	1			1					1
			解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）	1前	1			1					1
			解剖学Ⅲ（骨格系）	1後		1		1					1
			解剖学Ⅳ（筋系）	1後		1		1					1
			生理学Ⅰ（動物性機能）	1前	1								3
			生理学Ⅱ（植物性機能）	1後	1								3
			運動生理学	1後		1		2					
			運動生理学実習【※】	2前		1		2	1		1		
			基礎運動学	1後		2			1				
			運動機能学実習【※】	2前		1		1	1		1		
			理学療法運動学演習	2前		1		1			1		
			作業療法運動学演習	2前		1		1			2		
			人間発達学	1後		1							1
			小計（14科目）	－	5	10	0	6	2	0	3	0	8
		臨床医学	医学概論	1後		1							1
			病理学	1後	1								1
			内科学	2後	2								4
			整形外科学	2後		2		1					
			臨床神経学	2前・後	2								2
			精神医学	2前	2								1
			小児科学	2後	1								4
			リハビリテーション医学	2前・後	1								1
			臨床心理学	2後	2								1
			耳鼻咽喉科学	2前		2							1
			形成外科学	3前		1							1
			臨床歯科医学	3前		1							1
			画像診断学	3前		1							1
			臨床栄養学	3前		1							1
			臨床薬理学	3前		1							1
			救急管理実習【※】	3前・後		1							1
			小計（16科目）	－	11	11	0	1	0	0	0	0	20

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門支持科目	保健医療福祉の理念	リハビリテーション概論	1前・後	1			2					
			社会福祉概論	1前・後	2								1
			地域包括ケア論	3後	2								2
			チーム連携論	4前	1								1
			小計(4科目)	－	6	0	0	2	0	0	0	0	4
	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	基礎言語聴覚学	言語聴覚障害学総論Ⅰ	1前	2			1	1				
			言語聴覚障害学総論Ⅱ	1後	2			1	1				
			失語症学	1後	2								1
			聴覚系医学	2後	2								3
			音声・言語系医学	2後	2								3
			発達心理学	2後	1								1
			言語学	2前	2								1
			音声学	2後	2								1
			音響学（聴覚心理学を含む）	2後	2								1
			聴覚障害学	2前	2								1
			音声障害学実習【※】	2後	1				1				
			学習・認知心理学	3前	1								1
			言語発達学	3前	1				1				
			高次脳機能障害学	3前	1				1		1		1
			言語発達障害学	3前	1								1
			重複障害学	3後	1				1				1
			学習障害・広汎性発達障害学	3前	1				1				1
			機能性構音障害学実習【※】	3前	1			1					
			器質性構音障害学実習【※】	3前	1								1
			運動障害性構音障害学実習【※】	3後	1								1
			吃音学	3前	1								2
			嚥下障害学実習【※】	3後	1								2
			補聴器・人工内耳学	3前	2								1
			言語聴覚療法セミナーⅠ	2通	1					2			
			言語聴覚療法セミナーⅡ	3通	1					2			
			小計(25科目)	－	35	0	0	1	2	2	1	0	20
		言語聴覚療法評価学	言語発達障害検査実習【※】	2前	1				1	1			
			言語発達障害評価実習【※】	2後	1				1	1			
			聴覚検査学	2後	2								1
			聴覚障害検査実習【※】	2後	1								1
			失語・高次脳機能障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			失語・高次脳機能障害評価実習【※】	3後	1				1				
			発声発語・嚥下障害検査実習【※】	3前	1					1			1
			発声発語・嚥下障害評価実習【※】	3後	1					1			1
			心理測定法実習【※】	3後	1								1
			小計(9科目)	－	10	0	0	0	2	2	0	0	4

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
職業専門科目	専門基幹科目（言語聴覚学専攻）	言語聴覚療法治療学	言語聴覚療法技術実習Ⅰ（言語発達障害）【※】	3後	1				1				
			言語聴覚療法技術実習Ⅱ（高次脳機能障害）【※】	3後	1					1			1
			言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）【※】	4前	1				1				1
			言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）【※】	4前	1				1				1
			小計（4科目）	－	4	0	0	0	2	1	0	0	3
		言語聴覚療法臨床実習	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ【臨】	2後	1			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅱ【臨】	3後	3			1	2	2	1		
			言語聴覚療法臨床実習Ⅲ【臨】	4前	16			1	2	2	1		
			小計（3科目）	－	20	0	0	1	2	2	1	0	0
展開科目		言語聴覚療法展開科目群	地域福祉活動論	1前	1								1
			マンガ概論	1前	2								1
			マンガ基礎実習【※】	1前	1								1
			活字デザイン論	1後	2								1
			視覚デザイン概論	2前	2								1
			カラーコミュニケーション概論	2前	2								1
			視覚伝達デザイン論	2後	2								1
			情報メディア学入門	2後	2								1
			広告論	3前	2								1
			企業広報活動論	3前	2								1
			広告デザイン論	3前	2								1
			小計（11科目）	－	20	0	0	0	0	0	0	0	8
総合科目		応用言語聴覚学	言語聴覚療法地域支援実習【※】	4後	1			1	2	2	1		
			応用言語聴覚学演習	4後	2			1	2	2			
			言語聴覚療法総合演習Ⅰ	4後		1			1				
			言語聴覚療法総合演習Ⅱ	4後		1							1
			言語聴覚療法総合演習Ⅲ	4後		1				1			
			小計（5科目）	－	3	3	0	1	2	2	1	0	1
合計（112科目）				－	127	41	0	13	9	8	6	0	74

卒業要件及び履修方法

《言語聴覚学専攻》
①基礎科目では、「人間の探求」、「社会の探究」、「地域の探求」、「自然の探究」、「健康の探求」の17科目25単位から必修11単位と「統計学」の2単位を含め17単位以上、「外国語の探求」の4科目5単位から必修2単位を含め3単位以上をそれぞれ修得する。

②職業専門科目では、「基礎医学」の14科目15単位から必修5単位、「臨床医学」の16科目22単位から必修11単位と、「医学概論」「耳鼻咽喉科学」「形成外科学」「臨床歯科医学」の5単位を含め16単位以上、「保健医療福祉の理念」の4科目6単位から必修6単位、「基礎言語聴覚学」の25科目35単位から必修35単位、「言語聴覚療法評価学」の9科目10単位から必修10単位、「言語聴覚療法治療学」の4科目4単位から必修4単位、「言語聴覚療法臨床実習」の3科目20単位から必修20単位をそれぞれ修得する。

③ 展開科目では、「言語聴覚療法展開科目群」の11科目20単位から必修20単位を修得する。

④総合科目では、「応用言語聴覚学」の5科目6単位から必修3単位を含め4単位以上をそれぞれ修得する。

⑤卒業要件単位数は合計140単位以上を修得する。

（履修科目の登録上の上限：48単位／年間）

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・ １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・ 不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（1）－②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

【令和２年度】

・「健康科学」の科目については、専任教員（教授）2名を配置していたが、その内の1名が病気治療中にて、主治医より勤務負担の軽減を指示されており、負担軽減が必要な状況の為それぞれの科目に対してもう1名の教員で対応するため教授の数を1名に変更した。
・「臨床神経学」の兼任講師1名の開講回数が3回であるので、負担の軽減とより質の高い教育効果を得るため兼任講師を2名から3名に変更した。
・「聴覚系医学」の基礎的な知識である聴器の構造と機能（生理）について、専門の医師による講義が望ましいとの担当教員2名からの意見もあり、兼任講師を2名から3名に変更をした。「聴覚系医学」兼任講師1名が講義を行えるのが後期ということであり、学年が変わらない範囲であれば、実施時期が前期後期による大きな影響はないので開講時期を前期から後期に変更した。
・「臨床心理学」について3名の兼任講師の内1名が講義を行えるのが後期ということであり、実施時期が前期後期による大きな影響はないので開講時期を前期から前期・後期に変更した。

【令和３年度】

・臨床神経学の兼任講師1名が辞退の為兼任講師の配置を3名から2名に変更した。
・「吃音学」について、当初兼任講師1名での開講であったが本務の都合によりすべての授業を実施することができたいため、新たに兼任講師を1名配置し2名のオムニバス方式で実施する。
・「嚥下障害学実習」について、兼任講師の本業の都合により「3前」から「3後」変更して実施する。同一学年内での変更であり、教育課程の体系性への影響はなし。
・「英会話」「統計学」については、受講者数の関係で開講回数を「英会話」4回→3回、「統計学」2回→1回にそれぞれ変更した。
・「音声・言語系医学」について、15回中4回の授業を担当予定であった兼任講師が、本務の都合により担当回数を2回に変更した。残り2回分については、同科目を担当する他の兼任講師が担当した。同じ領域での講師に変更したため、教育効果に支障はない。

【令和４年度】

・「心理学」について兼任講師2名で授業を行っていたが、1名辞退により1名で授業を実施する。
・「医学英語」について2年次前期実施の授業科目ですが、講師の決定が遅くなり、4月当初に開講するのに十分な体制が整わず、開講時期を前期から一部のクラスを後期に移動し前期・後期の開講として授業を実施する。開講時期の変更により開講回数を4回→3回に変更した。なお、前期・後期に変更したことによるカリキュラム上の影響はない。
・「補聴器・人工内耳学」について前期の科目ではあるが、本務の関係で前期中に開講することが困難な状況となっている。学生への質の高い十分な教育を行うために、後期の開講に変更する。なお、後期に変更したことによるカリキュラム上の影響はなく、学生の負担に対して十分な配慮を行う。
・「英会話」については、受講者数の関係により開講回数を4回→3回へ変更した。

（注）・　２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

（2） 授業科目数　　＜言語聴覚学専攻＞

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
80 科目	32 科目	0 科目	112 科目	80 科目 [0]	32 科目 [0]	0 科目 [0]	112 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	基礎、展開 職業専門、総合	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	基礎、展開 職業専門、総合	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{223} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分	内　　容				備考
(1) 区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	運動場用地:高知学園短期大学と共用 高知市福井町字宮の前924－1他 距離：15ｋｍ 車で約25分 ・運動場以外は 土佐市借用 （26,353.96㎡） 借用期間:20年以上
校舎敷地	8,181.05 ㎡	— ㎡	— ㎡	8,181.05 ㎡	
運動場用地	— ㎡	24,025.00 ㎡	— ㎡	24,025.00 ㎡	
小　計	8,181.05 ㎡	24,025.00 ㎡	— ㎡	32,206.05 ㎡	
そ の 他	18,172.91 ㎡	— ㎡	— ㎡	18,172.91 ㎡	
合　計	26,353.96 ㎡	24,025.00 ㎡	— ㎡	50,378.96 ㎡	
(2) 校　舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	開設年度の専共用面積変更のため（元） 校舎面積は講堂 兼 体育館を除く
	9,168.42 ㎡ 1,357.57 （ ~~1,199.58~~ ㎡）	— ㎡ 6,672.57 （ ~~5,954.58~~ ㎡）	— ㎡ 1,120.28 （ ~~2,014.26~~ ㎡）	9,168.42 ㎡ （ 9,168.42 ㎡）	

(3) 教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	20 室	15 ~~16~~ 室	21 室	1 室 （補助職員 — 人）	— 室 （補助職員 — 人）	大学全体 研究室(実専・准教授1名)へ変更のため（４）

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　数	備考
	リハビリテーション学部リハビリテーション学科	~~35~~ 36 室	大学全体 (令和3年9月)実専にて准教授1名追加

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	リハビリテーション学部	31,100　1,775 ~~29,900〔1,775〕~~ 30,600　1,732 ~~30,300　1,746~~ ~~29,600~~ ~~28,900~~　1,730 （~~27,500~~〔~~1,715~~〕）	89〔 13 〕 88　~~12~~ （~~87〔 11 〕~~）	4　4 ~~3　3~~ ~~1〔 1 〕~~ 4　4 ~~3　3~~ ~~1〔 1 〕~~	880 ~~845~~ 861 ~~859~~ ~~835~~ ~~815~~ （~~805~~）	2,837 ~~2,801~~ ~~2,769~~ 2,818 ~~2,801~~ ~~2,747~~ ~~2,696~~ （~~2,659~~）	106 ~~110~~ 106 （~~78~~）	大学全体 図書・視聴覚資料・機械・器具購入数変更のため（３）（４）
	計	31,100　1,775 ~~29,900〔1,775〕~~ 30,600　1,732 ~~30,300　1,746~~ ~~29,600~~ ~~28,900~~　1,730 （~~27,500~~〔~~1,715~~〕）	89〔 13 〕 88　~~12~~ （~~87〔 11 〕~~）	4　4 ~~3　3~~ ~~1〔 1 〕~~ 4　4 ~~3　3~~ ~~1〔 1 〕~~	880 ~~845~~ 861 ~~859~~ ~~835~~ ~~815~~ （~~805~~）	2,837 ~~2,801~~ ~~2,769~~ 2,818 ~~2,801~~ ~~2,747~~ ~~2,696~~ （~~2,659~~）	106 ~~110~~ 106 （~~78~~）	

(6) 図　書　館	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	594.35 ㎡	114 席	50,000 冊	大学全体

(7) 体　育　館	面　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	427.70 ㎡	該当なし	大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
		教員１人当り研究費等	300 千円	300 千円	図書購入費	6,500 千円	2,500 千円	— 千円	・図書については設備購入費を第２年次まで計画的に整備する為、これに合わせて第２年次まで記載した ・電子ジャーナルデータベースの整備運営費は図書費に含まない
		共同研究費等	2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	63,426 千円	27,000 千円	— 千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,550 千円	1,260 千円	1,260 千円	1,260 千円	— 千円	— 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	資産運用収入・手数料収入・雑収入等である

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（４）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4．既設大学等の状況

大学の名称	高知リハビリテーション専門職大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
リハビリテーション学部	4	150	－	600	－	0.78	0.81	－	平成31	高知県土佐市高岡町乙1139-3	
リハビリテーション学科	4	150	－	600	－	0.78	0.81	－	平成31	同上	
理学療法学専攻	4	70	－	280	理学療法学士（専門職）	0.93	1.14	－	平成31	同上	
作業療法学専攻	4	40	－	160	作業療法学士（専門職）	0.65	0.57	－	平成31	同上	
言語聴覚学専攻	4	40	－	160	言語聴覚学士（専門職）	0.63	0.47	－	平成31	同上	
大学全体	4	150	－	600	-	0.78	0.81	－	－	－	

大学の名称	高知学園大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
健康科学部	4	130	－	520	－	0.79	0.74	－	令和2	高知県高知市旭天神町292-26	
管理栄養学科	4	70	－	280	学士（栄養学）	0.79	0.77	－	令和2	同上	
臨床検査学科	4	60	－	240	学士（臨床検査学）	0.79	0.71	－	令和2	同上	
大学全体	4	130	－	520	－	0.79	0.74	－	－	－	

大学の名称	高知学園短期大学						学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
生活科学学科	2	－	－	－	短期大学士（生活科学）	－	－	－	平成17	高知県高知市旭天神町292-26	令和2年4月学生募集停止
幼児保育学科	2	80	－	160	短期大学士（幼児保育学）	0.88	0.80	－	平成17	同上	
医療衛生学科	3	－	－	－	－	－	－	－	平成18	同上	令和2年4月学生募集停止
医療検査専攻	3	－	－	－	短期大学士（臨床検査学）	－	－	－	平成18	同上	令和2年4月学生募集停止
歯科衛生専攻	3	－	－	－	短期大学士（歯科衛生学）	－	－	－	平成18	同上	令和2年4月学生募集停止
歯科衛生学科	3	40	－	120	短期大学士（歯科衛生学）	0.89	0.82	－	令和2	同上	令和2年4月学科名称変更
看護学科	3	60	－	180	短期大学士（看護学）	1.14	1.11	－	平成20	同上	
短期大学全体	3	180	－	460	－	1.00	0.91	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和４年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜リハビリテーション学部　リハビリテーション学科＞

（1）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	小嶋　裕 （69） ＜平成31年4月＞ 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）	リハビリテーション概論 理学療法概論 地域理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅱ 理学療法総合演習Ⅲ
専	教授	大倉　三洋 （70） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 リハビリテーション概論 理学療法概論 電気診断学 運動療法学 運動療法学実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅰ
専	教授	高野　康夫 （69） ＜平成31年4月＞ 保健学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系） 解剖学Ⅲ（骨格系） 解剖学Ⅳ（筋系）
専	教授	山崎　裕司 （55） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法運動学演習 臨床運動学 理学療法日常生活活動学 理学療法日常生活活動学実習 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	教授	辻　博明 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 生涯スポーツ論
専	教授	竹島　卓 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ データ分析論
専	教授	武内　和弘 （72） ＜平成31年4月＞ 歯学博士	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 機能性構音障害学実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	小嶋　裕 （69） ＜平成31年4月＞ 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）	リハビリテーション概論 理学療法概論 地域理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅱ 理学療法総合演習Ⅲ
専	教授	大倉　三洋 （70） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 リハビリテーション概論 理学療法概論 電気診断学 運動療法学 運動療法学実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅰ
専	教授	高野　康夫 （69） ＜平成31年4月＞ 保健学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系） 解剖学Ⅲ（骨格系） 解剖学Ⅳ（筋系）
専	教授	山崎　裕司 （55） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法運動学演習 臨床運動学 理学療法日常生活活動学 理学療法日常生活活動学実習 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	教授	辻　博明 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 生涯スポーツ論
専	教授	竹島　卓 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ データ分析論
専	教授	武内　和弘 （72） ＜平成31年4月＞ 歯学博士	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 機能性構音障害学実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	小嶋　裕 （70） ＜平成31年4月＞ 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）	リハビリテーション概論 理学療法概論 地域理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅱ 理学療法総合演習Ⅲ
専	教授	大倉　三洋 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 リハビリテーション概論 理学療法概論 電気診断学 運動療法学 運動療法学実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅰ
専	教授	高野　康夫 （70） ＜平成31年4月＞ 保健学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系） 解剖学Ⅲ（骨格系） 解剖学Ⅳ（筋系）
専	教授	山崎　裕司 （56） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法運動学演習 臨床運動学 理学療法日常生活活動学 理学療法日常生活活動学実習 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	教授	辻　博明 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 生涯スポーツ論
専	教授	竹島　卓 （72） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ データ分析論
専	教授	武内　和弘 （73） ＜平成31年4月＞ 歯学博士	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 機能性構音障害学実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	小嶋　裕 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）	リハビリテーション概論 理学療法概論 地域理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅱ 理学療法総合演習Ⅲ
専	教授	大倉　三洋 （72） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 リハビリテーション概論 理学療法概論 電気診断学 運動療法学 運動療法学実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅰ
専	教授	高野　康夫 （71） ＜平成31年4月＞ 保健学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系） 解剖学Ⅲ（骨格系） 解剖学Ⅳ（筋系）
専	教授	山崎　裕司 （57） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法運動学演習 臨床運動学 理学療法日常生活活動学 理学療法日常生活活動学実習 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	教授	辻　博明 （73） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 生涯スポーツ論
専	教授	竹島　卓 （73） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ データ分析論
専	教授	武内　和弘 （74） ＜平成31年4月＞ 歯学博士	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 機能性構音障害学実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	小嶋　裕 （72） ＜平成31年4月＞ 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）	リハビリテーション概論 理学療法概論 地域理学療法学 ヘルスプロモーション演習 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅱ 理学療法総合演習Ⅲ
専	教授	大倉　三洋 （73） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 リハビリテーション概論 理学療法概論 電気診断学 運動療法学 運動療法学実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 理学療法総合演習Ⅰ
専	教授	高野　康夫 （72） ＜平成31年4月＞ 保健学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系） 解剖学Ⅲ（骨格系） 解剖学Ⅳ（筋系）
専	教授	山崎　裕司 （58） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法運動学演習 臨床運動学 理学療法日常生活活動学 理学療法日常生活活動学実習 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	教授	辻　博明 （74） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 運動生理学 運動生理学実習 生涯スポーツ論
専	教授	竹島　卓 （74） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ データ分析論
専	教授	武内　和弘 （75） ＜平成31年4月＞ 歯学博士	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 機能性構音障害学実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	玉井　健 （65） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
専	教授	清水　一 （71） ＜平成31年4月＞ Master of Science（米国）	作業療法運動学演習 作業療法概論 基礎作業療法評価学 作業分析学 作業分析演習 基礎作業療法治療学Ⅰ（身体系） 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系）
専	教授	相澤　徹 （56） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	運動機能学実習 整形外科学
専	教授	柳澤　健 （71） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 運動療法学 運動療法学実習 理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ
専	教授	宮川　哲夫 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	准教授	石川　裕治 （57） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 音声障害学実習 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	准教授	稲田　勤 （56） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） ※	地域課題研究Ⅱ 言語発達学 重複障害学※ 学習障害・広汎性発達障害学※ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅰ （言語発達障害） 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅰ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	玉井　健 （65） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
専	教授	清水　一 （71） ＜平成31年4月＞ Master of Science（米国）	作業療法運動学演習 作業療法概論 基礎作業療法評価学 作業分析学 作業分析演習 基礎作業療法治療学Ⅰ（身体系） 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系）
専	教授	相澤　徹 （56） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	運動機能学実習 整形外科学
専	教授	柳澤　健 （71） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 運動療法学 運動療法学実習 理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ
専	教授	宮川　哲夫 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	准教授	石川　裕治 （57） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 音声障害学実習 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	准教授	稲田　勤 （56） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） ※	地域課題研究Ⅱ 言語発達学 重複障害学※ 学習障害・広汎性発達障害学※ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅰ （言語発達障害） 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅰ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	玉井　健 （66） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
専	教授	清水　一 （72） ＜平成31年4月＞ Master of Science（米国）	作業療法運動学演習 作業療法概論 基礎作業療法評価学 作業分析学 作業分析演習 基礎作業療法治療学Ⅰ（身体系） 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系）
専	教授	相澤　徹 （56） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	運動機能学実習 整形外科学
専	教授	柳澤　健 （71） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 運動療法学 運動療法学実習 理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ
専	教授	宮川　哲夫 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	准教授	石川　裕治 （58） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 音声障害学実習 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	准教授	稲田　勤 （57） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） ※	地域課題研究Ⅱ 言語発達学 重複障害学※ 学習障害・広汎性発達障害学※ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅰ （言語発達障害） 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅰ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	玉井　健 （67） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
専	教授	清水　一 （73） ＜平成31年4月＞ Master of Science（米国）	作業療法運動学演習 作業療法概論 基礎作業療法評価学 作業分析学 作業分析演習 基礎作業療法治療学Ⅰ（身体系） 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系）
専	教授	相澤　徹 （57） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	運動機能学実習 整形外科学
専	教授	柳澤　健 （72） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 運動療法学 運動療法学実習 運動器障害理学療法実習 理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ
専	教授	宮川　哲夫 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	准教授	石川　裕治 （59） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 音声障害学実習 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	准教授	稲田　勤 （58） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） ※	地域課題研究Ⅱ 言語発達学 重複障害学※ 学習障害・広汎性発達障害学※ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅰ （言語発達障害） 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅰ

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	玉井　健 （68） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
専	教授	清水　一 （74） ＜平成31年4月＞ Master of Science（米国）	作業療法運動学演習 作業療法概論 基礎作業療法評価学 作業分析学 作業分析演習 基礎作業療法治療学Ⅰ（身体系） 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系）
専	教授	相澤　徹 （58） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	運動機能学実習 整形外科学
専	教授	柳澤　健 （73） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 運動療法学 運動療法学実習 運動器障害理学療法実習 理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ
専	教授	宮川　哲夫 （66） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	准教授	石川　裕治 （60） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 音声障害学実習 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	准教授	稲田　勤 （59） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） ※	地域課題研究Ⅱ 言語発達学 重複障害学※ 学習障害・広汎性発達障害学※ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅰ （言語発達障害） 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅰ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	片山　訓博 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 理学療法検査実習Ⅰ 理学療法検査実習Ⅱ 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅰ 理学療法総合演習Ⅱ
専	准教授	明崎　禎輝 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 理学療法セミナーⅡ（PBL） 理学療法測定実習Ⅰ 理学療法測定実習Ⅱ 物理療法学実習 機能代償支援理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	准教授	足立　一 （50） ＜平成33年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系） 精神障害作業療法実習Ⅰ 精神障害作業療法実習Ⅱ 就労支援作業療法演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 作業療法総合演習Ⅱ
専	講師	平松　真奈美 （56） ＜平成21年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 作業療法セミナー 作業療法管理学※ 老年期障害作業療法実習Ⅰ 老年期障害作業療法実習Ⅱ 地域作業療法学 地域作業療法学演習 生活活動マネジメント 地域支援Ⅱ（認知症） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ
専	講師	大塚　貴英 （51） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 基礎作業学実習 応用作業学実習 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 作業療法日常生活活動学 日常生活支援作業療法実習 身体障害作業療法実習Ⅱ （脊髄・運動器系）※ 生活環境支援作業療法実習※ 地域支援Ⅰ（余暇活動） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	片山　訓博 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 理学療法検査実習Ⅰ 理学療法検査実習Ⅱ 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅰ 理学療法総合演習Ⅱ
専	准教授	明崎　禎輝 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 理学療法セミナーⅡ（PBL） 理学療法測定実習Ⅰ 理学療法測定実習Ⅱ 物理療法学実習 機能代償支援理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	准教授	足立　一 （50） ＜平成33年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系） 精神障害作業療法実習Ⅰ 精神障害作業療法実習Ⅱ 就労支援作業療法演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 作業療法総合演習Ⅱ
専	講師	平松　真奈美 （56） ＜平成21年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 作業療法セミナー 作業療法管理学※ 老年期障害作業療法実習Ⅰ 老年期障害作業療法実習Ⅱ 地域作業療法学 地域作業療法学演習 生活活動マネジメント 地域支援Ⅱ（認知症） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ
専	講師	大塚　貴英 （51） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 基礎作業学実習 応用作業学実習 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 作業療法日常生活活動学 日常生活支援作業療法実習 身体障害作業療法実習Ⅱ （脊髄・運動器系）※ 生活環境支援作業療法実習※ 地域支援Ⅰ（余暇活動） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	片山　訓博 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 理学療法検査実習Ⅰ 理学療法検査実習Ⅱ 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅰ 理学療法総合演習Ⅱ
専	准教授	明崎　禎輝 （40） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 理学療法セミナーⅡ（PBL） 理学療法測定実習Ⅰ 理学療法測定実習Ⅱ 物理療法学実習 機能代償支援理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	准教授	足立　一 （50） ＜平成33年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系） 精神障害作業療法実習Ⅰ 精神障害作業療法実習Ⅱ 就労支援作業療法演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 作業療法総合演習Ⅱ
専	講師	平松　真奈美 （57） ＜平成21年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 作業療法セミナー 作業療法管理学※ 老年期障害作業療法実習Ⅰ 老年期障害作業療法実習Ⅱ 地域作業療法学 地域作業療法学演習 生活活動マネジメント 地域支援Ⅱ（認知症） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ
専	講師	大塚　貴英 （52） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 基礎作業学実習 応用作業学実習 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 作業療法日常生活活動学 日常生活支援作業療法実習 身体障害作業療法実習Ⅱ （脊髄・運動器系）※ 生活環境支援作業療法実習※ 地域支援Ⅰ（余暇活動） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	片山　訓博 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 理学療法検査実習Ⅰ 理学療法検査実習Ⅱ 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅰ 理学療法総合演習Ⅱ
専	准教授	明崎　禎輝 （41） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 理学療法セミナーⅡ（PBL） 理学療法測定実習Ⅰ 理学療法測定実習Ⅱ 物理療法学実習 機能代償支援理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	准教授	足立　一 （50） ＜平成33年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系） 精神障害作業療法実習Ⅰ 精神障害作業療法実習Ⅱ 就労支援作業療法演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 作業療法総合演習Ⅱ
専	講師	平松　真奈美 （58） ＜平成21年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 作業療法セミナー 作業療法管理学※ 老年期障害作業療法実習Ⅰ 老年期障害作業療法実習Ⅱ 地域作業療法学 地域作業療法学演習 生活活動マネジメント 地域支援Ⅱ（認知症） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ
専	講師	大塚　貴英 （53） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 基礎作業学実習 応用作業学実習 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 作業療法日常生活活動学 日常生活支援作業療法実習 身体障害作業療法実習Ⅱ （脊髄・運動器系）※ 生活環境支援作業療法実習※ 地域支援Ⅰ（余暇活動） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	片山　訓博 （50） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 理学療法検査実習Ⅰ 理学療法検査実習Ⅱ 内部障害理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅰ 理学療法総合演習Ⅱ
専	准教授	明崎　禎輝 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 理学療法セミナーⅡ（PBL） 理学療法測定実習Ⅰ 理学療法測定実習Ⅱ 物理療法学実習 機能代償支援理学療法実習※ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
専	准教授	足立　一 （51） ＜平成33年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系） 精神障害作業療法実習Ⅰ 精神障害作業療法実習Ⅱ 就労支援作業療法演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 作業療法総合演習Ⅱ
専	講師	平松　真奈美 （59） ＜平成21年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 作業療法セミナー 作業療法管理学※ 老年期障害作業療法実習Ⅰ 老年期障害作業療法実習Ⅱ 地域作業療法学 地域作業療法学演習 生活活動マネジメント 地域支援Ⅱ（認知症） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ
専	講師	大塚　貴英 （54） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 基礎作業学実習 応用作業学実習 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 作業療法日常生活活動学 日常生活支援作業療法実習 身体障害作業療法実習Ⅱ （脊髄・運動器系）※ 生活環境支援作業療法実習※ 地域支援Ⅰ（余暇活動） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	篠田　かおり （43） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 基礎作業学実習 応用作業学実習 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅲ（発達系）※ 作業分析演習 発達障害作業療法実習※ 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 地域支援Ⅰ（余暇活動） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅰ
専	講師	光内　梨佐 （39） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	講師	高地　正音 （48） ＜平成31年4月＞ 修士（工学）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
専	助教	石元　美知子 （63） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	地域課題研究Ⅱ 作業療法運動学演習 作業療法セミナー 作業分析演習 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系） 身体障害作業療法実習Ⅱ （脊髄・運動器系）※ 高次脳機能障害作業療法実習※ 就労支援作業療法演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 高次脳機能障害学※ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅱ
専	助教	有光　一樹 （44） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 運動生理学実習 運動機能学実習 作業療法運動学演習 機能代償支援理学療法実習※ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系） 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 機能代償支援作業療法実習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	篠田　かおり （43） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 基礎作業学実習 応用作業学実習 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅲ（発達系）※ 作業分析演習 発達障害作業療法実習※ 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 地域支援Ⅰ（余暇活動） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅰ
専	講師	光内　梨佐 （39） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	講師	高地　正音 （48） ＜平成31年4月＞ 修士（工学）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
専	助教	石元　美知子 （63） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	地域課題研究Ⅱ 作業療法運動学演習 作業療法セミナー 作業分析演習 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系） 身体障害作業療法実習Ⅱ （脊髄・運動器系）※ 高次脳機能障害作業療法実習※ 就労支援作業療法演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 高次脳機能障害学※ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅱ
専	助教	有光　一樹 （44） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 運動生理学実習 運動機能学実習 作業療法運動学演習 機能代償支援理学療法実習※ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系） 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 機能代償支援作業療法実習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	篠田　かおり （44） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 基礎作業学実習 応用作業学実習 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅲ（発達系）※ 作業分析演習 発達障害作業療法実習※ 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 地域支援Ⅰ（余暇活動） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅰ
専	講師	光内　梨佐 （40） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	講師	高地　正音 （49） ＜平成31年4月＞ 修士（工学）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
専	助教	石元　美知子 （64） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	地域課題研究Ⅱ 作業療法運動学演習 作業療法セミナー 作業分析演習 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系） 身体障害作業療法実習Ⅱ （脊髄・運動器系）※ 高次脳機能障害作業療法実習※ 就労支援作業療法演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 高次脳機能障害学※ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅱ
専	助教	有光　一樹 （45） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 運動生理学実習 運動機能学実習 作業療法運動学演習 機能代償支援理学療法実習※ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系） 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 機能代償支援作業療法実習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	篠田　かおり （45） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 基礎作業学実習 応用作業学実習 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅲ（発達系）※ 作業分析演習 発達障害作業療法実習※ 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 地域支援Ⅰ（余暇活動） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅰ
専	講師	光内　梨佐 （41） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	講師	高地　正音 （50） ＜平成31年4月＞ 修士（工学）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
専	助教	石元　美知子 （65） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	地域課題研究Ⅱ 作業療法運動学演習 作業療法セミナー 作業分析演習 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系） 身体障害作業療法実習Ⅱ （脊髄・運動器系）※ 高次脳機能障害作業療法実習※ 就労支援作業療法演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 高次脳機能障害学※ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅱ
専	助教	有光　一樹 （46） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 運動生理学実習 運動機能学実習 作業療法運動学演習 機能代償支援理学療法実習※ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系） 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 機能代償支援作業療法実習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	篠田　かおり （46） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	地域課題研究Ⅱ 生活活動と障害 基礎作業学実習 応用作業学実習 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅲ（発達系）※ 作業分析演習 発達障害作業療法実習※ 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 地域支援Ⅰ（余暇活動） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅰ
専	講師	光内　梨佐 （42） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	講師	高地　正音 （51） ＜平成31年4月＞ 修士（工学）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
専	助教	石元　美知子 （66） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	地域課題研究Ⅱ 作業療法運動学演習 作業療法セミナー 作業分析演習 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系） 身体障害作業療法実習Ⅱ （脊髄・運動器系）※ 高次脳機能障害作業療法実習※ 就労支援作業療法演習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 高次脳機能障害学※ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅱ
専	助教	有光　一樹 （47） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 運動生理学実習 運動機能学実習 作業療法運動学演習 機能代償支援理学療法実習※ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 身体障害作業療法実習Ⅰ （中枢神経系） 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 機能代償支援作業療法実習※ 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
実専	准教授	濱田　和範 （62） ＜平成21年4月＞ 各種学校卒	地域課題研究Ⅱ 理学療法概論演習 義肢装具学演習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 義肢・装具作業療法実習※ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
実専	准教授	稲岡　忠勝 （48） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ 運動生理学実習 理学療法セミナーⅡ（PBL） 理学療法測定実習Ⅰ 理学療法測定実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅱ
実専	講師	宮崎　登美子 （45） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法セミナーⅠ（PBL） 理学療法日常生活活動学実習 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
実専	助教	西野　愛 （41） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習
兼任	講師	西野　愛 （40） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	精神医学
実専	助教	榎木　理恵 （41） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習
実（研）	教授	田頭　勝之 （59） ＜平成32年4月＞ 博士（医療福祉学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法管理学 老年期障害理学療法実習 生活環境支援理学療法実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅱ
実（研）	准教授	重島　晃史 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 基礎運動学 運動機能学実習 理学療法評価学 発達障害理学療法実習 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅲ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
実専	准教授	濱田　和範 （62） ＜平成31年4月＞ 各種学校卒	地域課題研究Ⅱ 理学療法概論演習 義肢装具学演習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 義肢・装具作業療法実習※ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
実専	准教授	稲岡　忠勝 （48） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ 運動生理学実習 理学療法セミナーⅡ（PBL） 理学療法測定実習Ⅰ 理学療法測定実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅱ
実専	講師	宮崎　登美子 （45） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法セミナーⅠ（PBL） 理学療法日常生活活動学実習 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
実専	助教	西野　愛 （41） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習
兼任	講師	西野　愛 （40） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	精神医学
実専	助教	榎木　理恵 （41） ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習
実（研）	教授	田頭　勝之 （**58**） ＜平成**31**年4月＞ 博士（医療福祉学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法管理学 老年期障害理学療法実習 生活環境支援理学療法実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅱ
実（研）	准教授	重島　晃史 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 基礎運動学 運動機能学実習 理学療法評価学 発達障害理学療法実習 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅲ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
実専	准教授	濱田　和範 （63） ＜平成31年4月＞ 各種学校卒	地域課題研究Ⅱ 理学療法概論演習 義肢装具学演習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 義肢・装具作業療法実習※ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
実専	准教授	稲岡　忠勝 （49） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ 運動生理学実習 理学療法セミナーⅡ（PBL） 理学療法測定実習Ⅰ 理学療法測定実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅱ
実専	講師	宮崎　登美子 （46） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法セミナーⅠ（PBL） 理学療法日常生活活動学実習 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
実専	助教	西野　愛 （41） ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習
兼任	講師	西野　愛 （40） ＜平成32年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	精神医学
実専	助教	榎木　理恵 （41） ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習
実（研）	教授	田頭　勝之 （**59**） ＜平成**31**年4月＞ 博士（医療福祉学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法管理学 老年期障害理学療法実習 生活環境支援理学療法実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅱ
実（研）	准教授	重島　晃史 （43） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 基礎運動学 運動機能学実習 理学療法評価学 発達障害理学療法実習 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅲ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
実専	准教授	濱田　和範 （64） ＜平成31年4月＞ 各種学校卒	地域課題研究Ⅱ 理学療法概論演習 義肢装具学演習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 義肢・装具作業療法実習※ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
実専	准教授	稲岡　忠勝 （50） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ 運動生理学実習 理学療法セミナーⅡ（PBL） 理学療法測定実習Ⅰ 理学療法測定実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅱ
実専	准教授	**岩崎　昇** **（64）** **＜令和3年9月＞** **修士学士**	**義肢装具学演習** **理学療法臨床実習Ⅰ** **理学療法臨床実習Ⅱ** **理学療法臨床実習Ⅲ** **義肢・装具作業療法実習※** **理学療法地域支援実習** **応用理学療法学演習**
実専	講師	宮崎　登美子 （47） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法セミナーⅠ（PBL） 理学療法日常生活活動学実習 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
実専	助教	西野　愛 （41） ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習
実専	助教	榎木　理恵 （41） ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習
実（研）	教授	田頭　勝之 （**60**） ＜平成**31**年4月＞ 博士（医療福祉学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法管理学 老年期障害理学療法実習 生活環境支援理学療法実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅱ
実（研）	准教授	重島　晃史 （44） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 基礎運動学 運動機能学実習 理学療法評価学 発達障害理学療法実習 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅲ

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
実専	准教授	濱田　和範 （65） ＜平成31年4月＞ 各種学校卒	地域課題研究Ⅱ 理学療法概論演習 義肢装具学演習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 義肢・装具作業療法実習※ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
実専	准教授	稲岡　忠勝 （51） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ 運動生理学実習 理学療法セミナーⅡ（PBL） 理学療法測定実習Ⅰ 理学療法測定実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅱ
実専	准教授	**岩崎　昇** **（65）** **＜令和3年9月＞** **修士学士**	**義肢装具学演習** **理学療法臨床実習Ⅰ** **理学療法臨床実習Ⅱ** **理学療法臨床実習Ⅲ** **義肢・装具作業療法実習※** **作業療法臨床実習Ⅰ** **作業療法臨床実習Ⅱ** **作業療法臨床実習Ⅲ** **作業療法地域支援実習** **応用理学療法学演習**
実専	講師	宮崎　登美子 （48） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法セミナーⅠ（PBL） 理学療法日常生活活動学実習 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習
実専	助教	西野　愛 （42） ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習
実専	助教	榎木　理恵 （42） ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習
実（研）	教授	田頭　勝之 （**61**） ＜平成**31**年4月＞ 博士（医療福祉学）	地域課題研究Ⅱ 理学療法管理学 老年期障害理学療法実習 生活環境支援理学療法実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅱ
実（研）	准教授	重島　晃史 （45） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ 基礎運動学 運動機能学実習 理学療法評価学 発達障害理学療法実習 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅲ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		辻　美和 （43） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	
実（研）	准教授	地域課題研究Ⅱ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系） 基礎作業療法治療学Ⅱ（精神・認知系） 精神障害作業療法実習Ⅰ 精神障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法実習Ⅱ 高次脳機能障害作業療法実習※ 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 地域支援Ⅱ（認知症） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ	
		清岡　学 （58） ＜平成31年4月＞ 修士（心身健康科学）	
実（研）	講師	地域課題研究Ⅱ 理学療法概論演習 運動器障害理学療法実習 老年期障害理学療法実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅰ	
		吉村　知佐子 （40） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	
実（研）	講師	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅲ	
		笹村　聡 （39） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	
実（研）	助教	作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習	
		柏　智之 （40） ＜平成31年4月＞ 修士（学術） ※	
実（研）	助教	地域課題研究Ⅱ 理学療法運動学演習 理学療法セミナーⅠ（PBL） 理学療法検査実習Ⅰ 理学療法検査実習Ⅱ 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習	
		中野　良哉 （46） ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）	
兼任	講師	心理学 人間発達学 臨床心理学 発達心理学 心理測定法実習	
		宮地　由美子 （66） ＜平成31年4月＞ 社会学士	
兼任	講師	心理学	

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		辻　美和 （43） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	
実（研）	准教授	地域課題研究Ⅱ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系） 基礎作業療法治療学Ⅱ（精神・認知系） 精神障害作業療法実習Ⅰ 精神障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法実習Ⅱ 高次脳機能障害作業療法実習※ 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 地域支援Ⅱ（認知症） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ	
		清岡　学 （58） ＜平成31年4月＞ 修士（心身健康科学）	
実（研）	講師	地域課題研究Ⅱ 理学療法概論演習 運動器障害理学療法実習 老年期障害理学療法実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅰ	
		吉村　知佐子 （41） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	
実（研）	講師	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅲ	
		笹村　聡 （39） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	
実（研）	助教	作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習	
		柏　智之 （40） ＜平成31年4月＞ 修士（学術） ※	
実（研）	助教	地域課題研究Ⅱ 理学療法運動学演習 理学療法セミナーⅠ（PBL） 理学療法検査実習Ⅰ 理学療法検査実習Ⅱ 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習	
		中野　良哉 （46） ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）	
兼任	講師	心理学 人間発達学 臨床心理学 発達心理学 心理測定法実習	
		宮地　由美子 （66） ＜平成31年4月＞ 社会学士	
兼任	講師	心理学	

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		辻　美和 （44） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	
実（研）	准教授	地域課題研究Ⅱ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系） 基礎作業療法治療学Ⅱ（精神・認知系） 精神障害作業療法実習Ⅰ 精神障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法実習Ⅱ 高次脳機能障害作業療法実習※ 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 地域支援Ⅱ（認知症） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ	
		清岡　学 （59） ＜平成31年4月＞ 修士（心身健康科学）	
実（研）	講師	地域課題研究Ⅱ 理学療法概論演習 運動器障害理学療法実習 老年期障害理学療法実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅰ	
		吉村　知佐子 （42） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	
実（研）	講師	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅲ	
		笹村　聡 （40） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	
実（研）	助教	作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習	
		柏　智之 （41） ＜平成31年4月＞ 修士（学術） ※	
実（研）	助教	地域課題研究Ⅱ 理学療法運動学演習 理学療法セミナーⅠ（PBL） 理学療法検査実習Ⅰ 理学療法検査実習Ⅱ 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習	
		中野　良哉 （47） ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）	
兼任	講師	心理学 人間発達学 臨床心理学 発達心理学 心理測定法実習	
		宮地　由美子 （67） ＜平成31年4月＞ 社会学士	
兼任	講師	心理学	

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		辻　美和 （45） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	
実（研）	准教授	地域課題研究Ⅱ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系） 基礎作業療法治療学Ⅱ（精神・認知系） 精神障害作業療法実習Ⅰ 精神障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法実習Ⅱ 高次脳機能障害作業療法実習※ 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 地域支援Ⅱ（認知症） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ	
		清岡　学 （60） ＜平成31年4月＞ 修士（心身健康科学）	
実（研）	講師	地域課題研究Ⅱ 理学療法概論演習 運動器障害理学療法実習 老年期障害理学療法実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅰ	
		吉村　知佐子 （43） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	
実（研）	講師	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅲ	
		笹村　聡 （41） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	
実（研）	助教	作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習	
		柏　智之 （42） ＜平成31年4月＞ 修士（学術） ※	
実（研）	助教	地域課題研究Ⅱ 理学療法運動学演習 理学療法セミナーⅠ（PBL） 理学療法検査実習Ⅰ 理学療法検査実習Ⅱ 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習	
		中野　良哉 （48） ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）	
兼任	講師	心理学 人間発達学 臨床心理学 発達心理学 心理測定法実習	
		宮地　由美子 （68） ＜平成31年4月＞ 社会学士	
兼任	講師	心理学	

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		辻　美和 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	
実（研）	准教授	地域課題研究Ⅱ 作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系） 基礎作業療法治療学Ⅱ（精神・認知系） 精神障害作業療法実習Ⅰ 精神障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法実習Ⅱ 高次脳機能障害作業療法実習※ 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 地域支援Ⅱ（認知症） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習 作業療法総合演習Ⅲ	
		清岡　学 （61） ＜平成31年4月＞ 修士（心身健康科学）	
実（研）	講師	地域課題研究Ⅱ 理学療法概論演習 運動器障害理学療法実習 老年期障害理学療法実習 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習 理学療法総合演習Ⅰ	
		吉村　知佐子 （44） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	
実（研）	講師	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅲ	
		笹村　聡 （42） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	
実（研）	助教	作業療法セミナー 作業療法評価実習Ⅰ（身体系） 臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL） 臨床作業療法技法実習Ⅱ（PBL） 作業療法臨床実習Ⅰ 作業療法臨床実習Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅲ 作業療法地域支援実習 応用作業療法学演習	
		柏　智之 （43） ＜平成31年4月＞ 修士（学術） ※	
実（研）	助教	地域課題研究Ⅱ 理学療法運動学演習 理学療法セミナーⅠ（PBL） 理学療法検査実習Ⅰ 理学療法検査実習Ⅱ 臨床理学療法技法演習（PBL） 理学療法臨床実習Ⅰ 理学療法臨床実習Ⅱ 理学療法臨床実習Ⅲ 理学療法地域支援実習 応用理学療法学演習	
		中野　良哉 （49） ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）	
兼任	講師	心理学 人間発達学 臨床心理学 発達心理学 心理測定法実習	

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	松原　和廣 （72） ＜平成31年4月＞ 法学士	教育学
兼任	講師	玉里　恵美子 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	社会学
兼任	講師	岡林　正幸 （66） ＜平成31年4月＞ 農学士	生物学 物理学
兼任	講師	神家　一成 （66） ＜平成31年4月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	矢野　宏光 （51） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	健康とスポーツ スポーツ心理学
兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine （51） ＜平成31年4月＞ 修士（言語学）	英会話
兼任	講師	前田　正也 （61） ＜平成31年4月＞ 法学士	中国語
兼任	講師	田口　尚弘 （66） ＜平成31年4月＞ 理学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系） 解剖学Ⅲ（骨格系） 解剖学Ⅳ（筋系）
兼任	講師	大迫　洋治 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅰ（動物性機能）
兼任	講師	椛　秀人 （68） ＜平成31年4月＞ 保健学博士、医学博士 農学博士	生理学Ⅰ（動物性機能） 生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	奥谷　文乃 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理学Ⅰ（動物性機能） 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※
兼任	講師	矢吹　了一 （70） ＜平成31年4月＞ 社会学士	社会福祉概論
兼任	講師	宇都宮　千穂 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（経済学）	土佐地域資源論
兼任	講師	江渕　聡 （47） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域福祉活動論
兼任	講師	村岡　正浩 （42） ＜平成31年4月＞ 専修学校卒	マンガ概論

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	**講師**	**谷岡　博恵 （62） ＜平成31年4月＞ 文学士**	**教育学**
兼任	講師	玉里　恵美子 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	社会学
兼任	講師	岡林　正幸 （67） ＜平成31年4月＞ 農学士	生物学 物理学
兼任	講師	神家　一成 （66） ＜平成31年4月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	矢野　宏光 （51） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	健康とスポーツ スポーツ心理学
兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine （51） ＜平成31年4月＞ 修士（言語学）	英会話
兼任	講師	前田　正也 （61） ＜平成31年4月＞ 法学士	中国語
兼任	講師	田口　尚弘 （66） ＜平成31年4月＞ 理学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系） 解剖学Ⅲ（骨格系） 解剖学Ⅳ（筋系）
兼任	講師	大迫　洋治 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅰ（動物性機能）
兼任	講師	椛　秀人 （68） ＜平成31年4月＞ 保健学博士、医学博士 農学博士	生理学Ⅰ（動物性機能） 生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	奥谷　文乃 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理学Ⅰ（動物性機能） 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※
兼任	講師	矢吹　了一 （71） ＜平成31年4月＞ 社会学士	社会福祉概論
兼任	講師	宇都宮　千穂 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（経済学）	土佐地域資源論
兼任	講師	江渕　聡 （47） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域福祉活動論
兼任	講師	村岡　正浩 （43） ＜平成31年4月＞ 専修学校卒	マンガ概論

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	**講師**	**谷岡　博恵 （63） ＜平成31年4月＞ 文学士**	**教育学**
兼任	講師	玉里　恵美子 （54） ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	社会学
兼任	講師	岡林　正幸 （68） ＜平成31年4月＞ 農学士	生物学 物理学
兼任	講師	神家　一成 （67） ＜平成31年4月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	矢野　宏光 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	健康とスポーツ スポーツ心理学
兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine （52） ＜平成31年4月＞ 修士（言語学）	英会話
兼任	講師	前田　正也 （62） ＜平成31年4月＞ 法学士	中国語
兼任	講師	田口　尚弘 （67） ＜平成31年4月＞ 理学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系） 解剖学Ⅲ（骨格系） 解剖学Ⅳ（筋系）
兼任	講師	大迫　洋治 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅰ（動物性機能）
兼任	講師	椛　秀人 （69） ＜平成31年4月＞ 保健学博士、医学博士 農学博士	生理学Ⅰ（動物性機能） 生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	奥谷　文乃 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理学Ⅰ（動物性機能） 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※
兼任	講師	矢吹　了一 （72） ＜平成31年4月＞ 社会学士	社会福祉概論
兼任	講師	宇都宮　千穂 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（経済学）	土佐地域資源論
兼任	講師	江渕　聡 （48） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域福祉活動論
兼任	講師	村岡　正浩 （44） ＜平成31年4月＞ 専修学校卒	マンガ概論

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	**講師**	**谷岡　博恵 （64） ＜平成31年4月＞ 文学士**	**教育学**
兼任	講師	玉里　恵美子 （55） ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	社会学
兼任	講師	岡林　正幸 （69） ＜平成31年4月＞ 農学士	生物学 物理学
兼任	講師	神家　一成 （68） ＜平成31年4月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	矢野　宏光 （53） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	健康とスポーツ スポーツ心理学
兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine （53） ＜平成31年4月＞ 修士（言語学）	英会話
兼任	講師	前田　正也 （63） ＜平成31年4月＞ 法学士	中国語
兼任	講師	田口　尚弘 （68） ＜平成31年4月＞ 理学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系） 解剖学Ⅲ（骨格系） 解剖学Ⅳ（筋系）
兼任	講師	大迫　洋治 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅰ（動物性機能）
兼任	講師	椛　秀人 （70） ＜平成31年4月＞ 保健学博士、医学博士 農学博士	生理学Ⅰ（動物性機能） 生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	奥谷　文乃 （61） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理学Ⅰ（動物性機能） 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※
兼任	講師	矢吹　了一 （73） ＜平成31年4月＞ 社会学士	社会福祉概論
兼任	講師	宇都宮　千穂 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（経済学）	土佐地域資源論
兼任	講師	江渕　聡 （49） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域福祉活動論
兼任	講師	村岡　正浩 （45） ＜平成31年4月＞ 専修学校卒	マンガ概論

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	**講師**	**中野　貴徳 （40） ＜令和4年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）**	**心理学**
兼任	**講師**	**谷岡　博恵 （65） ＜平成31年4月＞ 文学士**	**教育学**
兼任	講師	玉里　恵美子 （56） ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	社会学
兼任	講師	岡林　正幸 （70） ＜平成31年4月＞ 農学士	生物学 物理学
兼任	講師	神家　一成 （69） ＜平成31年4月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	矢野　宏光 （54） ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	健康とスポーツ スポーツ心理学
兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine （54） ＜平成31年4月＞ 修士（言語学）	英会話
兼任	講師	前田　正也 （64） ＜平成31年4月＞ 法学士	中国語
兼任	講師	田口　尚弘 （69） ＜平成31年4月＞ 理学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系） 解剖学Ⅲ（骨格系） 解剖学Ⅳ（筋系）
兼任	講師	大迫　洋治 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅰ（動物性機能）
兼任	講師	椛　秀人 （71） ＜平成31年4月＞ 保健学博士、医学博士 農学博士	生理学Ⅰ（動物性機能） 生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	奥谷　文乃 （62） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理学Ⅰ（動物性機能） 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※
兼任	講師	矢吹　了一 （74） ＜平成31年4月＞ 社会学士	社会福祉概論
兼任	講師	宇都宮　千穂 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（経済学）	土佐地域資源論
兼任	講師	江渕　聡 （50） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域福祉活動論
兼任	講師	村岡　正浩 （46） ＜平成31年4月＞ 専修学校卒	マンガ概論

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	関　和也 （40） ＜平成31年4月＞ 専修学校卒	マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉　史高 （66） ＜平成31年9月＞ 工学士	数学
兼任	講師	藤原　憲一郎 （69） ＜平成31年9月＞ 博士（工学）	統計学
兼任	講師	甲藤　彰男 （69） ＜平成31年9月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	大塚　智子 （46） ＜平成31年9月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	田中　健二朗 （37） ＜平成31年9月＞ 博士（医学）	生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	吾妻　美子 （70） ＜平成31年9月＞ 医学博士	医学概論 病理学
兼任	講師	池　聡 （31） ＜平成31年9月＞ 学士（人間科学）	失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	中野　良治 （43） ＜平成31年9月＞ 修士（農学）	社会的企業論※
兼任	講師	田上　純一 （35） ＜平成31年9月＞ 学士（作業療法学）	社会的企業論※
兼任	講師	松井　大洲 （72） ＜平成31年9月＞ 短期大学卒	活字デザイン論
兼任	講師	鈴木　琴栄 （42） ＜平成32年4月＞ 修士（音楽療法）	医学英語
兼任	講師	倉田　浩充 （61） ＜平成32年4月＞ 医学博士	臨床神経学
兼任	講師	田邊　裕久 （62） ＜平成32年9月＞ 医学士	臨床神経学

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	関　和也 （40） ＜平成31年4月＞ 専修学校卒	マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉　史高 （66） ＜平成31年9月＞ 工学士	数学
兼任	講師	藤原　憲一郎 （69） ＜平成31年9月＞ 博士（工学）	統計学
兼任	講師	甲藤　彰男 （69） ＜平成31年9月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	大塚　智子 （46） ＜平成31年9月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	田中　健二朗 （37） ＜平成31年9月＞ 博士（医学）	生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	吾妻　美子 （70） ＜平成31年9月＞ 医学博士	医学概論 病理学
兼任	講師	池　聡 （31） ＜平成31年9月＞ 学士（人間科学）	失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	中野　良治 （43） ＜平成31年9月＞ 修士（農学）	社会的企業論※
兼任	講師	田上　純一 （35） ＜平成31年9月＞ 学士（作業療法学）	社会的企業論※
兼任	講師	松井　大洲 （72） ＜平成31年9月＞ 短期大学卒	活字デザイン論
兼任	講師	鈴木　琴栄 （42） ＜平成32年4月＞ 修士（音楽療法）	医学英語
兼任	講師	倉田　浩充 （61） ＜平成32年4月＞ 医学博士	臨床神経学
兼任	講師	田邊　裕久 （62） ＜平成32年9月＞ 医学士	臨床神経学

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	関　和也 （41） ＜平成31年4月＞ 専修学校卒	マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉　史高 （67） ＜平成31年9月＞ 工学士	数学
兼任	講師	藤原　憲一郎 （70） ＜平成31年9月＞ 博士（工学）	統計学
兼任	講師	甲藤　彰男 （70） ＜平成31年9月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	大塚　智子 （47） ＜平成31年9月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	田中　健二朗 （38） ＜平成31年9月＞ 博士（医学）	生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	吾妻　美子 （71） ＜平成31年9月＞ 医学博士	医学概論 病理学
兼任	講師	池　聡 （32） ＜平成31年9月＞ **修士（医科学）**	失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	中野　良治 （44） ＜平成31年9月＞ 修士（農学）	社会的企業論※
兼任	講師	田上　純一 （36） ＜平成31年9月＞ 学士（作業療法学）	社会的企業論※
兼任	講師	松井　大洲 （73） ＜平成31年9月＞ 短期大学卒	活字デザイン論
兼任	講師	鈴木　琴栄 （42） ＜平成32年4月＞ 修士（音楽療法）	医学英語
兼任	講師	倉田　浩充 （61） ＜平成32年4月＞ 医学博士	臨床神経学
兼任	**講師**	**小笠原　望 （68） ＜令和2年4月＞ 医学士**	**臨床神経学**

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	関　和也 （42） ＜平成31年4月＞ 専修学校卒	マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉　史高 （68） ＜平成31年9月＞ 工学士	数学
兼任	講師	藤原　憲一郎 （71） ＜平成31年9月＞ 博士（工学）	統計学
兼任	講師	甲藤　彰男 （71） ＜平成31年9月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	大塚　智子 （48） ＜平成31年9月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	田中　健二朗 （39） ＜平成31年9月＞ 博士（医学）	生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	吾妻　美子 （72） ＜平成31年9月＞ 医学博士	医学概論 病理学
兼任	講師	池　聡 （33） ＜平成31年9月＞ **修士（医科学）**	失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	中野　良治 （45） ＜平成31年9月＞ 修士（農学）	社会的企業論※
兼任	講師	田上　純一 （37） ＜平成31年9月＞ 学士（作業療法学）	社会的企業論※
兼任	講師	松井　大洲 （74） ＜平成31年9月＞ 短期大学卒	活字デザイン論
兼任	講師	鈴木　琴栄 （43） ＜平成32年4月＞ 修士（音楽療法）	医学英語
兼任	講師	倉田　浩充 （62） ＜平成32年4月＞ 医学博士	臨床神経学

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	関　和也 （43） ＜平成31年4月＞ 専修学校卒	マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉　史高 （69） ＜平成31年9月＞ 工学士	数学
兼任	講師	藤原　憲一郎 （72） ＜平成31年9月＞ 博士（工学）	統計学
兼任	講師	甲藤　彰男 （72） ＜平成31年9月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	大塚　智子 （49） ＜平成31年9月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	田中　健二朗 （40） ＜平成31年9月＞ 博士（医学）	生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	吾妻　美子 （73） ＜平成31年9月＞ 医学博士	医学概論 病理学
兼任	講師	池　聡 （34） ＜平成31年9月＞ **修士（医科学）**	失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	中野　良治 （46） ＜平成31年9月＞ 修士（農学）	社会的企業論※
兼任	講師	田上　純一 （38） ＜平成31年9月＞ 学士（作業療法学）	社会的企業論※
兼任	講師	松井　大洲 （75） ＜平成31年9月＞ 短期大学卒	活字デザイン論
兼任	**講師**	**上羽　由香 （46） ＜令和4年4月＞ 博士（人間健康科学）**	**医学英語**
兼任	講師	倉田　浩充 （63） ＜平成32年4月＞ 医学博士	臨床神経学

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加賀野井　聖二 （52） ＜平成32年4月＞ 修士（学術）
		精神医学
兼任	講師	竹田　伸也 （46） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		精神医学
兼任	講師	宮本　寛 （57） ＜平成32年4月＞ 医学士
		リハビリテーション医学
兼任	講師	竹村　朝海 （45） ＜平成32年4月＞ 修士（教育学）
		臨床心理学
兼任	講師	吉岡　孝紘 （31） ＜平成32年4月＞ 修士（臨床心理）
		臨床心理学
兼任	講師	山本　双一 （70） ＜平成32年4月＞ 修士（心身健康学）
		物理療法学 物理療法学実習 運動器障害理学療法実習 リーダーシップ論
兼任	講師	小林　泰輔 （58） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	伊藤　広明 （35） ＜平成32年4月＞ 学士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	奥村　訓代 （66） ＜平成32年4月＞ 文学修士
		言語学 音声学

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加賀野井　聖二 （52） ＜平成32年4月＞ 修士（学術）
		精神医学
兼任	講師	竹田　伸也 （46） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		精神医学
兼任	講師	宮本　寛 （57） ＜平成32年4月＞ 医学士
		リハビリテーション医学
兼任	講師	竹村　朝海 （45） ＜平成32年4月＞ 修士（教育学）
		臨床心理学
兼任	講師	吉岡　孝紘 （31） ＜平成32年4月＞ 修士（臨床心理）
		臨床心理学
兼任	講師	山本　双一 （70） ＜平成32年4月＞ 修士（心身健康学）
		物理療法学 物理療法学実習 運動器障害理学療法実習 リーダーシップ論
兼任	講師	小林　泰輔 （58） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	伊藤　広明 （35） ＜平成32年4月＞ 学士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	奥村　訓代 （66） ＜平成32年4月＞ 文学修士
		言語学 音声学

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金子　恵子 （41） ＜令和2年4月＞ 医学士
		臨床神経学
兼任	講師	加賀野井　聖二 （52） ＜平成32年4月＞ 修士（学術）
		精神医学
兼任	講師	竹田　伸也 （46） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		精神医学
兼任	講師	宮本　寛 （57） ＜平成32年4月＞ 医学士
		リハビリテーション医学
兼任	講師	竹村　朝海 （45） ＜平成32年4月＞ 修士（教育学）
		臨床心理学
兼任	講師	吉岡　孝紘 （32） ＜平成32年4月＞ 修士（臨床心理）
		臨床心理学
兼任	講師	山本　双一 （70） ＜平成32年4月＞ 修士（心身健康学）
		物理療法学 物理療法学実習 運動器障害理学療法実習 リーダーシップ論
兼任	講師	小林　泰輔 （59） ＜令和2年9月＞ 博士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	伊藤　広明 （36） ＜令和2年9月＞ 学士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	奥巻　文乃 （60） ＜令和2年9月＞ 博士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	奥村　訓代 （66） ＜平成32年4月＞ 文学修士
		言語学 音声学
兼任	講師	公文　泉子 （40） ＜令和2年9月＞ 文学修士
		音声学

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金子　恵子 （42） ＜令和2年4月＞ 医学士
		臨床神経学
兼任	講師	加賀野井　聖二 （53） ＜平成32年4月＞ 修士（学術）
		精神医学
兼任	講師	竹田　伸也 （47） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		精神医学
兼任	講師	大原　伸隆 （31） ＜令和3年4月＞ 学士（医学）
		精神医学※
兼任	講師	上村　直人 （52） ＜令和3年4月＞ 医学博士
		精神医学※
兼任	講師	舘脇　陽子 （48） ＜令和3年4月＞ 学士（医学）
		精神医学※
兼任	講師	大石　りさ （37） ＜令和3年4月＞ 学士（医学）
		精神医学※
兼任	講師	長房　誠宏 （50） ＜令和3年4月＞ 医学士
		精神医学※
兼任	講師	宮本　寛 （58） ＜平成32年4月＞ 医学士
		リハビリテーション医学
兼任	講師	竹村　朝海 （46） ＜平成32年4月＞ 修士（教育学）
		臨床心理学
兼任	講師	西岡　瞭 （31） ＜令和3年4月＞ 修士（心理学）
		臨床心理学
兼任	講師	山本　双一 （71） ＜平成32年4月＞ 修士（心身健康学）
		物理療法学 物理療法学実習 運動器障害理学療法実習 リーダーシップ論
兼任	講師	小林　泰輔 （59） ＜令和2年9月＞ 博士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	伊藤　広明 （36） ＜令和2年9月＞ 学士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	奥巻　文乃 （61） ＜令和2年9月＞ 博士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	公文　泉子 （41） ＜令和3年4月＞ 文学修士
		言語学
兼任	講師	公文　泉子 （41） ＜令和2年9月＞ 文学修士
		音声学

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金子　恵子 （43） ＜令和2年4月＞ 医学士
		臨床神経学
兼任	講師	加賀野井　聖二 （54） ＜平成32年4月＞ 修士（学術）
		精神医学
兼任	講師	竹田　伸也 （48） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		精神医学
兼任	講師	大原　伸隆 （32） ＜令和3年4月＞ 学士（医学）
		精神医学※
兼任	講師	上村　直人 （53） ＜令和3年4月＞ 医学博士
		精神医学※
兼任	講師	舘脇　陽子 （49） ＜令和3年4月＞ 学士（医学）
		精神医学※
兼任	講師	大石　りさ （38） ＜令和3年4月＞ 学士（医学）
		精神医学※
兼任	講師	長房　誠宏 （51） ＜令和3年4月＞ 医学士
		精神医学※
兼任	講師	宮本　寛 （59） ＜平成32年4月＞ 医学士
		リハビリテーション医学
兼任	講師	竹村　朝海 （47） ＜平成32年4月＞ 修士（教育学）
		臨床心理学
兼任	講師	西岡　瞭 （32） ＜令和3年4月＞ 修士（心理学）
		臨床心理学
兼任	講師	山本　双一 （72） ＜平成32年4月＞ 修士（心身健康学）
		物理療法学 物理療法学実習 運動器障害理学療法実習 リーダーシップ論
兼任	講師	小林　泰輔 （60） ＜令和2年9月＞ 博士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	伊藤　広明 （37） ＜令和2年9月＞ 学士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	奥巻　文乃 （62） ＜令和2年9月＞ 博士（医学）
		聴覚系医学※
兼任	講師	公文　泉子 （42） ＜令和3年4月＞ 文学修士
		言語学
兼任	講師	公文　泉子 （42） ＜令和2年9月＞ 文学修士
		音声学

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	井上　真理子 （36） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	山本　和代 （69） ＜平成32年4月＞ 修士（教育学）	学校保健論
兼任	講師	野村　卓生 （43） ＜平成32年4月＞ 博士（学術）	産業保健論
兼任	講師	島村　和典 （71） ＜平成32年4月＞ 工学博士	企業論
兼任	講師	坊岡　正之 （67） ＜平成32年4月＞ 博士（医療工学）	福祉工学基礎論
兼任	講師	中本　雅彦 （53） ＜平成32年4月＞ 社会学士	地域福祉論
兼任	講師	大倉　美知子 （58） ＜平成32年4月＞ 短期大学卒	視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論 視覚伝達デザイン論
兼任	講師	石元　篤雄 （59） ＜平成32年9月＞ 医学士	内科学
兼任	講師	小野　歩 （63） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	田中　肇 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	竹中　奈奈 （41） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	内科学
兼任	講師	武市　知己 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	倉繁　迪 （76） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小倉　英郎 （74） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	井上　真理子 （36） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	山本　和代 （69） ＜平成32年4月＞ 修士（教育学）	学校保健論
兼任	講師	野村　卓生 （43） ＜平成32年4月＞ 博士（学術）	産業保健論
兼任	講師	島村　和典 （71） ＜平成32年4月＞ 工学博士	企業論
兼任	講師	坊岡　正之 （67） ＜平成32年4月＞ 博士（医療工学）	**ロボット技術活用論**
兼任	講師	中本　雅彦 （53） ＜平成32年4月＞ 社会学士	**地域生活とサービス**
兼任	講師	大倉　美知子 （58） ＜平成32年4月＞ 短期大学卒	視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論 視覚伝達デザイン論
兼任	講師	石元　篤雄 （59） ＜平成32年9月＞ 医学士	内科学
兼任	講師	小野　歩 （63） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	田中　肇 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	竹中　奈奈 （41） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	内科学
兼任	講師	武市　知己 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	倉繁　迪 （76） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小倉　英郎 （74） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	井上　真理子 （36） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	山本　和代 （69） ＜平成32年4月＞ 修士（教育学）	学校保健論
兼任	講師	野村　卓生 （43） ＜平成32年4月＞ 博士（学術）	産業保健論
兼任	講師	島村　和典 （71） ＜平成32年4月＞ 工学博士	企業論
兼任	講師	坊岡　正之 （67） ＜平成32年4月＞ 博士（医療工学）	**ロボット技術活用論**
兼任	講師	中本　雅彦 （53） ＜平成32年4月＞ 社会学士	**地域生活とサービス**
兼任	講師	大倉　美知子 （58） ＜平成32年4月＞ 短期大学卒	視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論 視覚伝達デザイン論
兼任	講師	石元　篤雄 （59） ＜平成32年9月＞ 医学士	内科学
兼任	講師	小野　歩 （63） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	田中　肇 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	竹中　奈奈 （41） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	内科学
兼任	講師	武市　知己 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	倉繁　迪 （76） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小倉　英郎 （74） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	井上　真理子 （37） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	山本　和代 （70） ＜平成32年4月＞ 修士（教育学）	学校保健論
兼任	講師	野村　卓生 （44） ＜平成32年4月＞ 博士（学術）	産業保健論
兼任	**講師**	**濱田　美晴** **（51）** **＜令和3年4月＞** **修士（理学）**	**企業論**
兼任	講師	坊岡　正之 （68） ＜平成32年4月＞ 博士（医療工学）	**ロボット技術活用論**
兼任	講師	中本　雅彦 （54） ＜平成32年4月＞ 社会学士	**地域生活とサービス**
兼任	講師	大倉　美知子 （59） ＜平成32年4月＞ 短期大学卒	視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論 視覚伝達デザイン論
兼任	講師	石元　篤雄 （60） ＜平成32年9月＞ 医学士	内科学
兼任	講師	小野　歩 （64） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	田中　肇 （57） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	竹中　奈奈 （42） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	内科学
兼任	講師	武市　知己 （57） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	**講師**	**三宅　典子** **（56）** **＜令和3年9月＞** **学士（医学）**	**小児科学**
兼任	講師	小倉　英郎 （75） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	井上　真理子 （38） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	山本　和代 （71） ＜平成32年4月＞ 修士（教育学）	学校保健論
兼任	講師	野村　卓生 （45） ＜平成32年4月＞ 博士（学術）	産業保健論
兼任	**講師**	**濱田　美晴** **（52）** **＜令和3年4月＞** **修士（理学）**	**企業論**
兼任	講師	坊岡　正之 （69） ＜平成32年4月＞ 博士（医療工学）	**ロボット技術活用論※**
兼任	**講師**	**江里口　優** **（39）** **＜令和4年4月＞** **修士（工学）**	**ロボット技術活用論※**
兼任	講師	中本　雅彦 （55） ＜平成32年4月＞ 社会学士	**地域生活とサービス**
兼任	講師	大倉　美知子 （60） ＜平成32年4月＞ 短期大学卒	視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論 視覚伝達デザイン論
兼任	講師	石元　篤雄 （61） ＜平成32年9月＞ 医学士	内科学
兼任	講師	小野　歩 （65） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	田中　肇 （58） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	竹中　奈奈 （43） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	内科学
兼任	講師	武市　知己 （58） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	**講師**	**三宅　典子** **（57）** **＜令和3年9月＞** **学士（医学）**	**小児科学**
兼任	講師	小倉　英郎 （76） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小谷　治子 （57） ＜平成32年9月＞ 医学士
		小児科学
兼任	講師	吉岡　和哉 （38） ＜平成32年9月＞ 修士（作業療法学）
		作業療法評価実習Ⅲ（発達系）※ 発達障害作業療法実習※
兼任	講師	仲木　右京 （59） ＜平成32年9月＞ 専修学校卒
		義肢・装具作業療法実習※
兼任	講師	兵頭　政光 （61） ＜平成32年9月＞ 医学博士
		音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 （34） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）
		音声・言語系医学※
兼任	講師	世木　秀明 （64） ＜平成32年9月＞ 工学修士
		音響学（聴覚心理学を含む）
兼任	講師	鈴木　孝典 （45） ＜平成32年9月＞ 博士（人間学）
		精神障害福祉論
兼任	講師	竹下　誠一 （65） ＜平成32年9月＞ 法学士
		情報メディア学入門
兼任	講師	竹崎　久美子 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）
		生命倫理※
兼任	講師	渡邉　聡子 （54） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）
		生命倫理※
兼任	講師	秋山　謙三 （72） ＜平成33年4月＞ 歯学士
		形成外科学 臨床歯科医学
兼任	講師	宮川　和之 （56） ＜平成33年4月＞ 学士（保健衛生学）
		画像診断学

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小谷　治子 （57） ＜平成32年9月＞ 医学士
		小児科学
兼任	講師	吉岡　和哉 （38） ＜平成32年9月＞ 修士（作業療法学）
		作業療法評価実習Ⅲ（発達系）※ 発達障害作業療法実習※
兼任	講師	仲木　右京 （59） ＜平成32年9月＞ 専修学校卒
		義肢・装具作業療法実習※
兼任	講師	兵頭　政光 （61） ＜平成32年9月＞ 医学博士
		音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 （34） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）
		音声・言語系医学※
兼任	講師	世木　秀明 （64） ＜平成32年9月＞ 工学修士
		音響学（聴覚心理学を含む）
兼任	講師	鈴木　孝典 （45） ＜平成32年9月＞ 博士（人間学）
		精神障害者の援助とネットワーク
兼任	講師	竹下　誠一 （65） ＜平成32年9月＞ 法学士
		情報メディア学入門
兼任	講師	竹崎　久美子 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）
		生命倫理※
兼任	講師	渡邉　聡子 （54） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）
		生命倫理※
兼任	講師	秋山　謙三 （72） ＜平成33年4月＞ 歯学士
		形成外科学 臨床歯科医学
兼任	講師	宮川　和之 （56） ＜平成33年4月＞ 学士（保健衛生学）
		画像診断学

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小谷　治子 （57） ＜平成32年9月＞ 医学士
		小児科学
兼任	講師	吉岡　和哉 （38） ＜平成32年9月＞ 修士（作業療法学）
		作業療法評価実習Ⅲ（発達系）※ 発達障害作業療法実習※
兼任	講師	仲木　右京 （59） ＜平成32年9月＞ 専修学校卒
		義肢・装具作業療法実習※
兼任	講師	兵頭　政光 （61） ＜平成32年9月＞ 医学博士
		音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 （34） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）
		音声・言語系医学※
兼任	講師	世木　秀明 （64） ＜平成32年9月＞ 工学修士
		音響学（聴覚心理学を含む）
兼任	講師	鈴木　孝典 （45） ＜平成32年9月＞ 博士（人間学）
		精神障害者の援助とネットワーク
兼任	講師	竹下　誠一 （65） ＜平成32年9月＞ 法学士
		情報メディア学入門
兼任	講師	竹崎　久美子 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）
		生命倫理※
兼任	講師	渡邉　聡子 （54） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）
		生命倫理※
兼任	講師	秋山　謙三 （72） ＜平成33年4月＞ 歯学士
		形成外科学 臨床歯科医学
兼任	**講師**	**桑田　尚亨 （63） ＜令和3年4月＞ 修士（福祉）**
		画像診断学

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小谷　治子 （58） ＜平成32年9月＞ 医学士
		小児科学
兼任	講師	吉岡　和哉 （39） ＜平成32年9月＞ 修士（作業療法学）
		作業療法評価実習Ⅲ（発達系）※ 発達障害作業療法実習※
兼任	講師	仲木　右京 （60） ＜平成32年9月＞ 専修学校卒
		義肢・装具作業療法実習※
兼任	講師	兵頭　政光 （62） ＜平成32年9月＞ 医学博士
		音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 （35） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）
		音声・言語系医学※
兼任	講師	世木　秀明 （65） ＜平成32年9月＞ 工学修士
		音響学（聴覚心理学を含む）
兼任	講師	鈴木　孝典 （46） ＜平成32年9月＞ 博士（人間学）
		精神障害者の援助とネットワーク
兼任	講師	竹下　誠一 （66） ＜平成32年9月＞ 法学士
		情報メディア学入門
兼任	講師	竹崎　久美子 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）
		生命倫理※
兼任	講師	渡邉　聡子 （54） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）
		生命倫理※
兼任	講師	秋山　謙三 （72） ＜平成33年4月＞ 歯学士
		形成外科学 臨床歯科医学
兼任	**講師**	**桑田　尚亨 （63） ＜令和3年4月＞ 修士（福祉）**
		画像診断学

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小谷　治子 （59） ＜平成32年9月＞ 医学士
		小児科学
兼任	講師	吉岡　和哉 （40） ＜平成32年9月＞ 修士（作業療法学）
		作業療法評価実習Ⅲ（発達系）※ 発達障害作業療法実習※
兼任	講師	仲木　右京 （61） ＜平成32年9月＞ 専修学校卒
		義肢・装具作業療法実習※
兼任	講師	兵頭　政光 （63） ＜平成32年9月＞ 医学博士
		音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 （36） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）
		音声・言語系医学※
兼任	講師	世木　秀明 （66） ＜平成32年9月＞ 工学修士
		音響学（聴覚心理学を含む）
兼任	講師	鈴木　孝典 （47） ＜平成32年9月＞ 博士（人間学）
		精神障害者の援助とネットワーク
兼任	講師	竹下　誠一 （67） ＜平成32年9月＞ 法学士
		情報メディア学入門
兼任	講師	竹崎　久美子 （61） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）
		生命倫理※
兼任	講師	渡邉　聡子 （55） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）
		生命倫理※
兼任	講師	秋山　謙三 （73） ＜平成33年4月＞ 歯学士
		形成外科学 臨床歯科医学
兼任	**講師**	**伊東　昇二 （60） ＜令和4年4月＞ 修士（医科学）**
		画像診断学

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	渡邊　慶子 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（生活科学）	臨床栄養学
兼任	講師	田所　茂彦 （68） ＜平成33年4月＞ 薬学士	臨床薬理学
兼任	講師	柚村　誠 （65） ＜平成33年4月＞ 体育学士	救急管理実習
兼任	講師	小笠原　正 （61） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	中枢神経障害理学療法実習
兼任	講師	佐々木　貴之 （40） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	脊髄障害理学療法実習
兼任	講師	板場　英行 （70） ＜平成33年4月＞ 学士（教養）	理学療法技術実習Ⅰ（運動関節学的手技）
兼任	講師	西村　敦司 （50） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	理学療法技術実習Ⅲ（生体観察手技）
兼任	講師	岩崎　史明 （37） ＜平成33年4月＞ 修士（医科学）	理学療法治療学実習Ⅰ（脳障害）
兼任	講師	森本　哲郎 （74） ＜平成33年4月＞ 医学士	理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）※
兼任	講師	山田　義久 （62） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）※
兼任	講師	川渕　正敬 （48） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	地域理学療法学演習
兼任	講師	佐藤　信治 （48） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	身体障害作業療法実習Ⅱ（脊髄・運動器系）※
兼任	講師	金久　雅史 （39） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	身体障害作業療法実習Ⅲ（内部系）

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	渡邊　慶子 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（生活科学）	臨床栄養学
兼任	講師	田所　茂彦 （68） ＜平成33年4月＞ 薬学士	臨床薬理学
兼任	講師	柚村　誠 （65） ＜平成33年4月＞ 体育学士	救急管理実習
兼任	講師	小笠原　正 （61） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	中枢神経障害理学療法実習
兼任	講師	佐々木　貴之 （40） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	脊髄障害理学療法実習
兼任	講師	板場　英行 （70） ＜平成33年4月＞ 学士（教養）	理学療法技術実習Ⅰ（運動関節学的手技）
兼任	講師	西村　敦司 （50） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	理学療法技術実習Ⅲ（生体観察手技）
兼任	講師	岩崎　史明 （37） ＜平成33年4月＞ 修士（医科学）	理学療法治療学実習Ⅰ（脳障害）
兼任	講師	森本　哲郎 （74） ＜平成33年4月＞ 医学士	理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）※
兼任	講師	山田　義久 （62） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）※
兼任	講師	川渕　正敬 （48） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	地域理学療法学演習
兼任	講師	佐藤　信治 （48） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	身体障害作業療法実習Ⅱ（脊髄・運動器系）※
兼任	講師	金久　雅史 （39） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	身体障害作業療法実習Ⅲ（内部系）

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	渡邊　慶子 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（生活科学）	臨床栄養学
兼任	講師	田所　茂彦 （68） ＜平成33年4月＞ 薬学士	臨床薬理学
兼任	講師	柚村　誠 （65） ＜平成33年4月＞ 体育学士	救急管理実習
兼任	講師	小笠原　正 （61） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	中枢神経障害理学療法実習
兼任	講師	佐々木　貴之 （40） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	脊髄障害理学療法実習
兼任	講師	板場　英行 （70） ＜平成33年4月＞ 学士（教養）	理学療法技術実習Ⅰ（運動関節学的手技）
兼任	講師	西村　敦司 （50） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	理学療法技術実習Ⅲ（生体観察手技）
兼任	講師	岩崎　史明 （37） ＜平成33年4月＞ 修士（医科学）	理学療法治療学実習Ⅰ（脳障害）
兼任	講師	森本　哲郎 （74） ＜平成33年4月＞ 医学士	理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）※
兼任	講師	山田　義久 （62） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）※
兼任	講師	川渕　正敬 （48） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	地域理学療法学演習
兼任	講師	佐藤　信治 （48） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	身体障害作業療法実習Ⅱ（脊髄・運動器系）※
兼任	講師	金久　雅史 （39） ＜平成33年4月＞ **修士（社会福祉学）**	身体障害作業療法実習Ⅲ（内部系）

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	渡邊　慶子 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（生活科学）	臨床栄養学
兼任	**講師**	**進口　英寛** **（43）** **＜令和3年4月＞** **学士（農学）**	**臨床薬理学**
兼任	講師	柚村　誠 （65） ＜平成33年4月＞ 体育学士	救急管理実習
兼任	**講師**	**吉岡　邦展** **（53）** **＜令和3年4月＞** **学士（文学）**	**救急管理実習**
兼任	講師	小笠原　正 （61） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	中枢神経障害理学療法実習
兼任	講師	佐々木　貴之 （40） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	脊髄障害理学療法実習
兼任	講師	板場　英行 （70） ＜平成33年4月＞ 学士（教養）	理学療法技術実習Ⅰ（運動関節学的手技）
兼任	講師	西村　敦司 （50） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	理学療法技術実習Ⅲ（生体観察手技）
兼任	講師	岩崎　史明 （37） ＜平成33年4月＞ 修士（医科学）	理学療法治療学実習Ⅰ（脳障害）
兼任	講師	森本　哲郎 （74） ＜平成33年4月＞ 医学士	理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）※
兼任	講師	山田　義久 （62） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）※
兼任	講師	川渕　正敬 （48） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	地域理学療法学演習
兼任	講師	佐藤　信治 （48） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	身体障害作業療法実習Ⅱ（脊髄・運動器系）※
兼任	講師	金久　雅史 （39） ＜平成33年4月＞ **修士（社会福祉学）**	身体障害作業療法実習Ⅲ（内部系）

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	渡邊　慶子 （66） ＜平成33年4月＞ 博士（生活科学）	臨床栄養学
兼任	**講師**	**小野川　雅英** **（52）** **＜令和4年4月＞** **博士（医学）**	**臨床薬理学**
兼任	**講師**	**吉岡　邦展** **（54）** **＜令和3年4月＞** **学士（文学）**	**救急管理実習**
兼任	講師	小笠原　正 （62） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	中枢神経障害理学療法実習
兼任	講師	板場　英行 （71） ＜平成33年4月＞ 学士（教養）	理学療法技術実習Ⅰ（運動関節学的手技）
兼任	講師	西村　敦司 （51） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	理学療法技術実習Ⅲ（生体観察手技）
兼任	講師	岩崎　史明 （38） ＜平成33年4月＞ 修士（医科学）	理学療法治療学実習Ⅰ（脳障害）
兼任	講師	森本　哲郎 （75） ＜平成33年4月＞ 医学士	理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）※
兼任	講師	山田　義久 （63） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	理学療法治療学実習Ⅲ（スポーツ障害）※
兼任	講師	川渕　正敬 （49） ＜平成33年4月＞ 学士（社会学）	地域理学療法学演習
兼任	講師	佐藤　信治 （49） ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	身体障害作業療法実習Ⅱ（脊髄・運動器系）※
兼任	講師	金久　雅史 （40） ＜平成33年4月＞ **修士（社会福祉学）**	身体障害作業療法実習Ⅲ（内部系）

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	笹岡　和泉 （49） ＜平成33年4月＞ 学士（芸術学）	生活環境支援作業療法実習※
兼任	講師	津江　美和 （56） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習・認知心理学
兼任	講師	大崎　聡 （61） ＜平成33年4月＞ 経済学士	言語発達障害学
兼任	講師	濵崎　佳瑞子 （49） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習障害・広汎性発達障害学※
兼任	講師	藤原　百合 （71） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見　将志 （49） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	吃音学
兼任	講師	土居　奈央 （33） ＜平成33年4月＞ 学士（人間科学）	聴下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※
兼任	講師	益田　慎 （57） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	聴下障害学実習※
兼任	講師	秋朝　幸二 （56） ＜平成33年4月＞ 短期大学卒	補聴器・人工内耳学
兼任	講師	坂本　泰祥 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	経営組織論
兼任	講師	前田　和範 （35） ＜平成33年4月＞ 修士（スポーツ科学）	マーケティング論
兼任	講師	西岡　啓二郎 （72） ＜平成33年4月＞ 商学士	会計学総論
兼任	講師	遠山　真世 （46） ＜平成33年4月＞ 博士（社会福祉学）	障害者福祉論
兼任	講師	大村　誠 （62） ＜平成33年4月＞ 博士（理学）	地域防災論
兼任	講師	加藤　誠之 （52） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	更生保護制度論

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	笹岡　和泉 （49） ＜平成33年4月＞ 学士（芸術学）	生活環境支援作業療法実習※
兼任	講師	津江　美和 （56） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習・認知心理学
兼任	講師	大崎　聡 （61） ＜平成33年4月＞ 経済学士	言語発達障害学
兼任	講師	濵崎　佳瑞子 （49） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習障害・広汎性発達障害学※
兼任	講師	藤原　百合 （71） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見　将志 （49） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	吃音学
兼任	講師	土居　奈央 （33） ＜平成33年4月＞ 学士（人間科学）	聴下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※
兼任	講師	益田　慎 （57） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	聴下障害学実習※
兼任	講師	秋朝　幸二 （56） ＜平成33年4月＞ 短期大学卒	補聴器・人工内耳学
兼任	講師	坂本　泰祥 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	経営組織論
兼任	講師	前田　和範 （35） ＜平成33年4月＞ 修士（スポーツ科学）	マーケティング論
兼任	講師	西岡　啓二郎 （72） ＜平成33年4月＞ 商学士	会計学総論
兼任	講師	遠山　真世 （46） ＜平成33年4月＞ 博士（社会福祉学）	**障害者の社会環境と制度**
兼任	講師	大村　誠 （62） ＜平成33年4月＞ 博士（理学）	地域防災論
兼任	講師	加藤　誠之 （52） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	更生保護制度論

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	笹岡　和泉 （49） ＜平成33年4月＞ 学士（芸術学）	生活環境支援作業療法実習※
兼任	講師	津江　美和 （56） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習・認知心理学
兼任	講師	大崎　聡 （61） ＜平成33年4月＞ 経済学士	言語発達障害学
兼任	講師	濵崎　佳瑞子 （49） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習障害・広汎性発達障害学※
兼任	講師	藤原　百合 （71） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見　将志 （49） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	吃音学
兼任	講師	土居　奈央 （33） ＜平成33年4月＞ 学士（人間科学）	聴下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※
兼任	講師	益田　慎 （57） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	聴下障害学実習※
兼任	講師	秋朝　幸二 （56） ＜平成33年4月＞ 短期大学卒	補聴器・人工内耳学
兼任	講師	坂本　泰祥 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	経営組織論
兼任	講師	前田　和範 （35） ＜平成33年4月＞ 修士（スポーツ科学）	マーケティング論
兼任	講師	西岡　啓二郎 （72） ＜平成33年4月＞ 商学士	会計学総論
兼任	講師	遠山　真世 （46） ＜平成33年4月＞ 博士（社会福祉学）	**障害者の社会環境と制度**
兼任	講師	大村　誠 （62） ＜平成33年4月＞ 博士（理学）	地域防災論
兼任	講師	加藤　誠之 （52） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	更生保護制度論

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	笹岡　和泉 （49） ＜平成33年4月＞ 学士（芸術学）	生活環境支援作業療法実習※
兼任	講師	津江　美和 （56） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習・認知心理学
兼任	講師	大崎　聡 （61） ＜平成33年4月＞ 経済学士	言語発達障害学
兼任	講師	濵崎　佳瑞子 （49） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習障害・広汎性発達障害学※
兼任	講師	藤原　百合 （71） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見　将志 （49） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	吃音学※
兼任	**講師**	**上松　智幸 （33） ＜令和3年4月＞ 専修学校卒**	**吃音学※ 聴下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※**
兼任	講師	益田　慎 （57） ＜**令和3年9月**＞ 博士（医学）	聴下障害学実習※
兼任	講師	秋朝　幸二 （56） ＜平成33年4月＞ 短期大学卒	補聴器・人工内耳学
兼任	講師	坂本　泰祥 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	経営組織論
兼任	講師	前田　和範 （35） ＜平成33年4月＞ 修士（スポーツ科学）	マーケティング論
兼任	**講師**	**宮崎　康平 （45） ＜令和3年4月＞ 専門学校卒**	**会計学総論**
兼任	講師	遠山　真世 （46） ＜平成33年4月＞ 博士（社会福祉学）	**障害者の社会環境と制度**
兼任	講師	大村　誠 （62） ＜平成33年4月＞ 博士（理学）	地域防災論
兼任	講師	加藤　誠之 （52） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	更生保護制度論

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	笹岡　和泉 （50） ＜平成33年4月＞ 学士（芸術学）	生活環境支援作業療法実習※
兼任	講師	津江　美和 （57） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習・認知心理学
兼任	講師	大崎　聡 （62） ＜平成33年4月＞ 経済学士	言語発達障害学
兼任	講師	濵崎　佳瑞子 （50） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習障害・広汎性発達障害学※
兼任	講師	藤原　百合 （72） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見　将志 （50） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	吃音学※
兼任	**講師**	**上松　智幸 （34） ＜令和3年4月＞ 修士（医科学）**	**吃音学※ 聴下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※**
兼任	講師	益田　慎 （58） ＜**令和3年9月**＞ 博士（医学）	聴下障害学実習※
兼任	講師	秋朝　幸二 （57） ＜平成33年4月＞ 短期大学卒	補聴器・人工内耳学
兼任	講師	坂本　泰祥 （61） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	経営組織論
兼任	講師	前田　和範 （36） ＜平成33年4月＞ 修士（スポーツ科学）	マーケティング論
兼任	**講師**	**宮崎　康平 （46） ＜令和3年4月＞ 専門学校卒**	**会計学総論**
兼任	講師	遠山　真世 （47） ＜平成33年4月＞ 博士（社会福祉学）	**障害者の社会環境と制度**
兼任	講師	大村　誠 （63） ＜平成33年4月＞ 博士（理学）	地域防災論
兼任	講師	加藤　誠之 （53） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	更生保護制度論

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	是永　かな子 （47） ＜平成33年4月＞ 博士（教育学）
		特別支援教育論
兼任	講師	西内　章 （48） ＜平成33年4月＞ 博士（臨床福祉学）
		対人援助技術論※
兼任	講師	西梅　幸治 （43） ＜平成33年4月＞ 博士（福祉社会学）
		対人援助技術論※
兼任	講師	森本　忠彦 （81） ＜平成33年4月＞ 教育学士
		広告論
兼任	講師	柳本　伸二 （63） ＜平成33年4月＞ 商学士
		企業広報活動論
兼任	講師	吉岡　一洋 （46） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）
		広告デザイン論
兼任	講師	富田　浩 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（理学療法学）
		理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）※
兼任	講師	前田　秀博 （55） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅱ（ICU）
兼任	講師	小林　　順一 （69） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅳ（障害者スポーツ）
兼任	講師	筒井　裕介 （41） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		高次脳機能障害作業療法実習※
兼任	講師	土居　道康 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※
兼任	講師	篠森　丞 （41） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※
兼任	講師	谷本　愛裕美 （38） ＜平成33年9月＞ 学士（人間科学）
		重複障害学※
兼任	講師	北川　純平 （41） ＜平成33年9月＞ 学士（社会福祉学）
		運動障害性構音障害学実習
兼任	講師	井上　浩明 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	是永　かな子 （47） ＜平成33年4月＞ 博士（教育学）
		特別支援教育論
兼任	講師	西内　章 （48） ＜平成33年4月＞ 博士（臨床福祉学）
		対人援助技術論※
兼任	講師	西梅　幸治 （43） ＜平成33年4月＞ 博士（福祉社会学）
		対人援助技術論※
兼任	講師	森本　忠彦 （81） ＜平成33年4月＞ 教育学士
		広告論
兼任	講師	柳本　伸二 （63） ＜平成33年4月＞ 商学士
		企業広報活動論
兼任	講師	吉岡　一洋 （46） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）
		広告デザイン論
兼任	講師	富田　浩 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（理学療法学）
		理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）※
兼任	講師	前田　秀博 （55） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅱ（ICU）
兼任	講師	小林　　順一 （69） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅳ（障害者スポーツ）
兼任	講師	筒井　裕介 （41） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		高次脳機能障害作業療法実習※
兼任	講師	土居　道康 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※
兼任	講師	篠森　丞 （41） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※
兼任	講師	谷本　愛裕美 （38） ＜平成33年9月＞ 学士（人間科学）
		重複障害学※
兼任	講師	北川　純平 （41） ＜平成33年9月＞ 学士（社会福祉学）
		運動障害性構音障害学実習
兼任	講師	井上　浩明 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	是永　かな子 （47） ＜平成33年4月＞ 博士（教育学）
		特別支援教育論
兼任	講師	西内　章 （48） ＜平成33年4月＞ 博士（臨床福祉学）
		対人援助技術論※
兼任	講師	西梅　幸治 （43） ＜平成33年4月＞ 博士（福祉社会学）
		対人援助技術論※
兼任	講師	森本　忠彦 （81） ＜平成33年4月＞ 教育学士
		広告論
兼任	講師	柳本　伸二 （63） ＜平成33年4月＞ 商学士
		企業広報活動論
兼任	講師	吉岡　一洋 （46） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）
		広告デザイン論
兼任	講師	富田　浩 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（理学療法学）
		理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）※
兼任	講師	前田　秀博 （55） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅱ（ICU）
兼任	講師	小林　　順一 （69） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅳ（障害者スポーツ）
兼任	講師	筒井　裕介 （41） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		高次脳機能障害作業療法実習※
兼任	講師	土居　道康 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※
兼任	講師	篠森　丞 （41） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※
兼任	講師	谷本　愛裕美 （38） ＜平成33年9月＞ 学士（人間科学）
		重複障害学※
兼任	講師	北川　純平 （41） ＜平成33年9月＞ 学士（社会福祉学）
		運動障害性構音障害学実習
兼任	講師	井上　浩明 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	是永　かな子 （47） ＜平成33年4月＞ 博士（教育学）
		特別支援教育論
兼任	講師	西内　章 （48） ＜平成33年4月＞ 博士（臨床福祉学）
		対人援助技術論※
兼任	講師	西梅　幸治 （43） ＜平成33年4月＞ 博士（福祉社会学）
		対人援助技術論※
兼任	**講師**	**田中　拓生 （43） ＜令和3年4月＞ 学士（福祉学）**
		広告論
兼任	**講師**	**竹下　誠一 （68） ＜令和3年4月＞ 法学士**
		企業広報活動論
兼任	講師	吉岡　一洋 （46） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）
		広告デザイン論
兼任	講師	富田　浩 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（理学療法学）
		理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）※
兼任	講師	前田　秀博 （55） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅱ（ICU）
兼任	講師	小林　　順一 （69） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅳ（障害者スポーツ）
兼任	講師	筒井　裕介 （41） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		高次脳機能障害作業療法実習※
兼任	講師	土居　道康 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※
兼任	講師	篠森　丞 （41） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※
兼任	講師	谷本　愛裕美 （38） ＜平成33年9月＞ 学士（人間科学）
		重複障害学※
兼任	講師	北川　純平 （41） ＜平成33年9月＞ 学士（社会福祉学）
		運動障害性構音障害学実習
兼任	講師	井上　浩明 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	**講師**	**石山　貴章 （58） ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）**
		特別支援教育論
兼任	講師	西内　章 （49） ＜平成33年4月＞ 博士（臨床福祉学）
		対人援助技術論※
兼任	講師	西梅　幸治 （44） ＜平成33年4月＞ 博士（福祉社会学）
		対人援助技術論※
兼任	**講師**	**田中　拓生 （44） ＜令和3年4月＞ 学士（福祉学）**
		広告論
兼任	**講師**	**竹下　誠一 （57） ＜令和3年4月＞ 法学士**
		企業広報活動論
兼任	講師	吉岡　一洋 （47） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）
		広告デザイン論
兼任	講師	富田　浩 （55） ＜平成33年9月＞ 博士（理学療法学）
		理学療法技術実習Ⅱ（神経筋促通手技）※
兼任	講師	前田　秀博 （56） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅱ（ICU）
兼任	講師	小林　　順一 （70） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		理学療法治療学実習Ⅳ（障害者スポーツ）
兼任	講師	筒井　裕介 （42） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		高次脳機能障害作業療法実習※
兼任	講師	土居　道康 （46） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※
兼任	講師	篠森　丞 （42） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		機能代償支援作業療法実習※
兼任	講師	谷本　愛裕美 （39） ＜平成33年9月＞ 学士（人間科学）
		重複障害学※
兼任	講師	北川　純平 （42） ＜平成33年9月＞ 学士（社会福祉学）
		運動障害性構音障害学実習
兼任	講師	井上　浩明 （46） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川上　理子 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	森下　幸子 （60） ＜平成33年9月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	上村　浩 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（商学）
		経営管理論
兼任	講師	永野　正展 （73） ＜平成33年9月＞ 博士（工学）
		起業論
兼任	講師	鶴見　隆正 （73） ＜平成34年4月＞ 博士（医学）
		チーム連携論
兼任	講師	矢野　勇介 （45） ＜平成34年4月＞ 専修学校卒
		作業療法管理学※
兼任	講師	西田　香利 （61） ＜平成34年4月＞ 短期大学卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※
兼任	講師	先川　信一郎 （72） ＜平成34年9月＞ 学士（工学）
		国際関係論

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川上　理子 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	森下　幸子 （60） ＜平成33年9月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	上村　浩 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（商学）
		経営管理論
兼任	講師	永野　正展 （73） ＜平成33年9月＞ 博士（工学）
		起業論
兼任	講師	鶴見　隆正 （73） ＜平成34年4月＞ 博士（医学）
		チーム連携論
兼任	講師	矢野　勇介 （45） ＜平成34年4月＞ 専修学校卒
		作業療法管理学※
兼任	講師	西田　香利 （61） ＜平成34年4月＞ 短期大学卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※
兼任	講師	先川　信一郎 （72） ＜平成34年9月＞ 学士（工学）
		国際関係論

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川上　理子 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	森下　幸子 （60） ＜平成33年9月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	上村　浩 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（商学）
		経営管理論
兼任	講師	永野　正展 （73） ＜平成33年9月＞ 博士（工学）
		起業論
兼任	講師	鶴見　隆正 （73） ＜平成34年4月＞ 博士（医学）
		チーム連携論
兼任	講師	矢野　勇介 （45） ＜平成34年4月＞ 専修学校卒
		作業療法管理学※
兼任	講師	西田　香利 （61） ＜平成34年4月＞ 短期大学卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※
兼任	講師	先川　信一郎 （72） ＜平成34年9月＞ 学士（工学）
		国際関係論
兼任	講師	松本　秀行 （66） ＜令和4年9月＞ 専修学校卒
		理学療法管理実務
兼任	講師	細川　忠 （48） ＜令和5年4月＞ 専修学校卒
		作業療法管理実務

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川上　理子 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	森下　幸子 （60） ＜平成33年9月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	上村　浩 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（商学）
		経営管理論
兼任	講師	物部　真一郎 （39） ＜令和3年9月＞ 修士（経営学）
		起業論
兼任	講師	鶴見　隆正 （73） ＜平成34年4月＞ 博士（医学）
		チーム連携論
兼任	講師	矢野　勇介 （45） ＜平成34年4月＞ 専修学校卒
		作業療法管理学※
兼任	講師	西田　香利 （61） ＜平成34年4月＞ 短期大学卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※
兼任	講師	先川　信一郎 （72） ＜平成34年9月＞ 学士（工学）
		国際関係論
兼任	講師	松本　秀行 （66） ＜令和4年9月＞ 専修学校卒
		理学療法管理実務
兼任	講師	細川　忠 （48） ＜令和5年4月＞ 専修学校卒
		作業療法管理実務

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川上　理子 （55） ＜平成33年9月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	森下　幸子 （61） ＜平成33年9月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	上村　浩 （55） ＜平成33年9月＞ 博士（商学）
		経営管理論
兼任	講師	物部　真一郎 （39） ＜令和3年9月＞ 修士（経営学）
		起業論
兼任	講師	川村　博文 （65） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		チーム連携論
兼任	講師	矢野　勇介 （45） ＜平成34年4月＞ 専修学校卒
		作業療法管理学※
兼任	講師	西田　香利 （61） ＜平成34年4月＞ 短期大学卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※
兼任	講師	先川　信一郎 （72） ＜平成34年9月＞ 学士（工学）
		国際関係論
兼任	講師	松本　秀行 （66） ＜令和4年9月＞ 専修学校卒
		理学療法管理実務
兼任	講師	細川　忠 （48） ＜令和5年4月＞ 専修学校卒
		作業療法管理実務

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（1）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

・兼任講師が都合により辞退したため、「教育学」の兼任講師を新たに配置した。
・附帯事項２より教育課程の概要の中で、展開科目「作業療法展開科目群」の福祉に関する科目の科目名の変更に伴い、該当する担当教員の科目名も変更した。

【令和２年度】

・大倉教授が病気治療中にて、主治医より勤務負担の軽減を指示されており、負担軽減が必要な状況の為「健康科学」・「理学療法概論」・「運動療法学」・「運動療法学実習」の4科目について担当科目から削除した。
・「言語学」「音声学」を担当する兼任講師が都合により「音声学」を辞退したため、新たに兼任講師を配置した。
・兼任講師が都合により辞退したため及び開講回数3回の兼任講師の負担の軽減とより質の高い教育効果を得るため「臨床神経学」の兼任講師2名を新たに配置した。
・指定規則の改正により、「理学療法管理実務」「作業療法管理実務」が新設されたので、兼任講師2名を新たに配置した。
・聴覚系医学の基礎的な知識である聴器の構造と機能（生理）について、専門の医師による講義行うことが教育効果が高いので、兼任講師1名を新たに配置した。
・兼任講師が都合により辞退したため、「画像診断学」の兼任講師を新たに配置した。
・理学療法士・作業療法士指定規則の変更に伴い選択科目であった「臨床栄養学」「臨床薬理学」「画像診断学」「救急管理実習」が選択必修となり、理学療法学専攻、作業療法学専攻の全員（100名程度）が受講する事になり、1クラス40名以下の講義にするため3クラスで行う必要があり「臨床栄養学」「臨床薬理学」を担当する兼任講師の開講回数を1回→3回、「画像診断学」を担当する兼任講師の開講回数を2回→3回にそれぞれ変更した。
・「作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系）」の科目について、令和2年度の授業については准教授1名で実施する予定でしたが、より教育効果を上げるため、令和3年度就任予定の准教授を兼任講師として配置し、教員2名の共同で授業を実施した。
・「企業論」について、理学療法学専攻単独で同時に40名を超える授業科目として1クラスで行う授業としていたが、兼任講師より2クラスの授業が可能ということもあり、教育効果を考えて2クラスに分けて授業を実施した。

【令和３年度】

・附帯事項において、教員の補充を必要とされた授業科目「運動器障害理学療法実習」について、令和2年度のＡＣ教員審査にて「可」の判定を受けた教授に対して同科目を追加した。「令和2年11月教員審査済」
・「精神医学」について、作業療法学専攻では精神科領域で、作業療法の対象者に適切な対応をとれる、より専門性の高い授業内容とするため、5名のオムニバス方式にて、各講師の専門性を踏まえて分担し、より教育効果の高い授業を行うことにした。
・「臨床心理学」「言語学」「小児科学」「企業広報活動論」「救急管理実習」「嚥下障害学実習」「発声発語・嚥下障害評価実習」「言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）」「会計学総論」「広告論」において、兼任講師の都合により辞退したため、新たに兼任講師を配置した。
・「企業論」について、申請時は理学療法学専攻単独で同時に40名を超える授業科目として1クラスで行う授業としており、当初の兼任講師により令和2年度開講時に教育効果を考えて2クラスに分けて授業を行ったが、首都圏から往来をすることで過度の負担が生じることになったため、令和3年度より近隣在住の兼任講師へと変更をした。
・「臨床薬理学」について、兼任講師の逝去の為新たに兼任講師を配置した。
・「起業論」について、兼任講師より体調不良の為辞退の申し出があり、新たに兼任講師を配置した。
・「吃音学」について、当初兼任講師1名での開講でありましたが本務の都合によりすべての授業を実施することができないため、新たに兼任講師を1名配置しオムニバス方式で授業を実施する。
・「臨床神経学」について、兼任講師の都合により1名辞退の申し出があり、担当する兼任講師が3名から2名となった。
・専任教員　濱田 和範（准教授）の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている。現在、当該教員は「後縦靱帯骨化症（分節型）」により頸椎～胸椎～腰椎の広範囲にわたり脊柱管が狭窄され、その結果、脊髄が圧迫され上下肢の運動や感覚に麻痺を来している。令和元年4月には頸椎固定の手術も受けているが、その後も段階的に症状は増悪してきており物を持つことや歩行などの日常生活動作にも支障を来している。今後の授業において、学生に不利益を来さず、教育の質を担保するために令和3年6月のAC教員審査を受けた結果、令和3年9月（後期）より、専任教員　岩崎 洋（准教授）を採用し授業科目を担当させることとなった。

【令和４年度】

・「心理学」について兼任講師2名で授業を行っていたが、1名辞退の為兼任講師1名で授業を実施した。
・「医学英語」「画像診断学」「臨床薬理学」「特別支援教育論」「チーム連携論」について、兼任講師が辞退したため新たに兼任講師を配置した。
・「ロボット技術活用論」について、兼任講師1名での開講であったが、本務の都合により全ての授業を実施することができないため、新たに兼任講師を1名配置した。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

5　教員組織の状況

＜リハビリテーション学部　リハビリテーション学科　言語聴覚学専攻＞

（1）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹島　卓 (71) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ データ分析論
専	教授	武内　和弘 (72) ＜平成31年4月＞ 歯学博士	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 機能性構音障害学実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	教授	玉井　健 (65) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
専	准教授	石川　裕治 (57) ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 音声障害学実習 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	准教授	稲田　勲 (56) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） ※	地域課題研究Ⅱ 言語発達学 重複障害学※ 学習障害・広汎性発達障害学※ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅰ （言語発達障害） 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅰ
専	講師	光内　梨佐 (39) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	講師	高地　正音 (48) ＜平成31年4月＞ 修士（工学）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
実専	助教	榎木　理恵 (41) ＜平成33年4月＞ 専修学校卒	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習
実（研）	講師	吉村　知佐子 (40) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅲ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹島　卓 (71) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ データ分析論
専	教授	武内　和弘 (72) ＜平成31年4月＞ 歯学博士	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 機能性構音障害学実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	教授	玉井　健 (65) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
専	准教授	石川　裕治 (57) ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 音声障害学実習 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	准教授	稲田　勲 (56) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） ※	地域課題研究Ⅱ 言語発達学 重複障害学※ 学習障害・広汎性発達障害学※ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅰ （言語発達障害） 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅰ
専	講師	光内　梨佐 (39) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	講師	高地　正音 (48) ＜平成31年4月＞ 修士（工学）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
実専	助教	榎木　理恵 (41) ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習
実（研）	講師	吉村　知佐子 (41) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅲ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹島　卓 (72) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ データ分析論
専	教授	武内　和弘 (73) ＜平成31年4月＞ 歯学博士	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 機能性構音障害学実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	教授	玉井　健 (66) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
専	准教授	石川　裕治 (58) ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 音声障害学実習 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	准教授	稲田　勲 (57) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） ※	地域課題研究Ⅱ 言語発達学 重複障害学※ 学習障害・広汎性発達障害学※ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅰ （言語発達障害） 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅰ
専	講師	光内　梨佐 (40) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	講師	高地　正音 (49) ＜平成31年4月＞ 修士（工学）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
実専	助教	榎木　理恵 (41) ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習
実（研）	講師	吉村　知佐子 (42) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅲ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹島　卓 (73) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ データ分析論
専	教授	武内　和弘 (74) ＜平成31年4月＞ 歯学博士	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 機能性構音障害学実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	教授	玉井　健 (67) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
専	准教授	石川　裕治 (59) ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 音声障害学実習 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	准教授	稲田　勲 (58) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） ※	地域課題研究Ⅱ 言語発達学 重複障害学※ 学習障害・広汎性発達障害学※ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅰ （言語発達障害） 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅰ
専	講師	光内　梨佐 (41) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	講師	高地　正音 (50) ＜平成31年4月＞ 修士（工学）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
実専	助教	榎木　理恵 (41) ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習
実（研）	講師	吉村　知佐子 (43) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅲ

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹島　卓 (74) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ データ分析論
専	教授	武内　和弘 (75) ＜平成31年4月＞ 歯学博士	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 機能性構音障害学実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	教授	玉井　健 (68) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	英語Ⅰ 英語Ⅱ
専	准教授	石川　裕治 (60) ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ コミュニケーション論 言語聴覚障害学総論Ⅰ※ 言語聴覚障害学総論Ⅱ※ 音声障害学実習 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語）※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	准教授	稲田　勲 (59) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） ※	地域課題研究Ⅱ 言語発達学 重複障害学※ 学習障害・広汎性発達障害学※ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法技術実習Ⅰ （言語発達障害） 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅰ
専	講師	光内　梨佐 (42) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※ 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習
専	講師	高地　正音 (51) ＜平成31年4月＞ 修士（工学）	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
実専	助教	榎木　理恵 (42) ＜平成33年4月＞ **修士（医療福祉教育・管理学）**	言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習
実（研）	講師	吉村　知佐子 (44) ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ 言語聴覚療法セミナーⅠ 言語聴覚療法セミナーⅡ 言語発達障害検査実習 言語発達障害評価実習 言語聴覚療法臨床実習Ⅰ 言語聴覚療法臨床実習Ⅱ 言語聴覚療法臨床実習Ⅲ 言語聴覚療法地域支援実習 応用言語聴覚学演習 言語聴覚療法総合演習Ⅲ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	小嶋　裕 （69） ＜平成31年4月＞ 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）	リハビリテーション概論
兼担	教授	大倉　三洋 （70） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 リハビリテーション概論
兼担	教授	高野　康夫 （69） ＜平成31年4月＞ 保健学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）
兼担	教授	山崎　裕司 （55） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	辻　博明 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	地域課題研究Ⅱ 健康科学
兼担	教授	柳澤　健 （71） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	宮川　哲夫 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	片山　訓博 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	明崎　禎輝 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	足立　一 （50） ＜平成33年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	平松　真奈美 （56） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	大塚　貴英 （51） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	篠田　かおり （43） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	助教	石元　美知子 （63） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	地域課題研究Ⅱ 高次脳機能障害学※
兼担	助教	有光　一樹 （44） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	濱田　和範 （62） ＜平成31年4月＞ 各種学校卒	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	稲岡　忠勝 （48） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	宮崎　登美子 （45） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	田頭　勝之 （59） ＜平成32年4月＞ 博士（医療福祉学）	地域課題研究Ⅱ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	小嶋　裕 （69） ＜平成31年4月＞ 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）	リハビリテーション概論
兼担	教授	大倉　三洋 （70） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 リハビリテーション概論
兼担	教授	高野　康夫 （69） ＜平成31年4月＞ 保健学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）
兼担	教授	山崎　裕司 （55） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	辻　博明 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	地域課題研究Ⅱ 健康科学
兼担	教授	柳澤　健 （71） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	宮川　哲夫 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	片山　訓博 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	明崎　禎輝 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	足立　一 （50） ＜平成33年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	平松　真奈美 （56） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	大塚　貴英 （51） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	篠田　かおり （43） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	助教	石元　美知子 （63） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	地域課題研究Ⅱ 高次脳機能障害学※
兼担	助教	有光　一樹 （44） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	濱田　和範 （62） ＜平成31年4月＞ 各種学校卒	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	稲岡　忠勝 （48） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	宮崎　登美子 （45） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	田頭　勝之 （58） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	地域課題研究Ⅱ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	小嶋　裕 （70） ＜平成31年4月＞ 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）	リハビリテーション概論
兼担	教授	大倉　三洋 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 リハビリテーション概論
兼担	教授	高野　康夫 （70） ＜平成31年4月＞ 保健学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）
兼担	教授	山崎　裕司 （56） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	辻　博明 （72） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	地域課題研究Ⅱ 健康科学
兼担	教授	柳澤　健 （71） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	宮川　哲夫 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	片山　訓博 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	明崎　禎輝 （40） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	足立　一 （50） ＜平成33年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	平松　真奈美 （57） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	大塚　貴英 （52） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	篠田　かおり （44） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	助教	石元　美知子 （64） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	地域課題研究Ⅱ 高次脳機能障害学※
兼担	助教	有光　一樹 （45） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	濱田　和範 （63） ＜平成31年4月＞ 各種学校卒	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	稲岡　忠勝 （49） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	宮崎　登美子 （46） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	田頭　勝之 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	地域課題研究Ⅱ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	小嶋　裕 （71） ＜平成31年4月＞ 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）	リハビリテーション概論
兼担	教授	大倉　三洋 （72） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 リハビリテーション概論
兼担	教授	高野　康夫 （71） ＜平成31年4月＞ 保健学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）
兼担	教授	山崎　裕司 （57） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	辻　博明 （73） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	地域課題研究Ⅱ 健康科学
兼担	教授	柳澤　健 （72） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	宮川　哲夫 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	片山　訓博 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	明崎　禎輝 （41） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	足立　一 （50） ＜平成33年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	平松　真奈美 （58） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	大塚　貴英 （53） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	篠田　かおり （45） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	助教	石元　美知子 （65） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	地域課題研究Ⅱ 高次脳機能障害学※
兼担	助教	有光　一樹 （46） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	濱田　和範 （64） ＜平成31年4月＞ 各種学校卒	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	稲岡　忠勝 （50） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	宮崎　登美子 （47） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	田頭　勝之 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	地域課題研究Ⅱ

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	小嶋　裕 （72） ＜平成31年4月＞ 博士（介護福祉・ケアマネジメント学）	リハビリテーション概論
兼担	教授	大倉　三洋 （73） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ 健康科学 リハビリテーション概論
兼担	教授	高野　康夫 （72） ＜平成31年4月＞ 保健学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）
兼担	教授	山崎　裕司 （58） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	辻　博明 （74） ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	地域課題研究Ⅱ 健康科学
兼担	教授	柳澤　健 （73） ＜平成32年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	宮川　哲夫 （66） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	片山　訓博 （50） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	明崎　禎輝 （42） ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	足立　一 （51） ＜平成33年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	平松　真奈美 （59） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	大塚　貴英 （54） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	篠田　かおり （46） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	助教	石元　美知子 （66） ＜平成31年4月＞ 修士（文学）	地域課題研究Ⅱ 高次脳機能障害学※
兼担	助教	有光　一樹 （47） ＜平成31年4月＞ 修士（医科学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	濱田　和範 （65） ＜平成31年4月＞ 各種学校卒	地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	稲岡　忠勝 （51） ＜平成31年4月＞ 社会学士	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	宮崎　登美子 （48） ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	教授	田頭　勝之 （61） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	地域課題研究Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	重島　晃史 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	辻　美和 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	清岡　学 (58) ＜平成31年4月＞ 修士（心身健康科学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	助教	柏　智之 (40) ＜平成31年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ
兼任	講師	中野　良哉 (46) ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）	心理学 発達心理学 心理測定法実習
兼任	講師	宮地　由美子 (66) ＜平成31年4月＞ 社会学士	心理学
兼任	講師	松原　和廣 (72) ＜平成31年4月＞ 法学士	教育学
兼任	講師	玉里　恵美子 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	社会学
兼任	講師	岡林　正幸 (66) ＜平成31年4月＞ 農学士	生物学 物理学
兼任	講師	神家　一成 (66) ＜平成31年4月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	矢野　宏光 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	健康とスポーツ
兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine (51) ＜平成31年4月＞ 修士（言語学）	英会話
兼任	講師	前田　正也 (61) ＜平成31年4月＞ 法学士	中国語
兼任	講師	田口　尚弘 (66) ＜平成31年4月＞ 理学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）
兼任	講師	大迫　洋治 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅰ（動物性機能）
兼任	講師	梶　秀人 (68) ＜平成31年4月＞ 保健学博士、医学博士 農学博士	生理学Ⅰ（動物性機能） 生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	奥谷　文乃 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理学Ⅰ（動物性機能） 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※
兼任	講師	矢吹　了一 (70) ＜平成31年4月＞ 社会学士	社会福祉概論

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	重島　晃史 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	辻　美和 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	清岡　学 (58) ＜平成31年4月＞ 修士（心身健康科学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	助教	柏　智之 (40) ＜平成31年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ
兼任	講師	中野　良哉 (46) ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）	心理学 発達心理学 心理測定法実習
兼任	講師	宮地　由美子 (66) ＜平成31年4月＞ 社会学士	心理学
兼任	**講師**	**谷岡　博恵 (62) ＜平成31年4月＞ 文学士**	**教育学**
兼任	講師	玉里　恵美子 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	社会学
兼任	講師	岡林　正幸 (67) ＜平成31年4月＞ 農学士	生物学 物理学
兼任	講師	神家　一成 (66) ＜平成31年4月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	矢野　宏光 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	健康とスポーツ
兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine (51) ＜平成31年4月＞ 修士（言語学）	英会話
兼任	講師	前田　正也 (61) ＜平成31年4月＞ 法学士	中国語
兼任	講師	田口　尚弘 (66) ＜平成31年4月＞ 理学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）
兼任	講師	大迫　洋治 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅰ（動物性機能）
兼任	講師	梶　秀人 (68) ＜平成31年4月＞ 保健学博士、医学博士 農学博士	生理学Ⅰ（動物性機能） 生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	奥谷　文乃 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理学Ⅰ（動物性機能） 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※
兼任	講師	矢吹　了一 (71) ＜平成31年4月＞ 社会学士	社会福祉概論

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	重島　晃史 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	辻　美和 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	清岡　学 (59) ＜平成31年4月＞ 修士（心身健康科学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	助教	柏　智之 (41) ＜平成31年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ
兼任	講師	中野　良哉 (47) ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）	心理学 発達心理学 心理測定法実習
兼任	講師	宮地　由美子 (67) ＜平成31年4月＞ 社会学士	心理学
兼任	**講師**	**谷岡　博恵 (63) ＜平成31年4月＞ 文学士**	**教育学**
兼任	講師	玉里　恵美子 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	社会学
兼任	講師	岡林　正幸 (68) ＜平成31年4月＞ 農学士	生物学 物理学
兼任	講師	神家　一成 (67) ＜平成31年4月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	矢野　宏光 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	健康とスポーツ
兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine (52) ＜平成31年4月＞ 修士（言語学）	英会話
兼任	講師	前田　正也 (62) ＜平成31年4月＞ 法学士	中国語
兼任	講師	田口　尚弘 (67) ＜平成31年4月＞ 理学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）
兼任	講師	大迫　洋治 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅰ（動物性機能）
兼任	講師	梶　秀人 (69) ＜平成31年4月＞ 保健学博士、医学博士 農学博士	生理学Ⅰ（動物性機能） 生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	奥谷　文乃 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理学Ⅰ（動物性機能） 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※
兼任	講師	矢吹　了一 (72) ＜平成31年4月＞ 社会学士	社会福祉概論

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	重島　晃史 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	辻　美和 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	清岡　学 (60) ＜平成31年4月＞ 修士（心身健康科学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	助教	柏　智之 (42) ＜平成31年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ
兼任	講師	中野　良哉 (48) ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）	心理学 発達心理学 心理測定法実習
兼任	講師	宮地　由美子 (68) ＜平成31年4月＞ 社会学士	心理学
兼任	**講師**	**谷岡　博恵 (64) ＜平成31年4月＞ 文学士**	**教育学**
兼任	講師	玉里　恵美子 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	社会学
兼任	講師	岡林　正幸 (69) ＜平成31年4月＞ 農学士	生物学 物理学
兼任	講師	神家　一成 (68) ＜平成31年4月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	矢野　宏光 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	健康とスポーツ
兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine (53) ＜平成31年4月＞ 修士（言語学）	英会話
兼任	講師	前田　正也 (63) ＜平成31年4月＞ 法学士	中国語
兼任	講師	田口　尚弘 (68) ＜平成31年4月＞ 理学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）
兼任	講師	大迫　洋治 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅰ（動物性機能）
兼任	講師	梶　秀人 (70) ＜平成31年4月＞ 保健学博士、医学博士 農学博士	生理学Ⅰ（動物性機能） 生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	奥谷　文乃 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理学Ⅰ（動物性機能） 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※
兼任	講師	矢吹　了一 (73) ＜平成31年4月＞ 社会学士	社会福祉概論

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	重島　晃史 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅰ 地域課題研究Ⅱ
兼担	准教授	辻　美和 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	地域課題研究Ⅱ
兼担	講師	清岡　学 (61) ＜平成31年4月＞ 修士（心身健康科学）	地域課題研究Ⅱ
兼担	助教	柏　智之 (42) ＜平成31年4月＞ 修士（学術） ※	地域課題研究Ⅱ
兼任	講師	中野　良哉 (49) ＜平成31年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）	心理学 発達心理学 心理測定法実習
兼任	**講師**	**中野　良哉 (49) ＜令和4年4月＞ 修士（人間環境学・学校教育学）**	**心理学**
兼任	**講師**	**谷岡　博恵 (65) ＜平成31年4月＞ 文学士**	**教育学**
兼任	講師	玉里　恵美子 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）	社会学
兼任	講師	岡林　正幸 (70) ＜平成31年4月＞ 農学士	生物学 物理学
兼任	講師	神家　一成 (69) ＜平成31年4月＞ 体育学士	健康とスポーツ
兼任	講師	矢野　宏光 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）	健康とスポーツ
兼任	講師	ショーン・バーゴイン Sean Burgoine (54) ＜平成31年4月＞ 修士（言語学）	英会話
兼任	講師	前田　正也 (64) ＜平成31年4月＞ 法学士	中国語
兼任	講師	田口　尚弘 (69) ＜平成31年4月＞ 理学博士	解剖学Ⅰ（総論・神経系） 解剖学Ⅱ（内臓・脈管系）
兼任	講師	大迫　洋治 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（獣医学）	生理学Ⅰ（動物性機能）
兼任	講師	梶　秀人 (71) ＜平成31年4月＞ 保健学博士、医学博士 農学博士	生理学Ⅰ（動物性機能） 生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	奥谷　文乃 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	生理学Ⅰ（動物性機能） 耳鼻咽喉科学 音声・言語系医学※
兼任	講師	矢吹　了一 (74) ＜平成31年4月＞ 社会学士	社会福祉概論

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江渕　聡 (47) ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）
		地域福祉活動論
兼任	講師	村岡　正浩 (42) ＜平成31年4月＞ 専修学校卒
		マンガ概論
兼任	講師	関　和也 (40) ＜平成31年4月＞ 専修学校卒
		マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉　史高 (66) ＜平成31年9月＞ 工学士
		数学
兼任	講師	藤原　憲一郎 (69) ＜平成31年9月＞ 博士（工学）
		統計学
兼任	講師	甲藤　彰男 (69) ＜平成31年9月＞ 体育学士
		健康とスポーツ
兼任	講師	大塚　智子 (46) ＜平成31年9月＞ 博士（獣医学）
		生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	田中　健二朗 (37) ＜平成31年9月＞ 博士（医学）
		生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	吾妻　美子 (70) ＜平成31年9月＞ 医学博士
		医学概論 病理学
兼任	講師	池　聡 (31) ＜平成31年9月＞ 学士（人間科学）
		失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	松井　大洲 (72) ＜平成31年9月＞ 短期大学卒
		活字デザイン論
兼任	講師	鈴木　琴栄 (42) ＜平成32年4月＞ 修士（音楽療法）
		医学英語
兼任	講師	倉田　浩充 (61) ＜平成32年4月＞ 医学博士
		臨床神経学
兼任	講師	田邉　裕久 (62) ＜平成32年9月＞ 医学士
		臨床神経学
兼任	講師	竹田　伸也 (46) ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		精神医学
兼任	講師	宮本　寛 (57) ＜平成32年4月＞ 医学士
		リハビリテーション医学
兼任	講師	吉岡　孝紘 (31) ＜平成32年4月＞ 修士（臨床心理）
		臨床心理学
兼任	講師	山本　双一 (70) ＜平成32年4月＞ 修士（心身健康学）
		リーダーシップ論
兼任	講師	小林　泰輔 (58) ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		聴覚系医学※

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江渕　聡 (47) ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）
		地域福祉活動論
兼任	講師	村岡　正浩 (43) ＜平成31年4月＞ 専修学校卒
		マンガ概論
兼任	講師	関　和也 (40) ＜平成31年4月＞ 専修学校卒
		マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉　史高 (66) ＜平成31年9月＞ 工学士
		数学
兼任	講師	藤原　憲一郎 (69) ＜平成31年9月＞ 博士（工学）
		統計学
兼任	講師	甲藤　彰男 (69) ＜平成31年9月＞ 体育学士
		健康とスポーツ
兼任	講師	大塚　智子 (46) ＜平成31年9月＞ 博士（獣医学）
		生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	田中　健二朗 (37) ＜平成31年9月＞ 博士（医学）
		生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	吾妻　美子 (70) ＜平成31年9月＞ 医学博士
		医学概論 病理学
兼任	講師	池　聡 (31) ＜平成31年9月＞ 学士（人間科学）
		失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	松井　大洲 (72) ＜平成31年9月＞ 短期大学卒
		活字デザイン論
兼任	講師	鈴木　琴栄 (42) ＜平成32年4月＞ 修士（音楽療法）
		医学英語
兼任	講師	倉田　浩充 (61) ＜平成32年4月＞ 医学博士
		臨床神経学
兼任	講師	田邉　裕久 (62) ＜平成32年9月＞ 医学士
		臨床神経学
兼任	講師	竹田　伸也 (46) ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		精神医学
兼任	講師	宮本　寛 (57) ＜平成32年4月＞ 医学士
		リハビリテーション医学
兼任	講師	吉岡　孝紘 (31) ＜平成32年4月＞ 修士（臨床心理）
		臨床心理学
兼任	講師	山本　双一 (70) ＜平成32年4月＞ 修士（心身健康学）
		リーダーシップ論
兼任	講師	小林　泰輔 (58) ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		聴覚系医学※

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江渕　聡 (48) ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）
		地域福祉活動論
兼任	講師	村岡　正浩 (44) ＜平成31年4月＞ 専修学校卒
		マンガ概論
兼任	講師	関　和也 (41) ＜平成31年4月＞ 専修学校卒
		マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉　史高 (67) ＜平成31年9月＞ 工学士
		数学
兼任	講師	藤原　憲一郎 (70) ＜平成31年9月＞ 博士（工学）
		統計学
兼任	講師	甲藤　彰男 (70) ＜平成31年9月＞ 体育学士
		健康とスポーツ
兼任	講師	大塚　智子 (47) ＜平成31年9月＞ 博士（獣医学）
		生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	田中　健二朗 (38) ＜平成31年9月＞ 博士（医学）
		生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	吾妻　美子 (71) ＜平成31年9月＞ 医学博士
		医学概論 病理学
兼任	講師	池　聡 (32) ＜平成31年9月＞ **修士（医科学）**
		失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	松井　大洲 (73) ＜平成31年9月＞ 短期大学卒
		活字デザイン論
兼任	講師	鈴木　琴栄 (42) ＜平成32年4月＞ 修士（音楽療法）
		医学英語
兼任	講師	倉田　浩充 (61) ＜平成32年4月＞ 医学博士
		臨床神経学
兼任	**講師**	**小笠原　望 (88) ＜令和2年4月＞ 医学士**
		臨床神経学
兼任	**講師**	**金子　直子 (41) ＜令和2年4月＞ 医学士**
		臨床神経学
兼任	講師	竹田　伸也 (46) ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		精神医学
兼任	講師	宮本　寛 (57) ＜平成32年4月＞ 医学士
		リハビリテーション医学
兼任	講師	吉岡　孝紘 (32) ＜平成32年4月＞ 修士（臨床心理）
		臨床心理学
兼任	講師	山本　双一 (70) ＜平成32年4月＞ 修士（心身健康学）
		リーダーシップ論
兼任	講師	小林　泰輔 (59) **＜令和2年9月＞** 博士（医学）
		聴覚系医学※

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江渕　聡 (49) ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）
		地域福祉活動論
兼任	講師	村岡　正浩 (45) ＜平成31年4月＞ 専修学校卒
		マンガ概論
兼任	講師	関　和也 (42) ＜平成31年4月＞ 専修学校卒
		マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉　史高 (68) ＜平成31年9月＞ 工学士
		数学
兼任	講師	藤原　憲一郎 (71) ＜平成31年9月＞ 博士（工学）
		統計学
兼任	講師	甲藤　彰男 (71) ＜平成31年9月＞ 体育学士
		健康とスポーツ
兼任	講師	大塚　智子 (48) ＜平成31年9月＞ 博士（獣医学）
		生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	田中　健二朗 (39) ＜平成31年9月＞ 博士（医学）
		生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	吾妻　美子 (72) ＜平成31年9月＞ 医学博士
		医学概論 病理学
兼任	講師	池　聡 (33) ＜平成31年9月＞ **修士（医科学）**
		失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	松井　大洲 (74) ＜平成31年9月＞ 短期大学卒
		活字デザイン論
兼任	講師	鈴木　琴栄 (43) ＜平成32年4月＞ 修士（音楽療法）
		医学英語
兼任	講師	倉田　浩充 (62) ＜平成32年4月＞ 医学博士
		臨床神経学
兼任	講師	竹田　伸也 (47) ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		精神医学
兼任	講師	宮本　寛 (58) ＜平成32年4月＞ 医学士
		リハビリテーション医学
兼任	**講師**	**西岡　歌 (31) ＜令和3年4月＞ 修士（心理学）**
		臨床心理学
兼任	講師	山本　双一 (71) ＜平成32年4月＞ 修士（心身健康学）
		リーダーシップ論
兼任	講師	小林　泰輔 (59) **＜令和2年9月＞** 博士（医学）
		聴覚系医学※

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江渕　聡 (50) ＜平成31年4月＞ 学士（社会学）
		地域福祉活動論
兼任	講師	村岡　正浩 (46) ＜平成31年4月＞ 専修学校卒
		マンガ概論
兼任	講師	関　和也 (43) ＜平成31年4月＞ 専修学校卒
		マンガ基礎実習
兼任	講師	三吉　史高 (69) ＜平成31年9月＞ 工学士
		数学
兼任	講師	藤原　憲一郎 (72) ＜平成31年9月＞ 博士（工学）
		統計学
兼任	講師	甲藤　彰男 (72) ＜平成31年9月＞ 体育学士
		健康とスポーツ
兼任	講師	大塚　智子 (49) ＜平成31年9月＞ 博士（獣医学）
		生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	田中　健二朗 (40) ＜平成31年9月＞ 博士（医学）
		生理学Ⅱ（植物性機能）
兼任	講師	吾妻　美子 (73) ＜平成31年9月＞ 医学博士
		医学概論 病理学
兼任	講師	池　聡 (34) ＜平成31年9月＞ **修士（医科学）**
		失語症学 高次脳機能障害学※ 失語・高次脳機能障害検査実習 発声発語・嚥下障害検査実習 言語聴覚療法総合演習Ⅱ
兼任	講師	松井　大洲 (75) ＜平成31年9月＞ 短期大学卒
		活字デザイン論
兼任	**講師**	**上羽　由香 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（人間健康科学）**
		医学英語
兼任	講師	倉田　浩充 (63) ＜平成32年4月＞ 医学博士
		臨床神経学
兼任	講師	竹田　伸也 (48) ＜平成32年4月＞ 博士（医学）
		精神医学
兼任	講師	宮本　寛 (59) ＜平成32年4月＞ 医学士
		リハビリテーション医学
兼任	**講師**	**西岡　歌 (32) ＜令和3年4月＞ 修士（心理学）**
		臨床心理学
兼任	講師	山本　双一 (72) ＜平成32年4月＞ 修士（心身健康学）
		リーダーシップ論
兼任	講師	小林　泰輔 (60) **＜令和2年9月＞** 博士（医学）
		聴覚系医学※

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤　広明 （35） ＜平成32年4月＞ 学士（医学）	聴覚系医学※
兼任	講師	奥村　訓代 （66） ＜平成32年4月＞ 文学修士	言語学 音声学
兼任	講師	井上　真理子 （36） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	大倉　美知子 （58） ＜平成32年4月＞ 短期大学卒	視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論 視覚伝達デザイン論
兼任	講師	石元　篤雄 （59） ＜平成32年9月＞ 医学士	内科学
兼任	講師	小野　歩 （63） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	田中　肇 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	竹中　奈奈 （41） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	内科学
兼任	講師	武市　知己 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	倉繁　迪 （76） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小倉　英郎 （74） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小谷　治子 （57） ＜平成32年9月＞ 医学士	小児科学
兼任	講師	兵頭　政光 （61） ＜平成32年9月＞ 医学博士	音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 （34） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	音声・言語系医学※
兼任	講師	世木　秀明 （64） ＜平成32年9月＞ 工学修士	音響学（聴覚心理学を含む）
兼任	講師	竹下　誠一 （65） ＜平成32年9月＞ 法学士	情報メディア学入門

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤　広明 （35） ＜平成32年4月＞ 学士（医学）	聴覚系医学※
兼任	講師	奥村　訓代 （66） ＜平成32年4月＞ 文学修士	言語学 音声学
兼任	講師	井上　真理子 （36） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	大倉　美知子 （58） ＜平成32年4月＞ 短期大学卒	視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論 視覚伝達デザイン論
兼任	講師	石元　篤雄 （59） ＜平成32年9月＞ 医学士	内科学
兼任	講師	小野　歩 （63） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	田中　肇 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	竹中　奈奈 （41） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	内科学
兼任	講師	武市　知己 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	倉繁　迪 （76） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小倉　英郎 （74） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小谷　治子 （57） ＜平成32年9月＞ 医学士	小児科学
兼任	講師	兵頭　政光 （61） ＜平成32年9月＞ 医学博士	音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 （34） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	音声・言語系医学※
兼任	講師	世木　秀明 （64） ＜平成32年9月＞ 工学修士	音響学（聴覚心理学を含む）
兼任	講師	竹下　誠一 （65） ＜平成32年9月＞ 法学士	情報メディア学入門

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤　広明 （36） **＜令和2年9月＞** 学士（医学）	聴覚系医学※
兼任	**講師**	**奥谷　文乃** **（40）** **＜令和2年9月＞** **博士（医学）**	**聴覚系医学※**
兼任	講師	奥村　訓代 （66） ＜平成32年4月＞ 文学修士	言語学 ~~音声学~~
兼任	**講師**	**公文　泉子** **（40）** **＜令和2年9月＞** **文学修士**	**音声学**
兼任	講師	井上　真理子 （36） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	大倉　美知子 （58） ＜平成32年4月＞ 短期大学卒	視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論 視覚伝達デザイン論
兼任	講師	石元　篤雄 （59） ＜平成32年9月＞ 医学士	内科学
兼任	講師	小野　歩 （63） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	田中　肇 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	竹中　奈奈 （41） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	内科学
兼任	講師	武市　知己 （56） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	倉繁　迪 （76） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小倉　英郎 （74） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小谷　治子 （57） ＜平成32年9月＞ 医学士	小児科学
兼任	講師	兵頭　政光 （61） ＜平成32年9月＞ 医学博士	音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 （34） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	音声・言語系医学※
兼任	講師	世木　秀明 （64） ＜平成32年9月＞ 工学修士	音響学（聴覚心理学を含む）
兼任	講師	竹下　誠一 （65） ＜平成32年9月＞ 法学士	情報メディア学入門

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤　広明 （36） **＜令和2年9月＞** 学士（医学）	聴覚系医学※
兼任	**講師**	**奥谷　文乃** **（41）** **＜令和2年9月＞** **博士（医学）**	**聴覚系医学※**
兼任	**講師**	**公文　泉子** **（41）** **＜令和3年4月＞** **文学修士**	**言語学**
兼任	**講師**	**公文　泉子** **（41）** **＜令和2年9月＞** **文学修士**	**音声学**
兼任	講師	井上　真理子 （37） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	大倉　美知子 （59） ＜平成32年4月＞ 短期大学卒	視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論 視覚伝達デザイン論
兼任	講師	石元　篤雄 （60） ＜平成32年9月＞ 医学士	内科学
兼任	講師	小野　歩 （64） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	田中　肇 （57） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	竹中　奈奈 （42） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	内科学
兼任	講師	武市　知己 （57） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	**講師**	**三宅　典子** **（60）** **＜令和3年9月＞** **学士（医学）**	**小児科学**
兼任	講師	小倉　英郎 （75） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小谷　治子 （58） ＜平成32年9月＞ 医学士	小児科学
兼任	講師	兵頭　政光 （62） ＜平成32年9月＞ 医学博士	音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 （35） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	音声・言語系医学※
兼任	講師	世木　秀明 （65） ＜平成32年9月＞ 工学修士	音響学（聴覚心理学を含む）
兼任	講師	竹下　誠一 （66） ＜平成32年9月＞ 法学士	情報メディア学入門

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤　広明 （37） **＜令和2年9月＞** 学士（医学）	聴覚系医学※
兼任	**講師**	**奥谷　文乃** **（42）** **＜令和2年9月＞** **博士（医学）**	**聴覚系医学※**
兼任	**講師**	**公文　泉子** **（42）** **＜令和3年4月＞** **文学修士**	**言語学**
兼任	**講師**	**公文　泉子** **（42）** **＜令和2年9月＞** **文学修士**	**音声学**
兼任	講師	井上　真理子 （38） ＜平成32年4月＞ 専修学校卒	聴覚障害学 聴覚検査学 聴覚障害検査実習
兼任	講師	大倉　美知子 （60） ＜平成32年4月＞ 短期大学卒	視覚デザイン概論 カラーコミュニケーション概論 視覚伝達デザイン論
兼任	講師	石元　篤雄 （61） ＜平成32年9月＞ 医学士	内科学
兼任	講師	小野　歩 （65） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	田中　肇 （58） ＜平成32年9月＞ 医学博士	内科学
兼任	講師	竹中　奈奈 （43） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	内科学
兼任	講師	武市　知己 （58） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	**講師**	**三宅　典子** **（67）** **＜令和3年9月＞** **学士（医学）**	**小児科学**
兼任	講師	小倉　英郎 （76） ＜平成32年9月＞ 医学博士	小児科学
兼任	講師	小谷　治子 （59） ＜平成32年9月＞ 医学士	小児科学
兼任	講師	兵頭　政光 （63） ＜平成32年9月＞ 医学博士	音声・言語系医学※
兼任	講師	長尾 明日香 （36） ＜平成32年9月＞ 学士（医学）	音声・言語系医学※
兼任	講師	世木　秀明 （66） ＜平成32年9月＞ 工学修士	音響学（聴覚心理学を含む）
兼任	講師	竹下　誠一 （67） ＜平成32年9月＞ 法学士	情報メディア学入門

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹崎　久美子 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）	生命倫理※
兼任	講師	渡邉　聡子 （54） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）	生命倫理※
兼任	講師	秋山　謙三 （72） ＜平成33年4月＞ 歯学士	形成外科学 臨床歯科医学
兼任	講師	宮川　和之 （56） ＜平成33年4月＞ 学士（保健衛生学）	画像診断学
兼任	講師	渡邉　慶子 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（生活科学）	臨床栄養学
兼任	講師	田所　茂彦 （68） ＜平成33年4月＞ 薬学士	臨床薬理学
兼任	講師	柚村　誠 （65） ＜平成33年4月＞ 体育学士	救急管理実習
兼任	講師	津江　美和 （56） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習・認知心理学
兼任	講師	大崎　聡 （61） ＜平成33年4月＞ 経済学士	言語発達障害学
兼任	講師	濵崎　佳瑞子 （49） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習障害・広汎性発達障害学※
兼任	講師	藤原　百合 （71） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見　将志 （49） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	吃音学
兼任	講師	土居　奈央 （33） ＜平成33年4月＞ 学士（人間科学）	嚥下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹崎　久美子 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）	生命倫理※
兼任	講師	渡邉　聡子 （54） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）	生命倫理※
兼任	講師	秋山　謙三 （72） ＜平成33年4月＞ 歯学士	形成外科学 臨床歯科医学
兼任	講師	宮川　和之 （56） ＜平成33年4月＞ 学士（保健衛生学）	画像診断学
兼任	講師	渡邉　慶子 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（生活科学）	臨床栄養学
兼任	講師	田所　茂彦 （68） ＜平成33年4月＞ 薬学士	臨床薬理学
兼任	講師	柚村　誠 （65） ＜平成33年4月＞ 体育学士	救急管理実習
兼任	講師	津江　美和 （56） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習・認知心理学
兼任	講師	大崎　聡 （61） ＜平成33年4月＞ 経済学士	言語発達障害学
兼任	講師	濵崎　佳瑞子 （49） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習障害・広汎性発達障害学※
兼任	講師	藤原　百合 （71） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見　将志 （49） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	吃音学
兼任	講師	土居　奈央 （33） ＜平成33年4月＞ 学士（人間科学）	嚥下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹崎　久美子 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）	生命倫理※
兼任	講師	渡邉　聡子 （54） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）	生命倫理※
兼任	講師	秋山　謙三 （72） ＜平成33年4月＞ 歯学士	形成外科学 臨床歯科医学
兼任	**講師**	**桑田　尚亨** **（63）** **＜令和3年4月＞** **修士（福学）**	**画像診断学**
兼任	講師	渡邉　慶子 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（生活科学）	臨床栄養学
兼任	講師	田所　茂彦 （68） ＜平成33年4月＞ 薬学士	臨床薬理学
兼任	講師	柚村　誠 （65） ＜平成33年4月＞ 体育学士	救急管理実習
兼任	講師	津江　美和 （56） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習・認知心理学
兼任	講師	大崎　聡 （61） ＜平成33年4月＞ 経済学士	言語発達障害学
兼任	講師	濵崎　佳瑞子 （49） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習障害・広汎性発達障害学※
兼任	講師	藤原　百合 （71） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見　将志 （49） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	吃音学
兼任	講師	土居　奈央 （33） ＜平成33年4月＞ 学士（人間科学）	嚥下障害学実習※ 発声発語・嚥下障害評価実習※ 言語聴覚療法技術実習Ⅳ （発声発語・嚥下障害）※

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹崎　久美子 （60） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）	生命倫理※
兼任	講師	渡邉　聡子 （54） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）	生命倫理※
兼任	講師	秋山　謙三 （72） ＜平成33年4月＞ 歯学士	形成外科学 臨床歯科医学
兼任	**講師**	**桑田　尚亨** **（63）** **＜令和3年4月＞** **修士（福学）**	**画像診断学**
兼任	講師	渡邉　慶子 （65） ＜平成33年4月＞ 博士（生活科学）	臨床栄養学
兼任	**講師**	**濵口　英寛** **（43）** **＜令和3年4月＞** **学士（農学）**	**臨床薬理学**
兼任	講師	津江　美和 （56） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習・認知心理学
兼任	講師	大崎　聡 （61） ＜平成33年4月＞ 経済学士	言語発達障害学
兼任	講師	濵崎　佳瑞子 （49） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習障害・広汎性発達障害学※
兼任	講師	藤原　百合 （71） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見　将志 （49） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	吃音学**※**
兼任	**講師**	**上松　智申** **（33）** **＜令和3年4月＞** **本学学校本**	**吃音学※** **嚥下障害学実習※** **発声発語・嚥下障害評価実習※** **言語聴覚療法技術実習Ⅳ** **（発声発語・嚥下障害）※**

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹崎　久美子 （61） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）	生命倫理※
兼任	講師	渡邉　聡子 （55） ＜平成33年4月＞ 博士（看護学）	生命倫理※
兼任	講師	秋山　謙三 （73） ＜平成33年4月＞ 歯学士	形成外科学 臨床歯科医学
兼任	**講師**	**伊東　賢二** **（60）** **＜令和4年4月＞** **修士（医科学）**	**画像診断学**
兼任	講師	渡邉　慶子 （66） ＜平成33年4月＞ 博士（生活科学）	臨床栄養学
兼任	**講師**	**小野川　雅美** **（52）** **＜令和4年4月＞** **博士（医学）**	**臨床薬理学**
兼任	**講師**	**吉岡　邦康** **（54）** **＜令和3年4月＞** **学士（文学）**	**救急管理実習**
兼任	講師	津江　美和 （57） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習・認知心理学
兼任	講師	大崎　聡 （62） ＜平成33年4月＞ 経済学士	言語発達障害学
兼任	講師	濵崎　佳瑞子 （50） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）	学習障害・広汎性発達障害学※
兼任	講師	藤原　百合 （72） ＜平成33年4月＞ 博士（学術）	器質性構音障害学実習
兼任	講師	塩見　将志 （50） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）	吃音学**※**
兼任	**講師**	**上松　智申** **（34）** **＜令和3年4月＞** **修士（医科学）**	**吃音学※** **嚥下障害学実習※** **発声発語・嚥下障害評価実習※** **言語聴覚療法技術実習Ⅳ** **（発声発語・嚥下障害）※**

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	益田　慎 （57） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）
		嚥下障害学実習※
兼任	講師	秋朝　幸二 （56） ＜平成33年4月＞ 短期大学卒
		補聴器・人工内耳学
兼任	講師	森本　忠彦 （81） ＜平成33年4月＞ 教育学士
		広告論
兼任	講師	柳本　伸二 （63） ＜平成33年4月＞ 商学士
		企業広報活動論
兼任	講師	吉岡　一洋 （46） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）
		広告デザイン論
兼任	講師	谷本　愛裕美 （38） ＜平成33年9月＞ 学士（人間科学）
		重複障害学※
兼任	講師	北川　純平 （41） ＜平成33年9月＞ 学士（社会福祉学）
		運動障害性構音障害学実習
兼任	講師	井上　浩明 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※
兼任	講師	川上　理子 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	森下　幸子 （60） ＜平成33年9月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	鶴見　陸正 （73） ＜平成34年4月＞ 博士（医学）
		チーム連携論
兼任	講師	西田　香利 （61） ＜平成34年4月＞ 短期大学卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語） ※
兼任	講師	先川　信一郎 （72） ＜平成34年9月＞ 学士（工学）
		国際関係論

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	益田　慎 （57） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）
		嚥下障害学実習※
兼任	講師	秋朝　幸二 （56） ＜平成33年4月＞ 短期大学卒
		補聴器・人工内耳学
兼任	講師	森本　忠彦 （81） ＜平成33年4月＞ 教育学士
		広告論
兼任	講師	柳本　伸二 （63） ＜平成33年4月＞ 商学士
		企業広報活動論
兼任	講師	吉岡　一洋 （46） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）
		広告デザイン論
兼任	講師	谷本　愛裕美 （38） ＜平成33年9月＞ 学士（人間科学）
		重複障害学※
兼任	講師	北川　純平 （41） ＜平成33年9月＞ 学士（社会福祉学）
		運動障害性構音障害学実習
兼任	講師	井上　浩明 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※
兼任	講師	川上　理子 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	森下　幸子 （60） ＜平成33年9月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	鶴見　陸正 （73） ＜平成34年4月＞ 博士（医学）
		チーム連携論
兼任	講師	西田　香利 （61） ＜平成34年4月＞ 短期大学卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語） ※
兼任	講師	先川　信一郎 （72） ＜平成34年9月＞ 学士（工学）
		国際関係論

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	益田　慎 （57） ＜平成33年4月＞ 博士（医学）
		嚥下障害学実習※
兼任	講師	秋朝　幸二 （56） ＜平成33年4月＞ 短期大学卒
		補聴器・人工内耳学
兼任	講師	森本　忠彦 （81） ＜平成33年4月＞ 教育学士
		広告論
兼任	講師	柳本　伸二 （63） ＜平成33年4月＞ 商学士
		企業広報活動論
兼任	講師	吉岡　一洋 （46） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）
		広告デザイン論
兼任	講師	谷本　愛裕美 （38） ＜平成33年9月＞ 学士（人間科学）
		重複障害学※
兼任	講師	北川　純平 （41） ＜平成33年9月＞ 学士（社会福祉学）
		運動障害性構音障害学実習
兼任	講師	井上　浩明 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※
兼任	講師	川上　理子 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	森下　幸子 （60） ＜平成33年9月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	鶴見　陸正 （73） ＜平成34年4月＞ 博士（医学）
		チーム連携論
兼任	講師	西田　香利 （61） ＜平成34年4月＞ 短期大学卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語） ※
兼任	講師	先川　信一郎 （72） ＜平成34年9月＞ 学士（工学）
		国際関係論

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	益田　慎 （57） ＜**令和3年9月**＞ 博士（医学）
		嚥下障害学実習※
兼任	講師	秋朝　幸二 （56） ＜平成33年4月＞ 短期大学卒
		補聴器・人工内耳学
兼任	**講師**	**田中　新生 （43） ＜令和3年4月＞ 学士（総合学）**
		広告論
兼任	**講師**	**竹下　誠一 （66） ＜令和3年4月＞ 法学士**
		企業広報活動論
兼任	講師	吉岡　一洋 （46） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）
		広告デザイン論
兼任	講師	谷本　愛裕美 （38） ＜平成33年9月＞ 学士（人間科学）
		重複障害学※
兼任	講師	北川　純平 （41） ＜平成33年9月＞ 学士（社会福祉学）
		運動障害性構音障害学実習
兼任	講師	井上　浩明 （45） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※
兼任	講師	川上　理子 （54） ＜平成33年9月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	森下　幸子 （60） ＜平成33年9月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	鶴見　陸正 （73） ＜平成34年4月＞ 博士（医学）
		チーム連携論
兼任	講師	西田　香利 （61） ＜平成34年4月＞ 短期大学卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語） ※
兼任	講師	先川　信一郎 （72） ＜平成34年9月＞ 学士（工学）
		国際関係論

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	益田　慎 （58） ＜**令和3年9月**＞ 博士（医学）
		嚥下障害学実習※
兼任	講師	秋朝　幸二 （57） ＜平成33年4月＞ 短期大学卒
		補聴器・人工内耳学
兼任	**講師**	**田中　新生 （44） ＜令和3年4月＞ 学士（総合学）**
		広告論
兼任	**講師**	**竹下　誠一 （67） ＜令和3年4月＞ 法学士**
		企業広報活動論
兼任	講師	吉岡　一洋 （47） ＜平成33年4月＞ 修士（教育学）
		広告デザイン論
兼任	講師	谷本　愛裕美 （39） ＜平成33年9月＞ 学士（人間科学）
		重複障害学※
兼任	講師	北川　純平 （42） ＜平成33年9月＞ 学士（社会福祉学）
		運動障害性構音障害学実習
兼任	講師	井上　浩明 （46） ＜平成33年9月＞ 専修学校卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅱ （高次脳機能障害）※
兼任	講師	川上　理子 （55） ＜平成33年9月＞ 博士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	講師	森下　幸子 （61） ＜平成33年9月＞ 修士（看護学）
		地域包括ケア論※
兼任	**講師**	**川村　博文 （65） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）**
		チーム連携論
兼任	講師	西田　香利 （61） ＜平成34年4月＞ 短期大学卒
		言語聴覚療法技術実習Ⅲ（失語） ※
兼任	講師	先川　信一郎 （72） ＜平成34年9月＞ 学士（工学）
		国際関係論

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。</u>**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**<u>それぞれの年度の５月１日時点の満年齢</u>**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（1）ー②担当教員表に関する変更内容　＜　言語聴覚学専攻　＞

【令和元年度】

・兼任講師が都合により辞退したため、「教育学」の兼任講師を新たに配置した。

【令和２年度】

・大倉教授が病気治療中にて、主治医より勤務負担の軽減を指示されており、負担軽減が必要な状況の為「健康科学」について担当科目から削除した。
・「言語学」「音声学」を担当する兼任講師が都合により「音声学」を辞退したため、新たに兼任講師を配置した。
・兼任講師が都合により辞退したため及び開講回数3回の兼任講師の負担の軽減とより質の高い教育効果を得るため「臨床神経学」の兼任講師2名を新たに配置した。
・聴覚系医学の基礎的な知識である聴器の構造と機能（生理）について、専門の医師による講義行うことが教育効果が高いので、兼任講師1名を新たに配置した。

【令和３年度】

・「臨床心理学」「言語学」「小児科学」「企業広報活動論」「嚥下障害学実習」「発声発語・嚥下障害評価実習」「言語聴覚療法技術実習Ⅳ（発声発語・嚥下障害）」「広告論」において、兼任講師の都合により辞退したため、新たに兼任講師を配置した。
・「吃音学」について、当初兼任講師1名での開講でありましたが本務の都合によりすべての授業を実施することができないため、新たに兼任講師を1名配置しオムニバス方式で授業を実施する。
・「臨床神経学」について、兼任講師の都合により1名辞退の申し出があり、担当する兼任講師が3名から2名となった。

【令和４年度】

・「心理学」について兼任講師2名で授業を行っていたが、1名辞退の為兼任講師1名で授業を実施した。
・「医学英語」「チーム連携論」について、兼任講師が辞退したため新たに兼任講師を配置した。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

（2） 専任教員数等

（2）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
26 名	13 名	11 名	6 名

（注）・ 専門職大学設置基準、専門職短期大学設置基準により算出される専任教員数を記入してください。

（2）－② 専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
13	9	8	6	36	0	13	10	8	6	37	0
(10)	(8)	(8)	(4)	(30)	(0)						
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数			専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
24	5	7	0			24	6	7	0		
(20)	(3)	(7)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
13	10	8	6	37	0	13	10	8	6	37	0
[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]
専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数			専任教員数（専）	専任教員数（実専）	専任教員数（実（研））	みなし専任教員数		
24	6	7	0			24	6	7	0		
[0]	[1]	[0]	[0]			[0]	[1]	[0]	[0]		

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「実専」は実務家教員、「実（研）」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
なお、みなし専任教員（実み）がいる場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
・「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

（2）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	9 名	13 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（2）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{37}{36} = 102.77\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（2）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{9}{37} = 24.32\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（2）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し					

合計（D）			後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0 人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し					

合計（F）			後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0 人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③ 上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（３）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③\text{合計}(D)+(F)}{(2)-②\text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{36} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤ 令和３年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し				

合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
（30年10月）	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の中心として広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究するという大学の目的、さらに専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開するという専門職大学の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。		＜全般的な設置計画の検討＞ ・設置計画を確実に履行できるように、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めている。 ＜教職員の能力向上＞ ・四国地区の35の国公私立大学・短期大学・専門職大学（四国地区に一部の学部等を置く大学を含む）及び高等専門学校によって構成される「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ＳＰＯＤ）」に加盟した。（令和元年度） （別添資料１－１、２）		
		遵守事項	＜委員会・諸規程の整備＞ ・専門職大学の目的に照らし、充実した教育研究活動ならびにその水準を一層向上させるため、各種委員会の設置ならびに諸規程の整備を行った。 （令和元年度） （別添資料１－３）	履行済	「該当なし」
			＜専任教員の増員＞ ・学科長を、他大学で学科長経験のある本学専任教員である教授に改めたため、当該教員の就任予定年月を平成32年4月1日から1年前倒し平成31年4月1日としたため、開学時の専任教員数を29名から30名に変更した。 （令和元年度） （別添資料１－４） ＜事前の学修の整備＞ ・各専攻の臨床実習Ⅰにおいて、「理学療法セミナーⅡ（PBL）」、「臨床作業療法技法Ⅰ（PBL）」、「言語聴覚障害学総論Ⅰ」の復習をしておくことを追加した。 （別添資料１－５、６、７） 各専攻の臨床実習Ⅱにおいて、「臨床理学療法技法演習（PBL）」、「臨床作業療法技法Ⅱ（PBL）」、「言語聴覚療法技術演習Ⅰ（言語発達障害）」「言語聴覚療法技術演習Ⅱ（高次脳機能障害）」の科目の復習をしておくことを追加した。 （別添資料１－８、９、１０）		
		遵守事項	臨床場面を想定した技能実習を行う科目の復習を、事前の予習内容とした。 （令和元年度） ＜大学と専門学校の教室使用計画＞ ・学生の職業に対する興味・関心を高めるため、大学と専門学校の実習室の使用計画を変更し、入学時より全実習室を使用できるように変更した。大学と専門学校との実習室使用が重複しないよう時間割を計画調整した。（令和元年度） （別添資料１－１１、１２）	履行済	「該当なし」

認　可　時 （30年10月）	・作業療法学専攻における「福祉」を冠する展開科目については、科目の概要及び科目区分を踏まえた科目名称に改めること。	遵守事項	・下記の通り科目名称を改めた。 「福祉工学基礎論」は「ロボット技術活用論」に変更。「地域福祉論」は「地域生活とサービス」とした。「精神障害福祉論」は「精神障害者の援助とネットワーク」とした。「障害者福祉論」は「障害者の社会環境と制度」とした。 （令和元年度）	履行済	「該当なし」
認　可　時 （30年10月）	・「マンガ基礎実習」については成績評価方法が課題提出のみとなっているため、授業の到達目標を適切に確認する評価方法を設定すること。	遵守事項	・到達目標を確認するものとして、下記の評価方法を設定した。 ①授業において作成する2作品から、実技面として、構成の理解度15%、描き方の理解度15%、完成度20%の計50%を評価する。 ②15回目に実施する「ストーリーマンガを用いたコミュニケーション」を中心に、プレゼンテーションとして50%を評価する。 （令和元年度） （別添資料２）	履行済	「該当なし」
認　可　時 （30年10月）	・臨床実習の成績評価について、筆記試験に加え、口頭試問も踏まえた実技試験を実施すること。また、実習施設の指導者の評価を参考とするのは差支えないが、単位認定する際の成績評価は大学として行う必要があるため、シラバスの成績評価方法は適切に改めること。	遵守事項	・「臨床実習Ⅱ」における成績評価項目である「臨床実習Ⅱ判定試験」の内容を、「筆記ならびに実技・口頭試験」に改めた。 （令和元年度） （別添資料３－１、２、３） ・臨床実習の成績評価については、臨床実習指導者による成績評価を参考程度とし、大学における単位認定は、臨床実習委員会において成績判定に必要な項目について検討し、総合的に判断することに改めた。 （令和元年度） （別添資料３－４、５、６、７、８、９）	履行済	「該当なし」
認　可　時 （30年10月）	・各専攻の必修科目である臨床実習Ⅲを履修するための要件としている「客観的臨床能力試験（OSCE）」の位置付けや内容については、履修要項や学生便覧等で明確に記載して履修指導を行うこと。	遵守事項	・臨床実習委員会において、「臨床実習の手引き」ならびに「学生用マニュアル」を検討し作成するとともに、「客観的臨床能力試験（OSCE）」の実施計画を作成、学生へ周知するための資料も作成する。これらの作成した資料を学生に配布し、履修指導を行うこととする。 （令和元年度）（別添資料４-１、２、３） ・「臨床実習の手引き」を作成した。（令和元年度） （別添資料４-１、２、３） ・「臨床実習の手引き」を用いて、2年次前期に「客観的臨床能力試験（OSCE）」について説明した。（令和2年度） ・「客観的臨床能力試験（OSCE）」に関する「学生用マニュアル」を作成した。（令和２年度） （別添資料４-４、５、６） ・このマニュアルを用いて、３年次４月に、試験までの期間の自己学習と試験準備、試験内容について説明した。（令和３年度）	履行済	「該当なし」

認　可　時 （30年10月）	・展開科目について、専任教員の配置の充実を検討しつつ、人材育成の目的とする職業分野において、創造的な役割を果たすために必要な能力を育成するという展開科目の目的を踏まえ、更なる充実に努めること。	遵守事項	・学生が展開科目と専門領域の科目との関連性を理解できるよう、展開科目に配置する専任教員の他に、展開科目群に関してマネジメントを行う専任教員を配置した。展開科目に配置する専任教員の教授2名と、各専攻長および学科として統括するために学科長を加えた4名により、開学時より教育課程における展開科目の運用に関するマネジメントを行うものとした。 （令和元年度）	履行済	「該当なし」
認　可　時 （30年10月）	・教員の補充を必要とされた１授業科目については、科目開講時までに専任教員を充足すること。	遵守事項	・補充する専任教員として、准教授1名を充てることとした。 （令和元年度） ・専任教員の補充が必要とされた授業科目は、「運動器障害理学療法実習」（必修、1単位、実習、3年・前期）である。補充する専任教員には、令和2年9月に専任教員採用等設置計画変更書（ＡＣ教員審査）を受審し、就任していただく。 （令和2年度） ・令和2年度専任教員採用等設置計画変更書（ＡＣ教員審査）において、令和2年11月に「運動器障害理学療法実習」おける授業科目「可」の判定を受け、令和3年4月より科目担当教員として就任した。（令和3年度）	履行済	「該当なし」
認　可　時 （30年10月）	・学科長や一部の専攻長に講師を充てているが、学科長等は他の教授等を指導して教育研究を運営するマネジメントの要となるため、教育研究に十分な経験を積んだ適切な職位の専任教員に改めること。	遵守事項	・学科長は、学科長選考規程第３条に基づき、本学専任教員である教授に改めた。（令和元年度） （別添資料５－１） ・作業療法学専攻長は、専攻長選考規程第３条に基づき、本学専任教員である准教授に改めた。 （令和元年度） （別添資料５－２）	履行済	「該当なし」
認　可　時 （30年10月）	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	遵守事項	・完成年度時に、定年を延長して採用する専任教員は12名である。定年規程の一部を改正し、73歳を超えて延長はできないものとする予定であり、完成年度末に退職する専任教員は教授８名で、継続延長は教授２名、准教授１名、助教１名である。専任教員の後任については、専任教員数36名体制を維持することを基本方針とし、学科全体と各専攻の教員構成のバランス、科目適合性や年齢構成も考慮して適切に補充する。 ・学内教員からの内部昇格、公募による中堅及び若手教員を採用する等バランスのとれた年齢構成の教員研究組織となるように努める。	履行済	「該当なし」

		遵守事項	・下位の職位の若手教員に対して、個人研究費並びに共同研究費を支給、研究時間を確保、研究成果を学術誌や紀要に発表するよう奨励する。 ・学位未取得の教員に対しては、大学院進学を積極的に支援する。 （令和元年度） ・開学時（平成31年）のリハビリテーション学科の教員組織は、30名の専任教員で、教授10名（平均年齢68.1歳）、准教授8名（平均年齢50.4歳）、講師8名（平均年齢48.5歳）、助教4名（平均年齢47.5歳）で構成する。完成年度（令和4年）には36名の専任教員となる。教員組織は、教授13名（平均年齢70.1歳）、准教授9名（平均年齢53.2歳）、講師8名（平均年齢51.5歳）、助教6名（平均年齢48.0歳）である。年齢構成では、40歳代が12名（33.4%）、50歳代が7名（19.4%）、60歳～64歳までが5名（13.9%）、65歳～69歳が4名（11.1%）、70歳以上が8名（22.2%）である。（別添資料６－１）実務家教員は12名含まれ、基準実務家教員数11名（4割以上）は超えている。実務家教員12名のうち7名（2分の1以上）は、研究能力を併せ有する実（研）教員である。 （別添資料６－２） ・高知リハビリテーション専門職大学の定年は、学校法人高知学園の「定年に関する規程」（別添資料６－３）により65歳（第２条第１項）であるが、高知学園以外を定年または近接した年齢で退職し採用された教員は、特に必要があると認めた場合には、68歳（第２条第２項）としている。また、これらの専任教員については必要があると認める場合には、さらに定年を5年間延長することができるものとしている（第２条第３項）。なお、大学設置時に任用される専任教員については、大学の完成年度の末日（令和5年3月31日）まで定年延長することができる（第２条第４項）。リハビリテーション学科の専任教員36名のうち、開学年度より68歳以上の専任教員は7名（学長含めすべて教授）、完成年度までに68歳を超える教員は1名（教授1名）、65歳を超える教員は3名（教授1名、准教授1名、助教1名）となっているが、本規程第２条第２項及び第４項により完成年度まで雇用を継続することができるものとしている。 （別添資料６－４）	履行済	「該当なし」

		遵守事項	・上記に鑑み、本学の将来構想に基づく高年齢教員退職後の教員補充計画について、（別添資料６－５）の通り集約を行った。具体的は以下の通りである。 ・退職年齢を延長しているリハビリテーション学科の専任教員12名のうち、完成年度末（令和5年3月31日）に退職する専任教員は、教授8名（理学療法学専攻3名、作業療法学専攻3名、言語聴覚学専攻2名）で、継続延長は教授2名（理学療法学専攻1名、言語聴覚学専攻1名）、准教授1名（理学療法学専攻）、助教1名（作業療法学専攻）の4名である。退職する高年齢教員の後任については、専任教員数36名体制を維持することを基本方針とし、学科全体と各専攻の教員構成のバランス、科目適合性や年齢構成も考慮して適切に補充する。定年規程の趣旨を踏まえつつ、学内教員からの内部昇格、非常勤講師の活用、公募による教員採用等バランスのとれた年齢構成の教員研究組織となるよう適切な運用に努める。専任教員の昇格や採用にあたっては、本学の「教員資格基準」及び「教員選考基準」等に従い、上級職への昇格及び登用、採用を行う予定である。 ・実務家教員については、基準実務家教員数（11名以上）を遵守する人員を配置する。実務家教員のキャリアを維持し、常に最新の実務感覚が更新できるよう提携先の病院や施設等において定期的に実務に従事するよう努める。 ・研究能力を有する新たな若手教員の育成や発掘、研究業績豊富な教授による准教授、講師、助教への教育研究指導や支援をすることで、教育の質を担保した教員組織編成となるよう努める。専門分野に留まらず他分野の教授等とも連携した教育研究活動を行い、後継者の育成を行っていく。 ・研究能力向上のために、科研費申請を奨励し、個人での申請に加え、若手教員を主体とする共同研究等積極的な研究活動啓発にも取り組む。研究体制については、本学では個人研究費並びに共同研究費を支給する。倫理委員会における倫理審査体制を整え、成果は学術誌や紀要等に発表するよう奨励する。	履行済	「該当なし」
		遵守事項	また、教員の研究能力を高め、研究業績を蓄積するために学内研究会を開催し、研究水準の維持・向上にも努める。教員が学外の競争的資金を獲得できるよう研究計画作成、申請書作成、倫理審査等に関する相談体制の整備、学位未取得の教員に対しては学修・研究時間の確保に努め、大学院進学を積極的に支援する等教育研究環境の充実も図る。 ・授業改善を目的とした本学のファカルティ・ディベロップメント（ＦＤ）活動において、中堅・若手の教員育成を図ることで完成年度以降の教育水準を維持することに努める。さらに、経験のある高年齢教員が授業を担当する際に、関連分野の若手教員が授業補助に当たり、将来、当該授業科目の担当を継承できるようＦＤの機会ともしていく。 （令和2年度）	履行済	「該当なし」

認　可　時 （30年10月）	・本学は各専任教員の研究室が個別に整備される計画であるが、今後も教員が研究するための実験研究室なども含めた研究環境の充実に努めることが望ましい。	助言事項	・教員の研究環境の充実を図るために、教員が研究するための実験研究室の整備に努める。研究上の利便性も考慮して、学内各専攻に分散して配置されている各種機械・器具を集中配置や、必要に応じて新たな機械・器具等を揃えていくことも検討する。 （令和元年度）	履行中	・教育水準の低下を招かないよう、実習室1室の使用用途を再検討し、教員用実験研究室として再整備することを計画している。 （令和元年度） ・完成年度までに教員が研究するための実験研究室を整備する予定である。本学では、教育研究活動に際し、3つの専攻の専任教員が専門分野の枠を超えて組織横断的な協働体制で取り組むことを基本方針としている。 3専攻に共通する研究領域は、「リハビリテーション科学分野」である。すなわち、当該実験研究室は、障害者の障害構造解析と機能評価、リハビリテーション手法の開発と成果評価の実証研究などを行うことを目的に動作解析に関連した設備・機器を主体として構成することを検討している。また、利用者の研究上の利便性も考慮して、各専攻に分散して配置されている各種機械・器具を集中配置する。また、必要に応じて新たな機械・器具等を揃えていくことも検討している。 （令和2年度） ・令和3年度中に教員の研究環境の充実を図るために、教員が研究するための実験研究室を整備する。計画としては、本館２階の言語心理検査室（90.52㎡）を教員用実験研究室として再整備する。それに伴い、言語心理検査室で行う各種評価手技等の授業については、教育水準の低下を招かないよう本館５階にある、面積がより広い教育環境のよい観察室１（220.20㎡）にて実施することを検討している。 （令和3年度） ・教員の研究環境の充実を図るために、本館２階の言語心理検査室（90.52㎡）を教員用実験研究室（別添資料７－１）として再整備した。それに伴い、言語心理検査室で行う各種評価手技等の授業については、教育水準の低下を招かないよう本館５階にある、面積がより広い教育環境のよい観察室１（220.20㎡）にて実施することとした。（別添資料７－２） また、学内各専攻に分散して配置されている各種機械や器具を当該研究室に集中配置した。今後、必要に応じて新たな機械・器具等を揃えていくことにも努める。 （令和4年度）

認　可　時 （30年10月）	・学生が教育研究を行なう上で外国の文献に触れる機会を担保するため、電子ジャーナルを充実することが望ましい。	助言事項	・インターネットで配信される外国文献が検索・閲覧できるデータベース「ProQuest Nursing & Allied Health Database+MEDLINE」を契約した。利用可能な電子ジャーナルは医学・看護分野で約1,400誌で、リハビリテーション関係は、理学療法学関連が30誌、作業療法学関連が29誌、言語聴覚学関連28誌、合計87誌収録されている。（令和元年度） （別添資料８）	履行済	「該当なし」
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和元年）	「該当なし」				
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和２年）	「該当なし」				
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和３年）	「該当なし」				

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜リハビリテーション学部　リハビリテーション学科＞

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
1.「学則」について	以下の理由等により、学則を令和2年4月1日に改正した。 （１）理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の一部改正（施行日：令和2年4月1日）に伴い、学則の一部を改正した。 （別添資料９－１） （改正内容） ・履修方法及び卒業要件と授業科目について、一部見直しを行った。 ・卒業要件単位数を変更した。 （２）令和２年度より「大学入学共通テスト」を利用した入試区分を実施するため、学則の一部を改正した。 （別添資料９－２） （改正内容） ・別表２に大学入学共通テストの成績利用による志願者に係る入学検定料を定めた。
2.「シラバス（授業計画）」について	以下の理由により、設置認可申請時及び付帯事項による改正時の「シラバス（授業計画）」を変更した。 【理由】 専任教員　濱田 和範（准教授）の健康上の問題により今後授業実施に支障がでることが危惧されている。現在、当該教員は「後縦靭帯骨化症（分節型）」により頸椎～胸椎～腰椎の広範囲にわたり脊柱管が狭窄され、その結果、脊髄が圧迫され上下肢の運動や感覚に麻痺をきたしている。令和元年4月には頸椎固定の手術も受けているが、その後も段階的に症状は増悪してきており、物を持つことや歩行などの日常生活動作にも支障をきたしている。今後の授業において、学生に不利益をきたさず、教育の質を担保するために令和3年6月のAC教員審査を受けた結果、令和3年9月（後期）より、専任教員　岩﨑 洋（准教授）を採用し授業科目を担当させることとなった。 【変更した科目】 ・「義肢装具学演習」　（別添資料１０－１－①、②） ・「脊髄障害理学療法実習」　（別添資料１０－２－①、②） ・「理学療法臨床実習Ⅰ」（別添資料１０－３－①、②） ・「理学療法臨床実習Ⅱ」（別添資料１０－４－①、②） ・「理学療法臨床実習Ⅲ」（別添資料１０－５－①、②） ・「義肢・装具作業療法実習」（別添資料１０－６－①、②） ・「理学療法地域支援実習」　（別添資料１０－７－①、②） ・「応用理学療法学演習」（別添資料１０－８－①、②）
3.「施設・設備の整備状況，経費」について	以下の理由等により、施設（一部）の用途を変更した。 准教授1名（令和3年度第2回AC教員審査にて「適格」の認定）の追加採用（R3後期開始時）に伴い、研究室を整備する必要が生じたため、本館5階の1室（ゼミ室A）を当該研究室に充てた。 （別添資料１１） 設置計画の際、「ゼミ室（演習室）」として計画していたが、他のゼミ室（11室あり）やコモンルーム、図書館、食堂等にて対応が可能であり、教育水準の低下にはつながらない。

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

＜令和元年度＞

ＦＤ委員会、ＳＤ委員会設置（平成31年4月）

＜令和２年度＞

年度当初よりＦＤ委員会規程（別添資料１２−１）及びＳＤ委員会規程（別添資料１２−２）に基づき各委員会を組織した。

ＦＤ委員会は、リハビリテーション学科長を委員長とし、委員は理学療法学専攻教員2名、作業療法学専攻教員1名、言語聴覚学専攻教員1名、事務職員2名で構成されている。ＳＤ委員会は、事務局長を委員長とし、委員は、事務職員6名で構成されている。

＜令和３年度＞

ＦＤ委員会規程（別添資料１２−１）及びＳＤ委員会規程（別添資料１２−２）に基づき各委員会を組織（別添資料１２−２）した。新たに図書館長を委員長とし、理学療法学専攻教員2名、作業療法学専攻教員1名、言語聴覚学専攻教員1名、事務職員2名で構成されている。ＳＤ委員会は、事務局長を委員長とし、委員は、事務職員6名で構成されている。

ｂ 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

＜令和元年度＞

令和元年度開催は、ＦＤ及びＳＤ委員会について、令和元年7月に開催している。

＜令和２年度＞

委員会は、必要に応じて委員長が委員を招集し開催している。令和2年度は、ＦＤ委員会2回、ＳＤ委員会2回、開催した。

＜令和３年度＞

委員会は、必要に応じて委員長が委員を招集し開催している。令和3年度は、ＦＤ委員会3回、ＳＤ委員会2回、開催した。

ｃ 委員会の審議事項等

＜令和元年度＞

1. 教育の質的向上に向けた諸施策の企画・立案及び支援
2. 職員の研修等の企画・実施及び支援
3. 職員の能力開発の推進に向けた諸施策の企画・実施及び支援
4. 授業の改善に関すること
5. 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD)主催プログラムの参加及び支援

＜令和２年度＞

1. ＦＤ・ＳＤ活動に関する情報収集と提供
2. 教育の質的向上に向けた企画・立案及び支援
3. 職員の研修等の企画・実施及び支援
4. 職員の能力開発の推進に向けた企画・立案及び支援
5. 授業の改善
6. ＦＤ・ＳＤの啓発活動
7. その他、ＦＤ・ＳＤ推進活動

＜令和３年度＞

1. ＦＤ・ＳＤ活動に関する情報収集と提供
2. 教育の質的向上に向けた企画・立案及び支援
3. 職員の研修等の企画・実施及び支援
4. 職員の能力開発の推進に向けた企画・立案及び支援
5. 授業の改善、遠隔授業への対応
6. ＦＤ・ＳＤの啓発活動
7. その他、ＦＤ・ＳＤ推進活動

② 実施状況

a 実施内容

＜令和元年度＞
・ＦＤ委員会　教員研修（開学前　平成30年12月）
・ＳＤ委員会　ＳＤ研修（新任職員研修）（令和元年5月）
　※今後の教職員研修会参加については、ＦＤ委員会及びＳＤ委員会で検討していく。

＜令和２年度＞
・「科学研究費の応募方法」に関する講習会
・「シラバスの書き方」に関する講習会
・ 研究発表会
・ 研究倫理教育「APRIN eラーニングプログラム」
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＦＤ研修会
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＳＤ研修会
・「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設職員等講習会」
・ 学生による授業評価アンケート

＜令和３年度＞
・「科学研究費の応募方法」に関する講習会
・ 教員研究発表会
・ 教員による研究授業
・ 遠隔授業のための研修会の実施
・ 研究倫理教育の推奨、講習会の開催
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＦＤ研修会
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＳＤ研修会
・ 高知学園大学・高知学園短期大学・高知リハビリテーション専門職大学での合同研修
・ 学生による授業評価アンケート

b 実施方法

＜令和元年度＞
・ 教職員研修会参加等、今後ＦＤ委員会及びＳＤ委員会で検討していく。
　（特にSPOD主催のプログラムには積極的に参加予定である）

＜令和２年度＞
・「科学研究費の応募方法」に関する講習会は、本学教員が講師となり2回実施
・「シラバスの書き方」に関する講習会は、本学教員が講師となり実施
・ 本学の教員が講師となり「研究発表会」を実施
・ 研究倫理教育「APRIN eラーニングプログラム」に関する説明会を実施後、全教職員を登録し、原則、全員、Web講義を受講
・ 四国内の大学等で開催された「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＦＤ研修会を受講
・ 四国内の大学等で開催された「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＳＤ研修会を受講
・ 大阪で開催された「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設職員等講習会」の受講
・ 学生による授業評価アンケートを前期と後期で年2回実施

＜令和３年度＞
・「科学研究費の応募方法」に関する講習会は、本学教員が講師となり1回実施
・ 本学の教員が講師となり「教員研究発表会」を実施
・ 本学の教員が講師となり「研究授業」を３回実施
・ 遠隔授業のための研修会の実施、個別少人数での実地練習
・ 研究倫理講習会（高知大学教授による講習会）を年2回実施
・ 四国内の大学等で開催された「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＦＤ研修会を受講
・ 四国内の大学等で開催された「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＳＤ研修会を受講
・ 学生による授業評価アンケートを前期と後期で年2回実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

＜令和元年度＞
・ ＦＤ委員会　専門分野における医療英語（平成30年12月　25名）
・ ＳＤ委員会　SD研修（新任職員研修）（令和元年5月：SPOD主催　１名）

＜令和２年度＞
・ ＦＤ委員会は、令和元年5月23日と11月19日の2回開催。
・「科学研究費の応募方法」に関する講習会は、令和元年8月13日、10月1日、10月8日に開催（延参加人数：88名）
・「シラバスの書き方」に関する講習会を令和元年12月24日に開催（参加人数：30名）
・ 研究発表会は、令和元年8月13日、10月1日、12月3日、令和2年2月18日に開催（延参加人数：124名）
・ 研究倫理教育「APRIN eラーニングプログラム」に関する説明会を全教職員に行い、全教職員を登録した。前任校で修了した教員以外、次年度就任予定者を含め53名の教職員が修了
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＦＤ研修会：延参加人数21名
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＳＤ研修会：延参加人数12名
・「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設職員等講習会」受講者2名
・ 授業評価アンケート実施：令和元年7月及び令和2年1月に実施

＜令和３年度＞
・ ＦＤ委員会は、令和3年11月24日、令和4年2月2日、令和4年3月28日の3回開催。
・ ＳＤ委員会は、令和3年12月08日、令和4年3月17日の2回開催。
・ 本学の教員が講師となり「研究授業」を、令和4年1月11日・14日・17日の３回実施。
・ 遠隔授業のための研修会の実施、個別少人数での実地練習（延75名が参加）
・「教員研究発表会」は、令和3年6月29日、8月3日、10月26日、12月23日の4回開催（延参加人数：95名）
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＦＤ研修会をzoomにて参加。（延参加件数50件）
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＳＤ研修会をzoomにて参加。（延参加件数12件）
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」講師派遣プログラム研修を令和3年8月25日に開催（延参加人数11名）
・ 授業評価アンケート実施：令和3年7月及び令和4年1月に実施

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

＜令和元年度＞
・ 現在は具体的な取り組みは行われていない。今後、研修会に参加し、教員間で情報共有を行い、授業改善に努めていく予定である。

＜令和２年度＞
・「科学研究費の応募方法」に関する講習会による科研費申請の促進
・「シラバスの書き方」に関する講習会により、シラバス記入方法の統一化
・ 研究発表を通じて、研究内容の共有及び共同研究を促進
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＦＤ・ＳＤ研修会により先進的な教育実践を啓発
・「APRIN eラーニングプログラム」を通じて全職員に対する研究倫理の啓発
・「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設職員等講習会」を受講による教育の質的向上
・ 授業評価アンケート結果の分析を行い、授業内容改善に活用

＜令和３年度＞
・ 研究発表を通じて、研究内容の共有及び共同研究を促進
・ 研究授業を通じて、授業改善の具体的方法を教員間で共有
・ zoomを用いた遠隔授業の一部実施
・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」ＦＤ・ＳＤ研修会により先進的な教育実践を啓発
・ 高知学園3校合同の研究倫理講習会により倫理教育の基礎的知識を修得
・ 授業評価アンケート結果の分析を行い、授業内容改善に活用

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

＜令和元年度＞
・ 未実施。令和元年度前期授業終了後及び後期授業終了後に、授業評価アンケートを実施する。アンケート結果について、ＦＤ委員会検討し、授業の改善に努める。

＜令和２年度＞
・令和2年7月及び令和3年1月に実施

＜令和３年度＞
・令和3年7月及び令和4年1月に実施

b　教員や学生への公開状況、方法等

＜令和元年度＞
・学科全体及び専攻ごとに集計及び検討し、年度末に報告書を作成する。教職員に報告書を配布し、また、大学のホームページにも公開する予定である。

＜令和２年度＞
・専攻ごとに集計を行い、教職員全体で内容を共有することを予定している。学生に対してはアンケート結果をグラフ化し、ホームページに掲載する予定である。

＜令和３年度＞
・専攻ごとに集計を行い、教職員全体で内容を共有している。学生に対してはアンケート結果をグラフ化し、ホームページに掲載している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

設置状況･･･産業界及び地域社会等と連携して教育課程の編成をするために、学長のもとに「教育課程連携協議会」を設置した。 教育課程連携協議会設置規程（平成31年4月1日施行）

構成員の交代①構成区分 地域 土佐市健康づくり課 課長交代の為、森本悦郎から合田聖子に変更した。（令和元年11月）（別添資料１３－１）

構成員の交代②構成区分 教職員 高知リハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 専攻長交代の為、辻 美和から足立 一に変更した。（令和3年4月）（別添資料１３－１）

構成員の交代③構成区分 地域 土佐市長寿政策課 課長交代の為、岡本 久から中平勝也に変更した。（令和3年4月）（別添資料１３－１）

構成員の交代④構成区分 教育課程連携協議会委員長 前任者体調不良の為、辻 博明から平松真奈美に変更した。（令和4年4月）（別添資料１３－２）

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

令和元年12月27日
各専攻より教育課程の説明（展開科目設定の経緯、趣旨等）を行い、質疑応答等を行った。

令和2年3月26日（開催予定日）
医療関係者の委員が多いことから新型コロナウイルス感染予防対策として対面での会議を延期した。

令和3年2月26日
医療関係者の委員が多いことから対面での会議を避け、書類送付による意見集約を行った。

令和3年3月29日
対面での意見交換会議を開催した。

令和3年9月29日
対面（リモート参加含む）での意見交換会議を開催した。

令和4年3月29日
対面（リモート参加含む）での意見交換会議を開催した。

c 委員会の審議事項等

＜令和元年度＞

１．諸規程及び、委員長と委員の選出について
２．専門職大学について
３．教育課程について
４．展開科目について
５．単位数の確認について
６．地域との連携について
７．完成年度後の構想について
基本的な事項の確認や今後の見通しを含め、議論を実施。

＜令和２年度＞

１．令和元年度報告（学籍状況・成績GPA状況・授業評価結果）
２．令和2年度報告（学籍状況・成績GPA状況・新型コロナウイルス感染症対策としての授業実施状況）
３．令和3年度教育課程について
1)指定規則の変更に伴う教育課程の変更（令和2年入学の理学療法学専攻・作業療法学専攻）
2)3年次より開講される科目
3)臨床実習実施計画
４．サテライトキャンパスを拠点とする教育について（地域課題研究Ⅱ）

＜令和３年度＞

－第１回－

１．履修モデルを基本とした「カリキュラムマップ」について
２．展開科目における問題点について
３．令和3年度 前期の報告（学籍状況・成績について）
４．臨床実習について
５．地域課題研究Ⅱの進捗状況について
６．4年次後期開講の「地域支援実習」について
７．令和3年度 後期 学事暦について

－第２回－

１．令和4年度 学事暦について
２．令和4年度 教育課程について
３．令和4年度 実習計画について
４．令和3年度 学籍状況・成績（GPA値）について
５． 地域課題研究Ⅱの進捗状況について
６．令和3年度 臨床実習について
７．サテライトキャンパスについて

d その他

該当なし

② 審議状況

＜令和元年度＞

a 審議した内容

各専攻よりの展開科目設定の経緯、趣旨等教育課程の説明に対して、質疑応答がなされた。
今後開催する教育課程連携協議会により教育課程の編成に対し審議を行っていく。

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

各区分委員からの学生との関わりについての意見を踏まえ、地域あるいは色々な関係機関の行事等を取り入れた教育への協力を要請した。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

令和元年度においては、基礎的科目が中心であったため、今後、地域等との関わりを持った授業について検討予定である。

＜令和２年度＞

a 審議した内容

１．現在はリハビリテーションのスペシャリスト養成を目的としているが、将来的にゼネラリスト養成を視野に入れた教育課程の可能性について議論を行った。
２．病院等は日常的に地域との関わりがあるので、地域課題研究Ⅱの「地域課題の掘り起こし」のフィールドとしての可能性について議論を行った。

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

地域等との関わりを持った授業の実施について、サテライトキャンパスの設置により地域の抱える課題の掘り起こし等を検討している。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

１．地域課題研究Ⅱについては、地域の声を直接聞くためには通常の時間割では実施できないので、2コマ程度を時間割外で集中的に行うことを予定している。
２．ゼネラリストの養成等については、可能性について継続的に検討を行うことになった。

＜令和３年度＞

a 審議した内容

どのような人材を育成するのか、教養、専門、展開、実習など科目群の結びつきや関連性についてカリキュラムマップ・履修モデルを元に説明がなされた。今後は科目の改訂にも取り組んでいく必要があることから、意見交換が行われた。

また、令和3年度の状況について資料に基づき報告および質疑応答がなされた。

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

リーダーの役割や積極的に関わっていこうとすることの重要性について意見が出され、4年次にリーダーシップ論が開講される等の説明があった。
また、実習や職場で接する高齢者などとのコミュニケーションを円滑に取ることができるよう、相手への理解を深めることが必要ではないかとの意見があり、治療、援助に関わる時に個人を理解し、対象者にどのようなアプローチをしていくのかということが授業の中に組み込まれていくとの説明がされた。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

地域課題研究Ⅱにおいて、地域の課題への取り組みがなされ、グループ毎にまとめられた成果を発表会にて発表することができた。

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
＜令和元年度＞
開学後1カ月が経過しており、設置認可申請書に記載した内容に基づき、大学運営を行っている。専門職大学の特性を活かし、今後も設置の趣旨・目的を遵守し大学運営を行う。

＜令和２年度＞
本学は、開学1年が経過しており、大学設置認可申請書に記載した内容に基づき、教育研究活動等の状況について、自ら点検し評価を行うために「自己点検・評価委員会」を設置している。自己点検・評価委員会において本学の目標達成状況を把握するため、令和2年3月に自己点検を行った。
その結果、使命・目的及び教育目的の反映の項目の、「中・長期的な計画への反映」について策定の必要性がある。「学修支援」においても教職員の協働による学修支援の体制の整備が急がれる。学生の学修環境の整備において、新型コロナウィルスの影響を考えた遠隔授業の方法についての検討も急がれる。「教学マネージメントの機能性」においては、学長のリーダーシップの確立・意思決定に対して、更なる教職員との意思疎通向上に努めることが肝要となる。また、分散する学務内容の再整理を行い、適切な分散と統合と責任を明確化する体制の再構築する必要性がある。
今回の点検結果から出てきた課題解決のための検討や体制整備を行ってゆくとともに、新たに改善すべき点を明らかにし、専門職大学の特性を活かしながら設置の趣旨、目的を遵守した大学運営を行ってゆきたい。

＜令和３年度＞
本学は開学4年目となり、大学設置認可申請書に記載した内容を、令和3年度に行った自己点検結果に基づき、「自己点検・評価委員会」にて自己点検を行い、前年度からの課題となっている項目について点検を行った。使命・目的及び教育目的の反映の項目の、「中・長期的な計画の反映」については、学校法人の計画に基づき令和2年度から令和6年度までの5か年計画の策定を行っている。（別添資料１４－１）

「学修支援」においては、教職員の協働による体制の役割分担を明確にするとともに、共同授業とオムニバス授業における授業提供方法を教職員に周知徹底していった。幸いにも本学では令和２年度、学生・教職員の感染者は出ていない状況ではあるが、遠隔授業の方法に関してオンライン授業が滞りなく実施できるよう、現在環境の整備を行っているところである。

「教学マネージメントの機能性」においては、大学内の組織図の改正を行い、より細かく役割分担を明確化を行い、学長指揮のもと各委員会が実施する組織に改編した。（別添資料１４－２）課題として残っているのは、教員と職員等の協働した学修支援体制の整備と、研究環境の充実として「実験研究室」の整備が急がれる。
今後も大学運営の中から改善すべき点を明らかにし、設置の趣旨・目的に則した大学運営に努めていきたい。

② 自己点検・評価報告書
ａ 公表（予定）時期
・令和2年10月末 公表
・令和3年4月末 公表
・令和4年6月末 公表予定

ｂ 公表方法
・大学ホームページ上に公表

③ 認証評価を受ける計画
（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）
・令和7年に機関別認証評価機構（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内にて検討中
・令和5年に分野別認証評価機構（未定）の評価を受けるべく、学内にて検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和３年度）
ａ 公表予定の有無 〔 (有) ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫
ｂ 公表（予定）時期 〔 (調査結果公表後１ヶ月以内) ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕
ｃ 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫
ｄ 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

新型コロナウイルス事案の特記事項　【令和4年5月報告】

≪令和３年度≫

Ⅰ　新型コロナウイルスの影響により変更を講じた臨床実習科目について

①臨床実習科目の期間変更ならびに実施場所・指導者の一部変更について

理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻2年次科目「理学療法臨床実習Ⅰ」・「作業療法臨床実習Ⅰ」・「言語聴覚療法臨床実習Ⅰ」について、計画時では令和3年9月実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、臨床実習施設側の受け入れが困難となったため、令和3年12月と令和4年3月に実施した。令和4年3月は「作業療法臨床実習Ⅰ」のみの実施であり、学内実習として専任教員により実施した。

理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻3年次科目「理学療法臨床実習Ⅱ」・「作業療法臨床実習Ⅱ」・「言語聴覚療法臨床実習Ⅱ」は、新型コロナウイルス感染症拡大により、臨床実習施設側の受け入れが困難となったため、一部学生を学外実習の授業計画を学内実習として専任教員により実施した。

②学生には臨床実習オリエンテーション時に十分説明を行い、学内実習についても教育効果に支障が生じないよう実施した。

Ⅱ　遠隔授業を実施した科目

①高知県の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、9月16日から9月29日まで遠隔授業と対面授業の分散登校措置をとった。遠隔授業では、オンデマンド型（オフタイム）、オンデマンド型（オンタイム）、同時双方型の手法を用いて実施した。疑問・質問等については、各科目担当教員がメールにて、随時回答した。

実施した科目は以下のとおりである。

3専攻1年次生共通科目
「生理学Ⅱ（植物性機能）」・「情報処理演習Ⅱ」・「英語Ⅰ」
3専攻1年次生選択科目
「教育学」・「健康とスポーツ」・「基礎運動学」・「解剖学Ⅲ（骨格系）」・「統計学」
「英語Ⅱ」・「人間発達学」・「運動生理学」
理学療法学専攻1年次科目
「理学療法評価学」
作業療法学専攻1年次科目
「応用作業学実習」
言語聴覚学専攻1年次科目
「言語聴覚障害学総論Ⅱ」・「失語症学」

3専攻2年次生共通科目
「地域課題研究Ⅰ」
理学療法学専攻2年次科目
「運動療法学実習」
作業療法学専攻2年次科目
「義肢・装具作業療法実習」・「日常生活支援作業療法実習」
言語聴覚学専攻2年次科目
「音声障害学実習」
作業療法学専攻3年次科目
「就労支援作業療法演習」

②新型コロナウイルスの緊急事態宣言・まん延防止等重点措置地域や所属先の規則により、対面授業を一部もしくは全回数実施できない授業において、遠隔授業を実施した科目は以下のとおりである。

理学療法学専攻1年次科目　「スポーツ心理学」
作業療法学専攻1年次科目　「土佐地域資源論」・「社会的企業論」
3専攻2年次共通科目　「リハビリテーション医学」
理学療法学専攻2年次科目　「産業保健論」
作業療法学専攻2年次科目　「精神医学」
言語聴覚学専攻2年次科目　「精神医学」・「聴覚系医学」
3専攻3年次選択科目　「生命倫理」
理学療法学専攻3年次科目　「経営管理論」「起業論」

※なお、②に示した科目については、自宅での受講ではなく、学生は本学へ通学し、本学教員同席のもと本学講義室より同時双方向型で受講した。（「産業保健論」「土佐地域資源論」「起業論」はオンデマンド型（オフタイム）のため除く）
※「起業論」については、一部の回数が3月31日までに終了しなかったため、4月に授業を実施した。

Ⅲ　開講時期の変更と開講時期変更にかかる学生への配慮

作業療法学専攻では、1年次科目「土佐地域資源論」を「1前」から「1後」に変更した。同一学年内での変更であり、教育課程の体系性への影響はなく、学生に対しても、十分に説明を行うため教育効果に支障は生じない。

Ⅳ　令和3年度設置認可申請時のシラバス変更

令和3年度、新型コロナウィルス感染拡大の影響により、設置認可申請書のシラバスについて、記載（計画）通りの履行が難しい状況となり変更した。変更した科目は以下のとおりである。

① 1部遠隔授業を実施した科目

「情報処理演習Ⅱ」（1後）　（別添資料１５－１-①、②）
「健康とスポーツ」（1前・後）（別添資料１５－２-①、②）
「英語Ⅰ」（1前・後）　（別添資料１５－３-①、②）
「解剖学Ⅲ（骨格系）」（3後）（別添資料１５－４-①、②）
「運動療法学実習」（2後）　（別添資料１５－５-①、②）
「応用作業学実習」（1後）　（別添資料１５－６-①、②）

「日常生活支援作業療法実習」（2後）（別添資料１５－７-①、②）
「義肢・装具作業療法実習」（2後）　（別添資料１５－８-①、②）
「音声障害学実習」（2後）　（別添資料１５－９-①、②）

② 臨床実習科目における授業内容の変更

「理学療法臨床実習Ⅱ」　（別添資料１６－１-①、②）
「作業療法臨床実習Ⅰ」　（別添資料１６－２-①、②）
「作業療法臨床実習Ⅱ」　（別添資料１６－３-①、②）
「言語聴覚療法臨床実習Ⅱ」（別添資料１６－４-①、②）

Ⅴ　学生の学修環境の整備

新型コロナウイルスに対する本学の対応方針を３報（4/22付、12/16付、2/7付）（別添資料１７－１、２、３）にわたりホームページ上に掲載し、状況に応じた対応を行った。

分散登校期間中、自宅でネットワーク環境の整備ができない学生には、学内で受講ができるように受講場所を準備した。パソコンを準備できない学生には貸出用パソコンを提供し、遠隔授業を受講できるよう整備した。

Ⅵ　コロナ禍における令和４年度入学者選抜にかかる変更

新型コロナウイルス感染または感染が疑われる症状の受験生に対し、受験機会確保を考慮し、昨年度同様に別日程での振替受験実施の特別措置を行うこととした。
また、「３文科高第1161号　令和4年1月11日付　令和4年度大学入学者選抜における受験機会の更なる確保について（依頼）」を受け、下記の措置を追加して行うこととした。
１．本学の一般選抜（大学入学共通テスト利用選抜）を受験予定であった者が、大学入学共通テストの本試験および追試験いずれも受験できなかった場合、本学の一般選抜（一般選抜）への振替受験を認める。
２．本学では、一般選抜（一般選抜）において、Ａ日程の振替はＢ日程またはＣ日程、Ｂ日程の振替はＣ日程としているが、Ａ日程、Ｂ日程、Ｃ日程の全てを受験できなかった当該受験生が大学入学共通テストを受験している場合、大学入学共通テストの成績、調査書等による合否判定を実施する。
３．上記１および２のいずれの措置の受験ができていない当該受験生に対して、小論文・面接で選抜を実施する。

※Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵについては、単年度（令和3年度のみ）の対応である。

≪令和４年度≫

Ⅰ　遠隔授業実施及び実施予定の科目

新型コロナウイルスの感染拡大地域や所属先の規則により、対面授業を一部もしくは全て実施できない授業において、遠隔授業を実施する予定である。実施予定科目は以下のとおりである。

理学療法学専攻2年次科目
「精神医学」
言語聴覚学専攻2年次科目
「精神医学」

※なお、上記2科目については、自宅での受講ではなく、学生は本学へ通学し、本学教員同席のもと本学講義室より同時双方向型で受講予定。

Ⅱ　新型コロナウイルスの影響により変更を講じた臨床実習科目について

理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻4年次科目「理学療法臨床実習Ⅲ」・「作業療法臨床実習Ⅲ」・「言語聴覚療法臨床実習Ⅲ」は、実習受入施設の対応により受入不可または、臨床実習期間中に受入中止となった学生については、学外実習の授業計画を学内実習として専任教員により対応する。

学生には臨床実習オリエンテーション時に十分説明を行い、学内実習についても教育効果に支障は生じないよう実施する。

新型コロナウイルス事案の特記事項　【令和3年5月報告】

≪令和２年度≫

Ⅰ開講時期の変更を検討中の科目及び変更する科目について

・理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻2年次科目「理学療法臨床実習Ⅰ」・「作業療法臨床実習Ⅰ」・「言語療法臨床実習Ⅰ」の科目について、計画時では令和2年9月実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、令和3年3月に実施した。

・作業療法学専攻2年次科目「作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系）」の科目について、専任教員と兼任講師の共同授業であるが、兼任講師が大阪に在住しており、新型コロナウイルスの感染拡大により外出自粛要請が出されていることもあり、高知県へ授業に来られないため、開講時期を「2前」から「2後」に変更して授業を実施した。

Ⅱ　遠隔授業を実施した科目

令和2年4月2・3日にオリエンテーションを実施したが、高知県の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月6日から4月23日まで休校措置をとった。4月24日以降は対面授業を行わず、教材やレポート課題、オンデマンド授業に必要な資料等を送付し遠隔授業による自宅学習を実施した。疑問・質問等については、各科目担当教員がメールにて、随時回答した。

実施した科目は以下のとおりである。

各専攻1年次生共通科目
「情報処理演習Ⅰ」・「コミュニケーション論」・「リハビリテーション概論」
「解剖学Ⅰ」・「健康科学」・「心理学」・「英語Ⅰ」
選択科目
「英語Ⅱ」・「教育学」・「社会学」
理学療法学専攻1年次科目
「理学療法概論演習」
作業療法学専攻1年次科目
「基礎作業学実習」・「生活活動と障害」

言語聴覚学専攻1年次科目
「言語聴覚障害学総論Ⅰ」・「マンガ概論」
理学療法学専攻・作業療法学専攻共通科目
「運動機能学実習」
３専攻2年次共通科目
「リハビリテーション医学」
理学療法学専攻2年次科目
「運動生理学実習」・「理学療法セミナーⅡ（PBL）」・「理学療法運動学演習」
「臨床心理学」・「理学療法日常生活活動学」・「物理療法学」・「運動療法学」
「理学療法測定実習Ⅰ」・「理学療法検査実習Ⅰ」・「産業保健論」

作業療法学専攻2年次科目
「精神医学」・「作業療法日常生活活動学」・「臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL）」
「作業療法評価実習Ⅰ（身体系）」・「作業分析学」・「作業療法運動学演習」
「基礎作業療法評価学」・「運動生理学実習」・「地域作業療法学」
言語聴覚学専攻2年次科目
「言語発達障害検査実習」・「言語聴覚療法セミナーⅠ」・「聴覚障害学」・「精神医学」

※なお、オンデマンド授業につきましては、パソコンやスマートフォンでダウンロード閲覧可能な授業を、5月25日から6月5日まで配信した。

対面授業は、6月8日から8月28日まで実施した。

Ⅲ　開講時期の変更にかかる学生への配慮

理学療法学専攻では、2年次科目「産業保健論」を「2前」から「2後」に変更した。作業療法学専攻では、1年次科目「土佐地域資源論」を「1前」から「1後」に変更した。また、作業療法学専攻2年次科目「作業療法評価実習Ⅱ（精神・認知系）」開講時期の変更について、後期配置科目数の学生への負担が増えないよう、「地域作業療法学」を「2後」から「2前」に変更した。言語聴覚学専攻では、2年次科目「臨床心理学」「聴覚障害学」を、「2前」から「2後」に変更した。いずれの科目も同一学年内での変更であり、教育課程の体系性への影響はなく、学生に対しても、十分に説明を行うため教育効果に支障は生じない。

Ⅳ　令和2年度設置認可申請時のシラバス変更

令和2年度、新型コロナウィルス感染拡大の影響により、設置認可申請書のシラバスについて、記載（計画）通りの履行が難しい状況となり変更した。変更した科目は以下のとおりである。

① 1部遠隔授業を実施した科目
「情報処理演習Ⅰ」（1前）　（別添資料１８－１－①、②）
「運動療法学」（2前）　（別添資料１８－２－①、②）
② 1部遠隔授業の実施と成績判定方法を変更した科目
「英語Ⅰ」（1前後）　（別添資料１８－３－①、②）
③ 1部遠隔授業の導入と補講を実施した科目
「運動生理学実習」（2前）　（別添資料１８－４－①、②）
「運動機能学実習」（2前）　（別添資料１８－５－①、②）
「理学療法運動学実習」（2前）（別添資料１８－６－①、②）
「理学療法検査実習Ⅰ」（2前）（別添資料１８－７－①、②）
「生活活動と障害」（1前）　（別添資料１８－８－①、②）
「基礎作業学実習」（1前）　（別添資料１８－９－①、②）
「作業療法評価実習Ⅰ（身体系）」(2前)（別添資料１８－１０－①、②）
「作業療法日常生活活動学」(2前)　（別添資料１８－１１－①、②）
「臨床作業療法技法実習Ⅰ（PBL）」(2前)(別添資料１８－１２－①、②）
「地域作業療法学」(2前)　（別添資料１８－１３－①、②）
「言語発達障害検査実習」（2前）　（別添資料１８－１４－①、②）

※「新型コロナウィルス感染症対応のシラバス」と「設置認可申請書のシラバス」を対比した資料を、別添資料として添付する。

※【令和2年度追加書面調査にて報告済】 2年次前期に配置している「理学療法測定実習Ⅰ」（別添資料１９－１）を、学生の安全確保・健康確保の観点から設置認可申請書のシラバスに記載している対面授業の一部（15回の授業中6回）を自宅における遠隔授業に変更した。「理学療法測定実習Ⅰ」の成績評価方法については、筆記試験50%、実技試験50%を、筆記試験100%に変更した。（別添資料１９－２）

Ⅴ　学生の学修環境の整備

新型コロナウイルスに対する本学の対応方針を６報（別添資料２０－１、２、３、４、５、６）にわたりホームページ上に掲載し、状況に応じた対応を行った。

Ⅵ　コロナ禍における令和３年度入学者選抜にかかる変更

「事務連絡令和２年11月25日　令和３年度大学入学者選抜における新型コロナウイルス感染症への対応等に関する変更報告について（依頼）」により、コロナ禍での受験機会確保を考慮し、総合型選抜において、2回の受験機会（実施日3月16日、3月25日）を追加した。

※Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵについては、単年度（令和2年度のみ）の対応である。

≪令和３年度≫

Ⅰ　遠隔授業実施及び実施予定の科目

コロナウイルスの非常事態宣言中の地域や所属大学の規則により、対面授業を一部実施できない授業において、遠隔授業を実施する予定である。実施予定科目は以下のとおりである。

理学療法学専攻1年次科目
「スポーツ心理学」
理学療法学専攻2年次科目
「産業保健論」
3専攻共通科目
「生命倫理」

【設置計画履行状況報告書・補足説明資料(専門職大学等)】

(共通留意事項)

○「認可(設置)時の計画」には認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」で記載した計画を記入ください。

○認可申請書に記載がなければ「記載なし」と記入ください。

○「履行状況」には報告時点で取り組んでいる事項(準備状況含む)を記入ください。

その際、「認可(設置)時の計画」から変更している場合は、変更した理由を具体的に記入ください。

① 入学者選抜

認可(設置)時の計画	履行状況
・選抜方法 入試方法については、一般入試、ＡＯ入試選考、指定校推薦、公募制推薦、社会人選考の５つとする。	入学試験と募集区分の変更 (1)募集区分の名称変更 「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直し係る予告の改正について(通知)」(30文科高等370号　平成30年10月22日)により、以下の名称へ変更した。 入試方法については、~~一般入試~~一般選抜(一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜)、~~ＡＯ入試選考~~総合型選抜、指定校推薦学校推薦型選抜(指定校推薦型選抜)、~~公募制推薦~~学校推薦型選抜(公募推薦型選抜)、~~社会人選考~~社会人選抜の５つとする。【令和3年度】
・募集人員について 募集人員を以下のように定める。 理学療法学専攻　一般入試21名 作業療法学専攻　一般入試12名 言語聴覚学専攻　一般入試12名	(2)募集区分の追加 一般選抜の中に大学入学共通テスト利用選抜を追加した。これに伴い、募集人員を以下のように変更した。 理学療法学専攻　~~一般入試21名~~ 一般選抜11名・大学入学共通テスト利用選抜10名 作業療法学専攻　~~一般入試12名~~ 一般選抜 7名・大学入学共通テスト利用選抜 5名 言語聴覚学専攻　~~一般入試12名~~ 一般選抜 7名・大学入学共通テスト利用選抜 5名 【令和3年度】
・入学試験内容について 【ＡＯ入試選考】 選抜方法は、ゼミナールの成績、面接、志望理由書、活動報告書を資料とし総合判定する。 【指定校推薦選考】 選抜方法は、面接及び調査書、活動報告書を資料とし総合判定する。	(3)入学試験内容の追加 「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告の改正について(通知)」(30文科高等370号　平成30年10月22日)により、学校推薦型選抜(指定校推薦型選抜)と総合型選抜において、評価方法に「プレゼンテーション」を追加した。【令和3年度】
・多様性に配慮した選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目)	※入学者選抜において実際に各項目に該当する選抜を実施していればの結果と受験者や合格者の内訳を差支えない範囲で記入ください。
ＡＯ入試選考においては、学力だけでなく、個性や創造性が豊かで、意欲にあふれた学生を受け入れる。 選抜方法は、本学でのゼミナール(講義と演習)を修了した者の中からゼミナールの成績、面接、志望理由書、活動報告書を資料とし総合判定する。(募集人員:理学療法学専攻14名、作業療法学専攻8名、言語聴覚学専攻8名)	＜令和元年度　AO入試選考　各専攻受験者・合格者内訳＞ 理学療法学専攻:受験者 10名・合格者 9名 作業療法学専攻:受験者　7名・合格者 4名 言語聴覚学専攻:受験者　3名・合格者 6名(別専攻から2次志望による合格者含む) ＜令和2年度　AO入試選考　各専攻受験者・合格者内訳＞ 理学療法学専攻:受験者 15名・合格者15名 作業療法学専攻:受験者　6名・合格者 6名 言語聴覚学専攻:受験者　4名・合格者 4名 ＜令和3年度　総合型選抜　各専攻受験者・合格者内訳＞ 理学療法学専攻:受験者 11名・合格者11名 作業療法学専攻:受験者　7名・合格者 7名 言語聴覚学専攻:受験者　6名・合格者 6名 ＜令和4年度　総合型選抜　各専攻受験者・合格者内訳＞ 理学療法学専攻:受験者 14名・合格者14名 作業療法学専攻:受験者　3名・合格者 3名 言語聴覚学専攻:受験者　5名・合格者 4名
・社会人選抜の実施有無、実施方法(定員枠、入試科目)	
社会人選考は、下記のいずれかに該当する者で、将来、保健医療専門職として働く意欲を持って学ぶことができる者に対して、学力試験を免除し、小論文及び面接、志望理由書の内容を総合的に判定して行う。 a.大学入試資格を有する者で、社会人として2年以上の経験のある者 b.大学を卒業した者あるいは3月卒業見込みの者 c.短期大学を卒業後、社会人として1年以上経験のある者 d.高等専門学校を卒業後、社会人として1年以上経験のある者 (募集人員:公募制推薦入試に含む。公募制推薦入試の募集人員:理学療法学専攻7名、作業療法学専攻4名、言語聴覚学専攻4名)	＜令和元年度　社会人入試　各専攻受験者・合格者内訳＞ 理学療法学専攻:受験者　0名・合格者 0名 作業療法学専攻:受験者　0名・合格者 0名 言語聴覚学専攻:受験者　1名・合格者 1名 ＜令和2年度　社会人入試　各専攻受験者・合格者内訳＞ 理学療法学専攻:受験者　0名・合格者 0名 作業療法学専攻:受験者　1名・合格者 0名 言語聴覚学専攻:受験者　0名・合格者 0名 ＜令和3年度　社会人選抜　各専攻受験者・合格者内訳＞ 理学療法学専攻:受験者　1名・合格者 1名 作業療法学専攻:受験者　0名・合格者 0名 言語聴覚学専攻:受験者　0名・合格者 0名 ＜令和4年度　社会人選抜　各専攻受験者・合格者内訳＞ 理学療法学専攻:受験者　2名・合格者 2名 作業療法学専攻:受験者　0名・合格者 0名 言語聴覚学専攻:受験者　1名・合格者 1名

② 臨地実務実習

認可（設置）時の計画	履行状況
・ 実習先の確保の状況 高知県を中心に西日本をはじめとする全国各地の施設からの承諾を受け、各専攻における臨床実習目標に対応できるよう臨床実習施設を確保している。高知県内の臨床実習施設は、理学療法学専攻60施設、作業療法学専攻72施設、言語聴覚学専攻48施設である。また、高知県外の臨床実習施設は理学療法学専攻58施設、作業療法学専攻41施設、言語聴覚学専攻48施設であり、急性期、回復期、生活期対象の医療機関、介護老人保健施設等、様々な施設や疾患に応じた理学療法、作業療法、言語聴覚療法を学ぶことができる質の高い臨床実習施設を確保している。	※実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても記入ください。 （略）高知県内の臨床実習施設は、理学療法学専攻~~60施設~~64~~施設~~71施設、作業療法学専攻~~72~~施設77施設、言語聴覚学専攻48施設~~53施設~~54施設である。また、高知県外の臨床実習施設は理学療法学専攻58施設~~59施設~~65施設、作業療法学専攻~~41施設~~43施設、言語聴覚学専攻48施設~~57施設~~61施設であり、急性期、回復期、生活期対象の医療機関、介護老人保健施設等、様々な施設や疾患に応じた理学療法、作業療法、言語聴覚療法を学ぶことができる質の高い臨床実習施設を確保している。【令和3年度】【令和4年度】 変更した具体的理由 学生の履修における利便性に配慮するためと、学生が希望する分野での学修の機会を確保するため。【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大により受け入れ可能施設が減少、新たに追加することで学修の機会を確保するため。【令和3年度】【令和4年度】
＜認可（設置）時の各専攻の臨地実務実習施設の地域別割合＞ 理学療法学専攻 作業療法学専攻 言語聴覚学専攻 総 数 118施設 113施設 96施設 高知県 60施設（50.8%） 72施設（63.7%） 48施設（50.0%） 四国3県 16施設（13.6%） 22施設（19.5%） 21施設（21.9%） その他 42施設（35.6%） 19施設（16.8%） 27施設（28.1%）	＜令和2年度に変更後の各専攻の臨地実務実習施設の地域別割合＞ 理学療法学専攻 作業療法学専攻 言語聴覚学専攻 総 数 123施設 118施設 110施設 高知県 64施設（52.0%） 77施設（65.2%） 53施設（48.2%） 四国3県 16施設（13.0%） 22施設（18.6%） 27施設（24.5%） その他 43施設（35.0%） 19施設（16.1%） 30施設（27.3%） ＜令和3年度に変更後の各専攻の臨地実務実習施設の地域別割合＞ 理学療法学専攻 作業療法学専攻 言語聴覚学専攻 総 数 134施設 118施設 114施設 高知県 71施設（53.0%） 77施設（65.2%） 54施設（47.4%） 四国3県 18施設（13.4%） 22施設（18.6%） 27施設（23.7%） その他 45施設（33.6%） 19施設（16.1%） 33施設（28.9%） ＜令和4年度に変更後の各専攻の臨地実務実習施設の地域別割合＞ 理学療法学専攻 作業療法学専攻 言語聴覚学専攻 総 数 136施設 120施設 115施設 高知県 71施設（52.2%） 77施設（64.2%） 54施設（47.0%） 四国3県 20施設（14.7%） 22施設（18.3%） 28施設（24.3%） その他 45施設（33.1%） 21施設（17.5%） 33施設（28.7%）
・ 実習水準の確保の方策 臨床実習委員会を設置し、臨床実習水準を確保するため、臨床実習指導体制、および臨床実習受入れ施設との連携体制の構築を行う。 大学側と臨床実習施設側の指導者が連携して臨床実習指導を行う。臨床実習指導者は、大学の提示した実習計画に基づき、臨床実習環境を調整し、学生が担当する対象者の評価や治療プログラム立案・修正、治療の実施、スタッフとの調整等を行う。また、大学臨床実習担当者と指導状況について密に情報交換する。 臨床実習にかかる教員と受入れ施設の臨床実習指導者等で構成される臨床実習指導者協議会を年1回開催する。参加者の臨床実習運営に関わる情報交換をするとともに、臨床実習における学修成果の評価を共有し、課題の検討を大学側と受入れ施設側で共に行う。その結果に基づき、次年度の臨床実習を計画することにより、学修環境や指導体制の改善に繋げる。 教員及び臨床実習指導者を対象とした臨床実習指導、卒前・卒後教育等に関連した研修会も実施する。 学生に対しては、臨床実習オリエンテーションをに行い、臨床実習の目的を周知し、学生の不安を軽減し、早期に問題対応できる体制を構築する。	「認可（設置）時の計画どおりに履行」 令和元年度より臨床実習委員会を設置し、臨床実習水準を確保するため、大学教員及び臨床実習指導者との臨床実習指導体制、および臨床実習受入れ施設との連携体制の構築を行っている。【令和元年度】【令和2年度】【令和3年度】【令和4年度】 「臨床実習指導要項」を作成し、2年次の臨床実習前に承諾を受けた臨床実習施設に配布し、内容を確認して後に臨床実習指導にあたるよう周知を行った。【令和2年度】【令和3年度】【令和4年度】 「学生用臨床実習ガイド」を作成し、2年次の臨床実習前に臨床実習オリエンテーションを行った。【令和2年度】【令和3年度】【令和4年度】 「客観的臨床能力試験（OSCE）学生用マニュアル」を作成し、3年次にオリエンテーションを行った。【令和3年度】【令和4年度】 「客観的臨床能力試験（OSCE）」を4年次に行った。【令和4年度】 臨床実習指導者協議会については、令和3年度に開催予定。 臨床実習指導者協議会をリモートにて行った。【令和3年度】
・ 実習先との連携体制 臨床実習施設との連携体制を維持するため、大学臨床実習担当教員と臨床実習指導者は適時連絡を取り合い、学生指導及び臨床実習全般の調整を行う。臨床実習担当者による臨床実習巡回指導では、大学と臨床実習施設との情報交換、連携が十分に図れる体制をとる。臨床実習施設への訪問は原則として2年次の臨床実習を除き、各臨床実習期間中に1回、あるいは要請もしくは必要に応じて複数回の訪問を行う。臨床実習巡回指導では学生の健康状態を確認するとともに、学生からの相談に応じ、臨床実習中の学修に関するサポートも行う。 臨床実習を確実に履行できるよう、専任教員は巡回指導時以外にも臨床実習指導者ならびに学生と1週間に1回程度定期的に連絡をとり、臨床実習の状況を確認、学生及び臨床実習指導者が抱える悩みや問題等について指導・援助を行う。連絡の手段として、臨床実習指導者については電話を、学生については電話及びメールを使用する。	「認可（設置）時の計画どおりに履行」 2年次の「理学療法臨床実習Ⅰ」「作業療法臨床実習Ⅰ」「言語聴覚療法臨床実習Ⅰ」では、臨床実習指導者と電話にて、学生指導及び臨床実習全般の調整を行った。学生から専任教員への臨床実習に関する相談は、電話にて行った。【令和2年度】【令和3年度】 3年次の「理学療法臨床実習Ⅱ」「作業療法臨床実習Ⅱ」「言語聴覚療法Ⅱ」では、臨床実習期間中に訪問にて指導を行った。新型コロナウイルス感染症対策として専任教員の訪問が困難な施設に対しては、リモート又は電話にて指導を行った。また、学生に対して週1回程度、電話及びメールにて指導・援助を行った。【令和3年度】
・ 連携実務演習等 「記載なし」	

③　その他

認 可 （設 置） 時 の 計 画	履　行　状　況
・ 同時に授業を行う学生数が40人を超える場合に講じる措置 同時に40名を超える授業科目は、3専攻の学生が共通して学修する科目の、必修科目の「地域包括ケア論」(3年次)、「リーダーシップ論」(4年次)、「チーム連携論」(4年次)、選択科目の「生命倫理」(3年次)、「国際関係論」(4年次)である。 理学療法学専攻としては、「展開科目」の「企業論」(2年次)、「経営組織論」(3年次)、「マーケティング論」(3年次)、「経営管理論」(3年次)、「起業論」(3年次)である。作業療法学専攻及び言語聴覚学専攻では、同時に40名を超える授業科目はない。 教育効果を確保するために、授業担当教員に専任教員や理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の資格等を有する者を教育補助者としてつけ、学生の授業理解促進のための支援や助言等を行う。また、授業担当教員が円滑な講義が進行できるように補助する。視聴覚設備などの完備や十分な収容能力を持つ講義室で行う。 ・入学前の実務経験を単位に換算した場合、その実施状況 （換算の対象とした実務経験の内容と、換算した単位数、適切な換算が行われていることを説明すること。また換算の根拠となる規定等も添付すること） 「記載なし」	※実際に実施した結果生じた課題があれば、その解決策として講じた措置についても記入ください。 (略)理学療法学専攻としては、「展開科目」の~~「企業論」(2年次)~~、「経営組織論」(3年次)、「マーケティング論」(3年次)、「経営管理論」(3年次)、「起業論」(3年次)である。(略) 変更した具体的理由 「企業論」(2年次)については、2クラス開講が可能となったため。【令和2年度】 その他の科目 「認可(設置)時の計画どおりに履行」 教育補助者をつけて、視聴覚設備などの完備や十分な収容能力を持つ講義室で行っている。【令和3年度】【令和4年度】